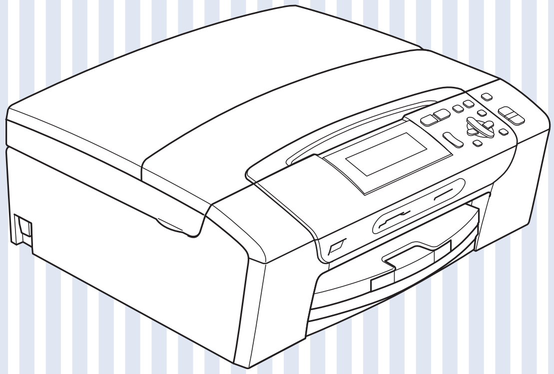
MyMio

DCP-385C DCP-535CN ユーザーズガイド



第１章 ご使用の前に

第２章 コピー

第３章 フォトメディアキャプチャ

第４章 こんなときは

付録（索引）

画面で見るマニュアル (CD-ROM)

本製品の使い方に加え、パソコンとつないだときの
詳しい使い方をすばやく探せます。



困ったときは

本製品の動作がおかしいとき、故障かな？
と思ったときなどは、以下の手順で原因を
お調べください。

1 **4章「こんなときは」で調べる** 75ページ

2 サポート ブラザー　検 索

ブラザーのサポートサイト
にアクセスして、最新の情報を調べる
http://solutions.brother.co.jp/

携帯電話からでも簡単なサポート情報を見ることができます。
http://m.brother.co.jp/support/

オンラインユーザー登録 ▶ https://regist.brother.jp/

このたびは本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本書はなくさないように注意し、いつでも手に取って見ることができるようにしてください。

Version B

ユーザーズガイドの構成

本製品には次のユーザーズガイドが用意されています。『かんたん設置ガイド』をご覧いただき設置および接続が終了したら、『ユーザーズガイド』（本書）で安全にお使いいただくための注意や基本的な使用方法をよくお読みください。その後目的に応じて各ユーザーズガイドをご活用ください。（『ネットワーク設定ガイド』は、DCP-535CN をお使いの方が対象です。）

冊子

はじめにお読みください

■かんたん設置ガイド

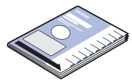
・設置する
・パソコンへの接続
・ドライバ、ソフトウェアのインストール



コピー/デジカメプリントの基本的な使い方を知りたい

■ユーザーズガイド

・コピーする
・デジタルカメラからプリントする
・トラブル対処/お手入れ方法
・消耗品や部品の交換



※本書の内容は、付属のCD-ROMに収録されている「画面で見るマニュアル」（HTML形式）からも閲覧できます。

HTML（CD-ROM）

使いたい機能をすばやく探せます。

「画面で見るマニュアル」（HTML形式）

以下の内容が含まれています

■ユーザーズガイド

・プリンタ/コピーの使用方法
・デジタルカメラからプリント
・トラブル対処/お手入れ方法
・消耗品や部品の交換

■パソコン活用ガイド

・プリンタとして使う
・スキャナとして使う
・Control Centerで便利に使う

■ネットワーク設定ガイド

・LANにつないで使う
・ネットワークスキャナ、ネットワークプリンタとして使うための設定

CD-ROMに収録されている「画面で見るマニュアル」を見たいときは、以下の手順で操作します。

Windows®の場合

Windows®をお使いの場合、パソコンにドライバをインストールすると、Windows®のスタートメニューから「画面で見るマニュアル」を閲覧できます。[スタート] メニューから、[すべてのプログラム（プログラム)] ー [Brother] ー [DCP-XXXX] *ー [画面で見るマニュアル（HTML形式)] を選んでください。

Macintoshの場合

1 付属のCD-ROMをMacintoshのCD-ROMドライブにセットする
2 「Documentation」をダブルクリックする
3 「top.html」をダブルクリックする
◆「画面で見るマニュアル」が表示されます。



* XXXXはモデルの型式名です。

PDF

最新版のマニュアルが、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）(http://solutions.brother.co.jp/) からダウンロードできます。

■パソコン活用ガイド
■かんたん設置ガイド
■ネットワーク設定ガイド
■ユーザーズガイド



最新のドライバや、ファームウェア（本体ソフトウェア）を入手するときは？

弊社ではソフトウェアの改善を継続的に行なっております。
最新のドライバやファームウェアを弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）よりダウンロードすることでお手元の製品の関連ソフトウェアを新しくしていただくことができます。

最新のドライバをお使いいただくことで、新しい OS に対応したり、印刷やスキャンなどの際のトラブルを解決できることがあります。また、本体のトラブルがあるときも、ファームウェア（本体ソフトウェア）を新しくすることで解決できることがあります。

ダウンロード・操作手順について詳しくは、http://solutions.brother.co.jp/ へ

目次

第 4 章　こんなときは 75

付録 101

その他の機能 .... CD-ROM

本書のみかた

本書で使用されている記号

本書では、下記の記号が使われています。

注意	お使いいただく上での注意事項、制限事項などを記載しています。
	知っていると便利なことや、補足を記載しています。
10ページ	本書内での参照先を記載しています。

注意

■ 本書に掲載されている画面は、実際の画面と異なることがあります。

本書で使用されているイラスト

本書では本製品や操作パネルの説明に、DCP-385C のイラストを使用しています。

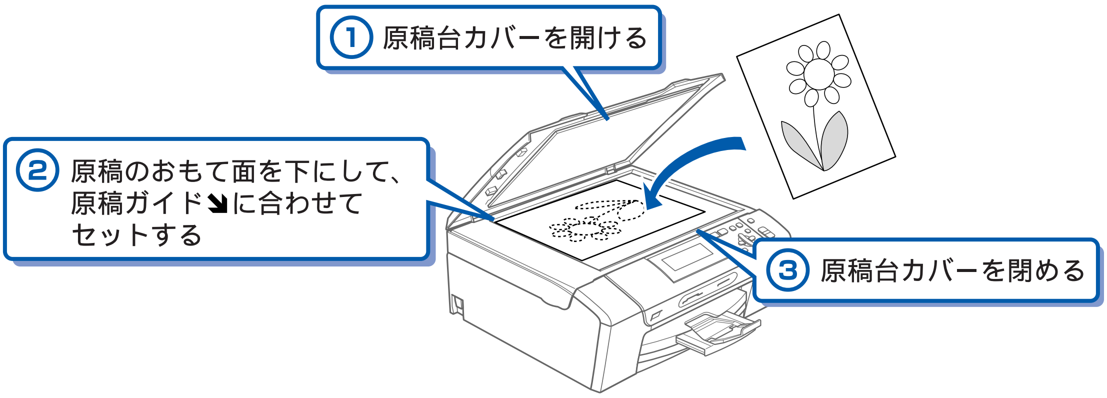
本書で対象となる製品

本書は DCP-385C、DCP-535CN を対象としています。お使いの製品の型番は操作パネル上に表記していますので、ご確認ください。

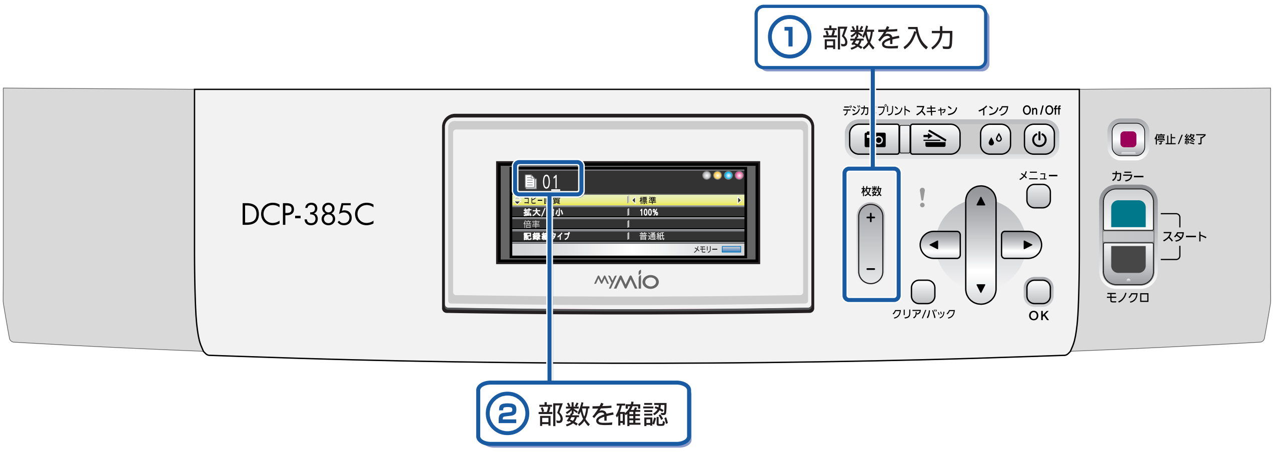
コピーする

モノクロ／カラーでコピーします。

1 原稿をセットする



2 [枚数] を押して、部数を入力する

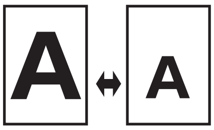


3 モノクロでコピーする場合は [モノクロスタート] を、カラーでコピーする場合は [カラースタート] を押す

コピーが開始されます。

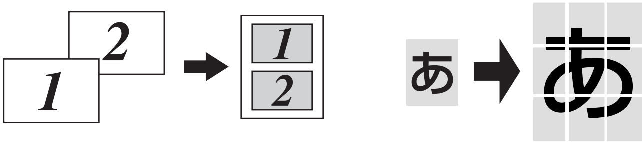
こんなこともできます

●拡大・縮小コピー



42 ページ

●N in 1 コピー／ポスターコピー



46 ページ

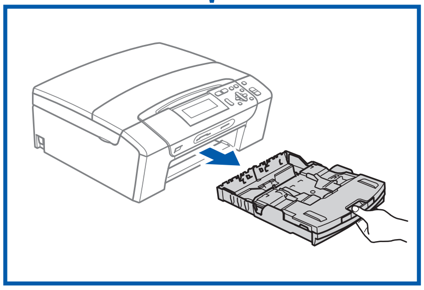
写真をプリントする

メモリーカードや USB フラッシュメモリーなどメディアの写真をプリントします。

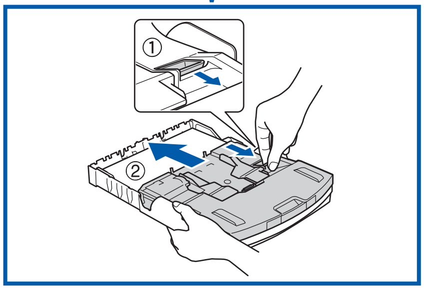
1 記録紙をスライドトレイにセットする

※ ここでは、例として L 判の記録紙をセットする場合を説明しています。

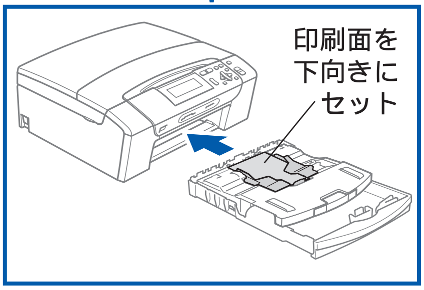
① 記録紙トレイを引き出す



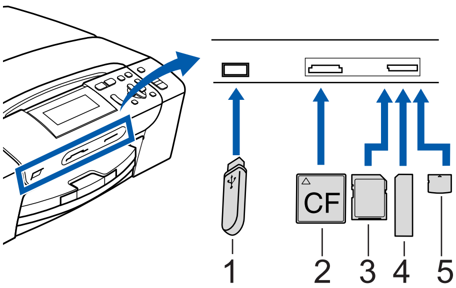
② リリースボタンをつまみ、スライドトレイを奥にずらす



③ 記録紙をセットして記録紙トレイを戻す



2 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを入れる

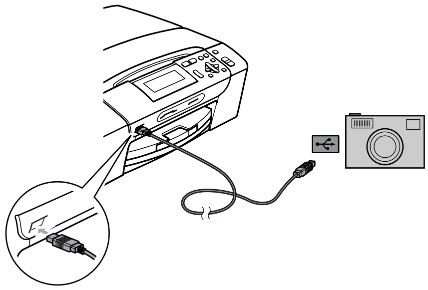


1. USBフラッシュメモリー
2. コンパクトフラッシュ® (TYPE1)
3. SDメモリーカード、SDHCメモリーカード
4. メモリースティック™、メモリースティック PRO™
5. xD-Picture Card™
   xD-Picture Card™ TypeM / TypeM+ / TypeH

※ miniSDカード/microSDカード/メモリースティック デュオ™/
メモリースティック PRO デュオ™/メモリースティック マイクロ™ (M2™)
も使用できます。本製品にセットするときはアダプターが必要です。

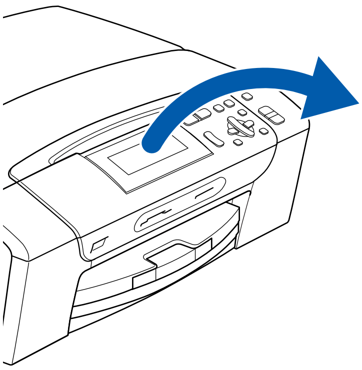
PictBridge

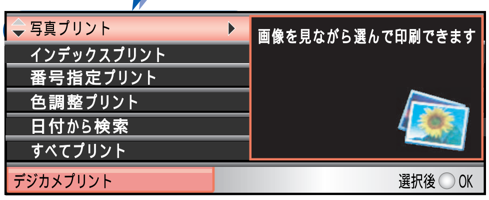
デジタルカメラと本機をUSBケーブルで接続することもできます。



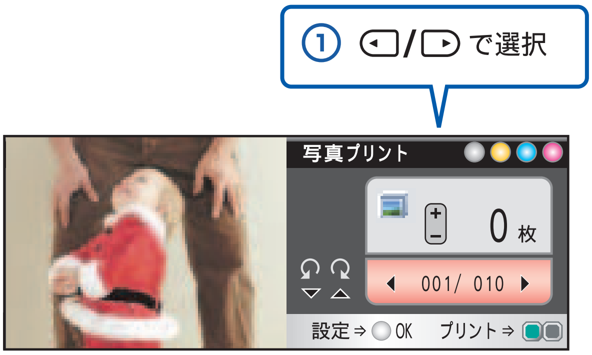
3 デジカメプリント を押して、【写真プリント】を選ぶ

① ▲/▼ で選んで、
OK を押す





4 プリントする写真と枚数を設定する





※ 複数枚プリントしたいときは、①②をくり返します。

5 を押してプリントする

選択した写真がプリントされます。

プリンタとして使う

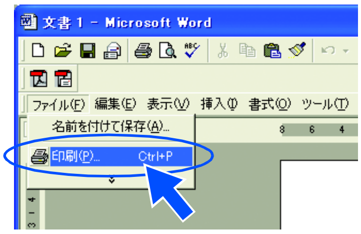
本製品とパソコンを接続して、パソコンから印刷を行えます。

注意

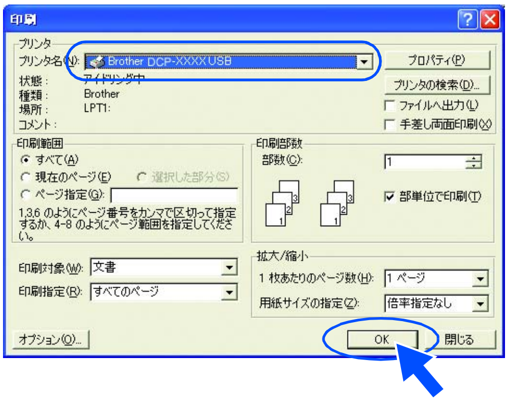
■ パソコンとの接続や、ドライバのインストール方法は、「かんたん設置ガイド」をご覧ください。

Windows® の場合

1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選ぶ



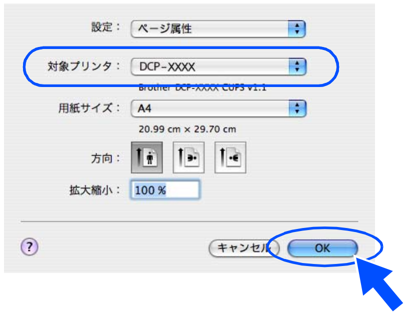
2 ［印刷］ダイアログボックスで、本製品を選び、［OK］をクリックする



Macintosh の場合

1 アプリケーションの［ファイル］メニューから［ページ設定］を選ぶ

2 「対象プリンタ」で本製品のモデル名を選び、［OK］をクリックする



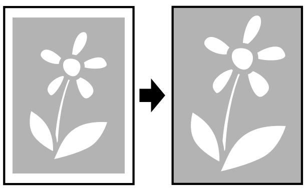
3 アプリケーションの［ファイル］メニューから［プリント］を選ぶ

4 ［プリント］をクリックする



こんなこともできます

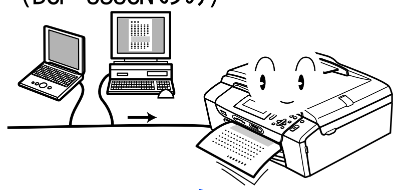
● ふちなし印刷



● おまかせ印刷



● ネットワークプリンタ（DCP-535CN のみ）



「画面で見るマニュアルについて」（10 ページ）

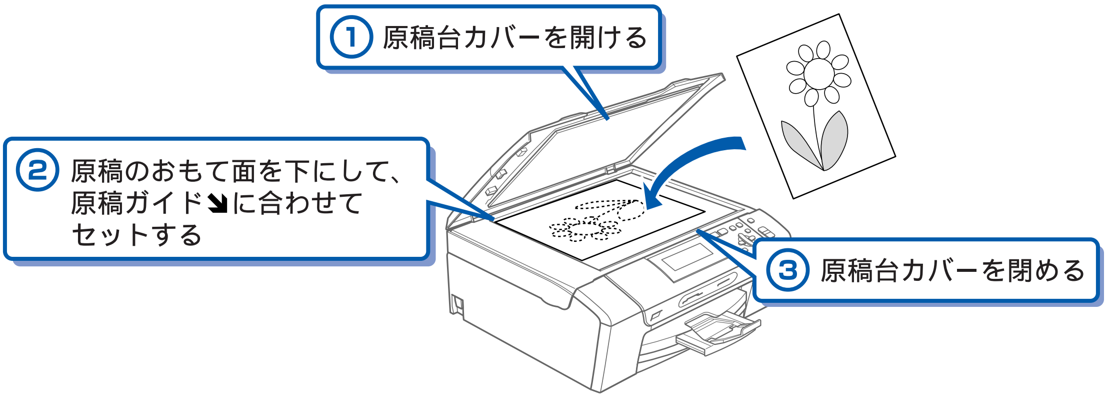
スキャンする

本製品でスキャンしたデータをパソコンに送ります。

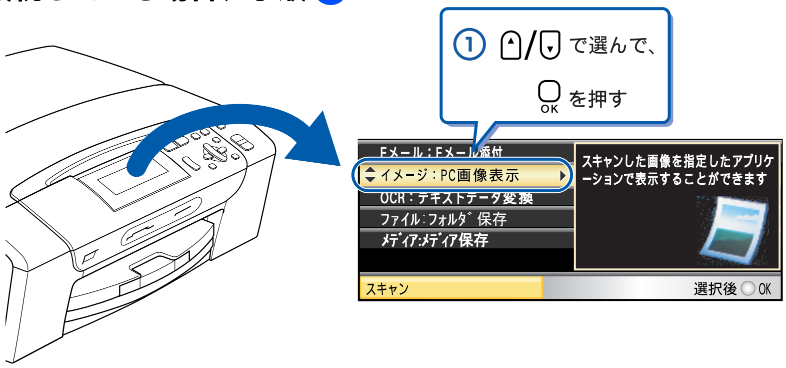
注意

■ パソコンとの接続や、ドライバのインストール方法は、「かんたん設置ガイド」をご覧ください。

1 原稿台ガラスに原稿をセットする



2 スキャン を押して、【イメージ：PC 画像表示】を選び、OK を押す USB のみで接続している場合、手順 4 へ



3 （DCP-535CN のみ）スキャンした画像を保存するパソコンを選び、OK を押す

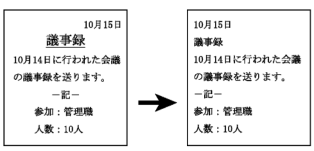
表示されている中から希望のパソコンまたは【< USB >】を選びます。（USB 接続も同時にしている場合は、そのパソコンが【< USB >】と表示されます。）

4 モノクロ スタート または カラー スタート を押す

スキャンが開始されます。

こんなこともできます

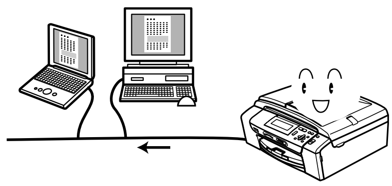
● テキストデータとしてスキャンする



● よく使う設定を登録（ControlCenter）



● ネットワークスキャナ（DCP-535CN のみ）



「画面で見るマニュアルについて」（10 ページ）

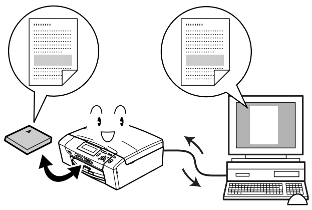
こんなこともできます

● その他の機能 「画面で見るマニュアルについて」（10 ページ）

● メモリーカードや USB フラッシュメモリーをリムーバブルディスクとして利用する

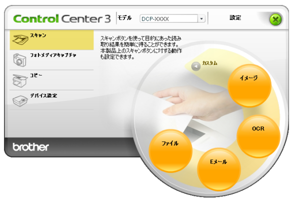
本製品にセットしたメモリーカードやUSB フラッシュメモリーは、パソコン上で「リムーバブルディスク」として使用できます。

※ リムーバブルディスクとして使用できるのは、USB 接続の場合のみです。ネットワーク経由でメモリーカードにアクセスする場合は、ControlCenter をご利用ください。
⇒画面で見るマニュアル「ネットワーク経由でメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにアクセスする」



● スキャナ、フォトメディアキャプチャなどをかんたんに起動する［ControlCenter］

スキャナやフォトメディアキャプチャ機能などをかんたんに起動できるソフトウェア「ControlCenter」を使用できます。



● 写真を印刷 / 加工する［FaceFilter Studio］

写真をかんたんにふちなし印刷したり、顔がはっきり見えるように全体の明るさを調整したり、赤目の修正や表情の変化を行います。
（Windows® のみ）



画面で見るマニュアルについて

付属の CD-ROM には「画面で見るマニュアル（HTML 形式）」が収録されており、プリンタ、スキャナなどパソコンと接続して使う機能についても記載しています。
以下では画面で見るマニュアル（HTML 形式）の画面と操作を説明しています。
※ この画面は説明のために作成したもので、実際の画面はご使用のモデルによって異なります。

> パソコンにドライバをインストールすると、Windows® のスタートメニューから画面で見るマニュアルを閲覧できます。
> ［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［DCP-XXXX］＊－［画面で見るマニュアル（HTML 形式）］を選んでください。
> ＊ XXXX はモデルの型式名です。

● 表紙



1	本ガイドの文書内で単語や単語の一部（文字列）を検索することができます。
2	各機能のページ（章）に移動します。
3	「ご使用の前に」 ご使用の前に知っておいていただきたい内容を説明しています。
	「こんなときは」 日常のお手入れや困ったときの解決方法などを説明しています。
	「付録」 機能一覧／仕様／アフターサービスのご案内などについて説明しています。
	「安全にお使いいただくために」 本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を説明しています。
	「本ガイドを印刷するには」 画面で見るマニュアルを印刷する方法を説明しています。
	「消耗品の交換」「消耗品の注文」 インクカートリッジの交換方法や、ご注文方法を説明しています。
4	オンラインユーザー登録のホームページに移動します。
5	サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）のホームページに移動します。
6	ブラザー工業株式会社のホームページに移動します。
7	「やりたいこと目次」 やりたいことから操作を探せる目次を表示します。

● 内容



1	本ガイドの文書内で単語や単語の一部（文字列）を検索することができます。
2	各機能のページ（章）に移動します。
3	「やりたいこと目次」 やりたいことから操作を探せる目次を表示します。
4	現在のページを印刷します。
5	次のページに移動します。
6	操作内容を表示します。
7	現在のページの最上部に移動します。
8	ブラザー工業株式会社のホームページに移動します。
9	前のページに移動します。
10	「安全にお使いいただくために」 本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を説明しています。
	「本ガイドを印刷」 画面で見るマニュアルを印刷する方法を説明しています。
	「消耗品の交換」「消耗品の注文」 インクカートリッジの交換方法や、ご注文方法を説明しています。
11	中見出し・小見出しです。
12	大見出しです。
13	トップページに移動します。

安全にお使いいただくために

この「安全にお使いいただくために」では、お客さまや第三者への危害や損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

⚠警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示します。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

	「してはいけないこと」を示しています。		「しなければいけないこと」を示しています。
	「さわってはいけないこと」を示しています。		「電源プラグを抜くこと」を示しています。
	「分解してはいけないこと」を示しています。		「火気に近づいてはいけないこと」を示しています。
	「水ぬれ禁止」を示しています。		

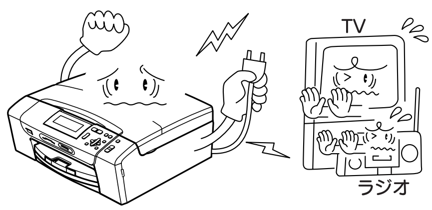
注意

- ■ 本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づく、クラス B 情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビ受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。ユーザーズガイドに従って正しい取り扱いをしてください。
- ■ 本製品は、厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一不具合がありましたら、お客様相談窓口までご連絡ください。
- ■ お客さまや第三者が、本製品の使用の誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合、または本製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- ■ ユーザーズガイドなど、付属品を紛失した場合は、お買い上げの販売店にてご購入いただくか、ダイレクトクラブへご注文ください。
⇒ 121 ページ「消耗品などのご注文について」

電波障害があるときは

本製品を設置することにより、近くに置いたラジオやスピーカ、マイク等に雑音が入ったり、テレビ画面にちらつきやゆがみが発生することがあります。
その場合は電源プラグをコンセントから一度抜いてください。電源プラグを抜くことにより、ラジオやテレビが正常な状態に回復するようでしたら、次の方法で対処してください。

- 本製品をテレビやラジオから遠ざける
- 本製品またはテレビやラジオの向きを変える

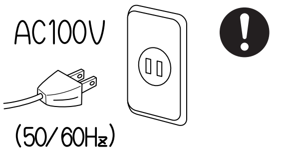


設置についてのご注意

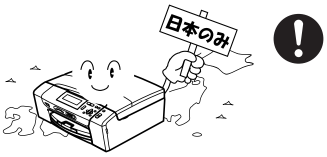
⚠警告

以下の注意事項を守らずに本機を使用すると、変形、感電、火災、故障の原因になる場合があります。

- 電源は AC100V 、50Hz または 60Hz でご使用ください。

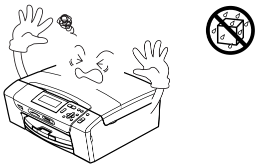


- 国内のみでご使用ください。海外ではご使用になれません。



- 医療用電気機器の近くでは使用しないでください。本製品からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤作動による事故の原因となります。

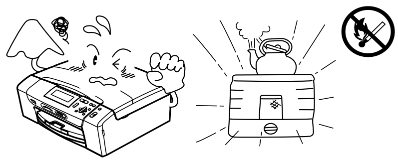
- 水のかかる場所（浴室や台所、加湿器のそばなど）や、湿度の高い場所には設置しないでください。漏電による感電、火災の原因になります。



- いちじるしく低温な場所、急激に温度が変化する場所には設置しないでください。
装置内部が結露するおそれがあります。



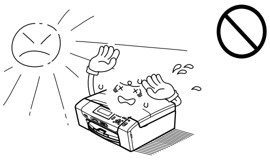
- 火気や熱器具、揮発性可燃物やカーテンに近い場所に設置しないでください。
火災や感電、事故の原因になります。



⚠注意

本製品は以下の場所に設置しないでください。けがをしたり、本機の故障や変形の原因になります。

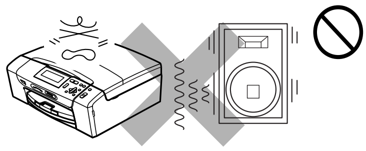
- 温度の高い場所
直射日光が当たるところ、暖房設備などの近く



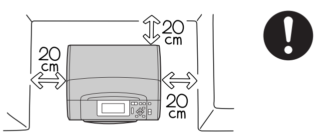
- 不安定な場所
ぐらついた台の上や、傾いたところなど



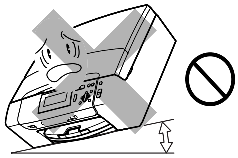
- 磁気の発生する場所
テレビ、ラジオ、スピーカー、コタツなどの近く



- 壁のそば
本製品を正しく使用し性能を維持するために周囲の壁から20cm以上はなす



- 傾いたところ
傾いたところに置くと正常に動作しないことがあります



- 風が直接当たるところ
クーラーや換気口の近く
- ほこりや鉄粉、振動の多いところ
- 換気の悪いところ
- じゅうたんやカーペットの上

- DC 電源やインバータ（DC-AC 変換装置）を接続して使用しないでください。
本製品を接続するコンセントが AC 電源または DC 電源のどちらかがわからない場合は、電気工事資格を持っている人に相談してください。

電源についてのご注意

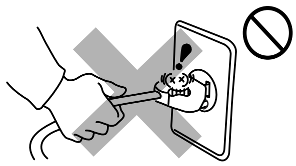
⚠警告

火災や感電、やけどの原因になります。

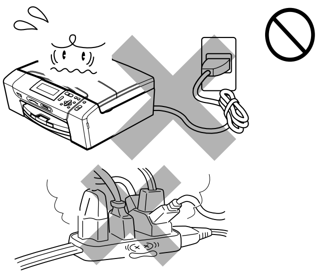
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。



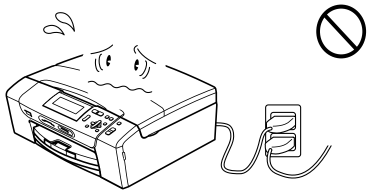
- 電源プラグを抜くときは、コードを引っぱらずにプラグ（金属ではない部分）を持って抜いてください。



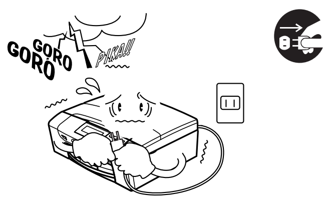
- たこ足配線はしないでください。
- 電源コードを破損するような以下のことはしないでください。火災や感電、故障の原因となります。
  - 加工する
  - 無理に曲げる
  - 高温部に近づける
  - 引っ張る
  - ねじる
  - たばねる
  - 重いものをのせる
  - 挟み込む
  - 金属部にかける
  - 折り曲げをくりかえす
  - 壁に押し付ける



- 電源コンセントの共用にはご注意ください。複写機などの高電圧機器と同じ電源はさけてください。誤動作の原因となります。



- 雷がはげしいときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
  （電源プラグは抜きやすいところに差し込んでください。）

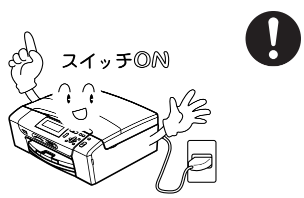


- 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。
- 本機の電源プラグに液体、金属を落とさないでください。
- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

⚠注意

火災や感電、やけどの原因になります。

- 本製品の電源を完全に切るためにはコンセントから電源プラグを抜かなければいけません。緊急時に容易にアクセスできるように本製品はコンセントの近くに設置してください。



使用についてのご注意

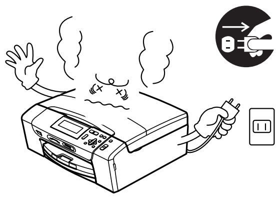
⚠警告

火災、感電、やけど、けが、故障の原因になります。

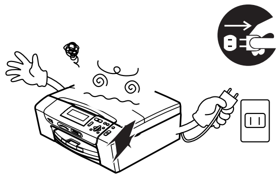
● 分解、改造をしないでください。修理などは販売店にご相談ください。分解、改造した場合は保証の対象外になります。



● 煙が出たり、変なにおいがしたときは、すぐに電源プラグをコンセントからはずし、コールセンターにご相談ください。



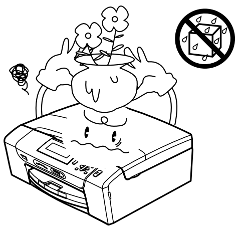
● 本製品を落としたり、破損したときは、電源プラグをコンセントからはずし、コールセンターにご相談ください。



● 内部に異物が入ったときは、電源プラグをはずして、コールセンターにご相談ください。



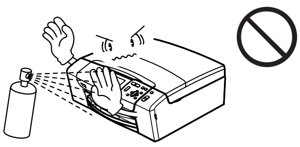
● 本製品に水や薬品、ペットの尿などの液体が入ったりしないよう、またぬらさないようにご注意ください。万一、液体が入ったときは、電源プラグをコンセントから抜いて、コールセンターにご相談ください。



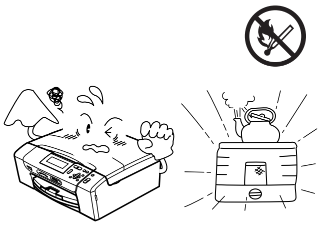
● 本製品を清掃する際、可燃性のスプレーなどは使用しないでください。また、近くでのご使用もおやめください。

火災・感電の原因となります。

可燃性スプレーの例
- ほこり除去スプレー
- 殺虫スプレー
- アルコールを含む除菌、消臭スプレーなど
- アルコールなどの有機溶剤や液体



● 火気を近づけないでください。



● 電源プラグのホコリなどは定期的にとってください。湿気などで絶縁不良の原因となります。
電源プラグをコンセントから抜き、乾いた布でふいてください。

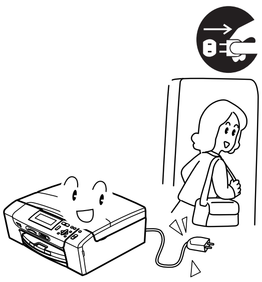
● 電源プラグは確実に差し込んでください。



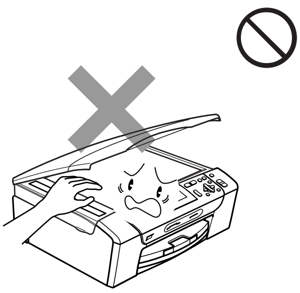
⚠注意

火災、感電、やけど、けがの原因になります。

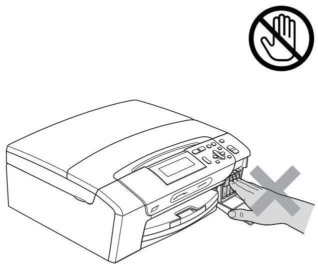
● 長期不在にするときは、安全のため電源プラグをコンセントからはずしてください。



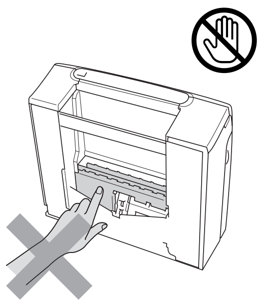
● 本体カバーを閉めるときに、指などをはさまないでください。



● インク挿入口に手や異物を入れないでください。

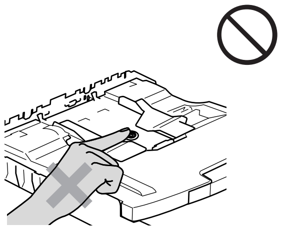


● 本製品底面の部分に手を触れないでください。

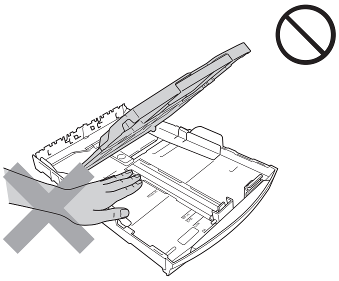


⚠注意

● スライドトレイの回転部に手をはさまないでください。



● 記録紙トレイのトレイカバーを閉めるときに、トレイの端に手を置かないでください。



● インクカートリッジを交換するときは、インクが目や口に入ったり、皮膚に付いたりしないように注意してください。

● 目に入った場合は、すぐに清潔な流水で 15 分以上洗い流してください。
皮膚に付いた場合は、すぐに水や石けんなどで洗い流してください。
痛みなどの異常が続く場合は、医師の診察を受けてください。

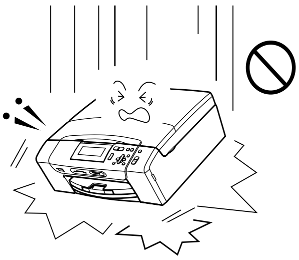
● インクを飲み込んだ場合は、すぐに口を水でよく洗浄し、コップ 1 ～ 2 杯の水を飲み、すぐに医師の診察を受けてください。

● インクを吸い込んだ場合は、新鮮な空気の場所に移動し、すぐに医師の診察を受けてください。

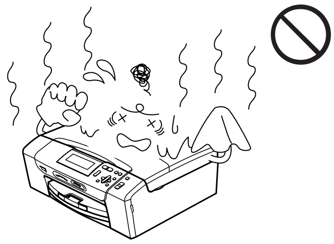
● インクカートリッジは、子供の手の届かないところに保管してください。

● インクカートリッジは強く振らないでください。強く振ったり振り回したりすると、インクカートリッジからインクが漏れることがあります。

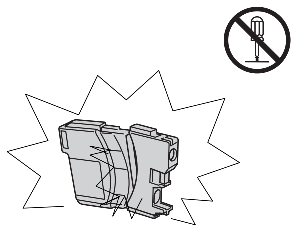
● 落下、衝撃を与えないでください。



● 室内温度を急激に変えないでください。
装置内部が結露するおそれがあります。



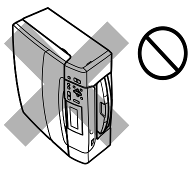
● インクカートリッジを分解しないでください。インクが漏れる原因になります。



その他

⚠注意

● 本製品を立てて放置しないでください。
インクが漏れる場合があります。



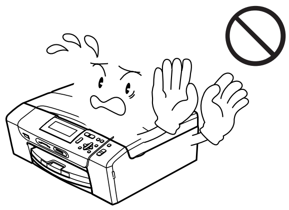
● 本製品に貼られているラベル類ははがさないでください。

● 梱包されている部品は必ず取り付けてください。

正しくお使いいただくために

本製品の使用について

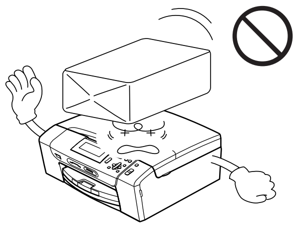
- 動作中に電源プラグを抜いたり、開閉部を開けたりしないでください。
  誤動作の原因となります。



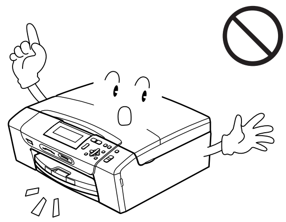
- 本製品の前方には物を置かないでください。
  記録紙の排出の妨げになります。



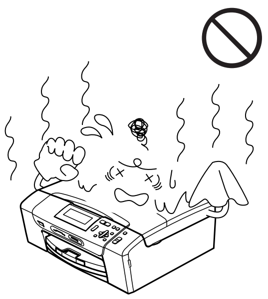
- 本製品の上に重い物を置いたり、強く押さえたりしないでください。誤動作の原因となります。



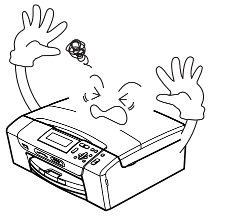
- 指定以外の部品は使用しないでください。
  誤動作の原因となります。



- 室内温度を急激に変えないでください。
  装置内部が結露するおそれがあります。



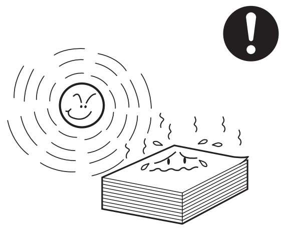
- 停電中は使用できません。
  本製品は AC 電源を必要としているため、停電時は使用できなくなります。



- しわ、折れのある紙、湿っている紙などは使用しないでください。

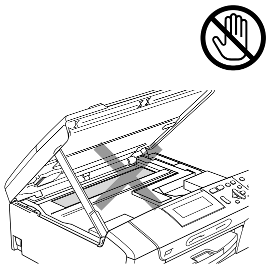


- 記録紙は直射日光、高温、高湿を避けて保管してください。

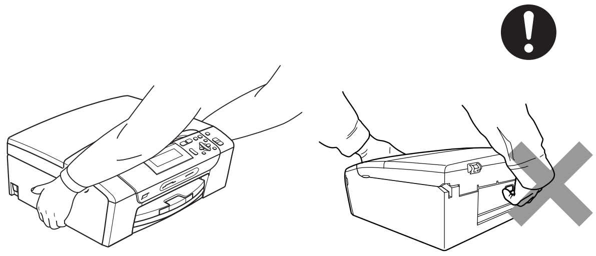


- 本製品をお使いいただける環境の範囲は次のとおりです。
  温度：10 ～ 35 ℃
  湿度：20 ～ 80％

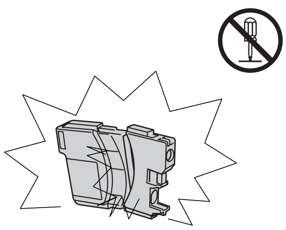
- 記録部にはさわらないでください。



- 本製品を持ち上げるときは、正面から本製品の底面を持ってください。本体カバーや背面の紙づまり解除カバーを持つと、破損や落下の恐れがあります。



- インクカートリッジを分解しないでください。インクが漏れる原因になります。

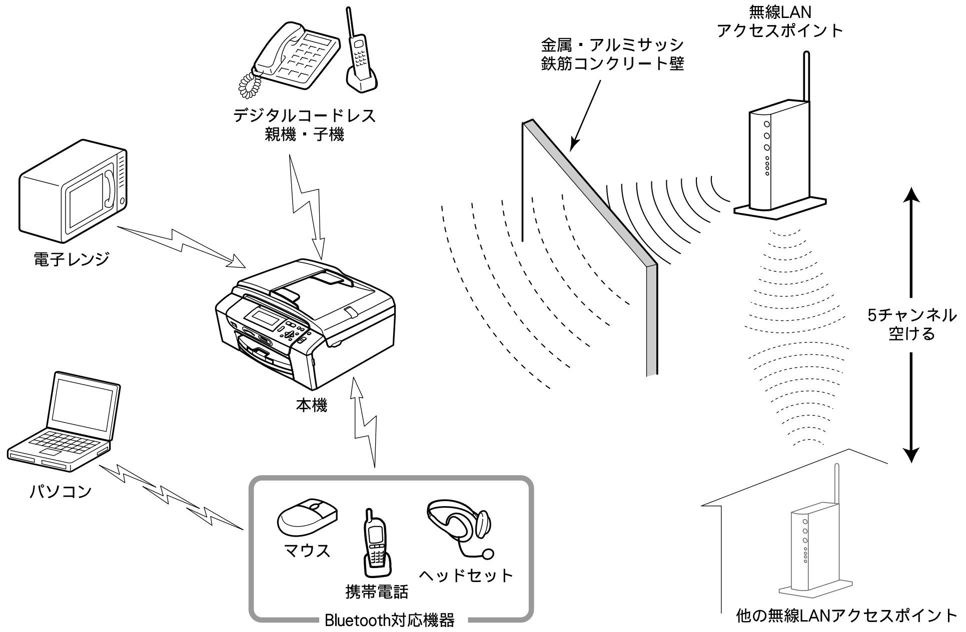


- インクの補充はできません。必ず弊社指定の純正インクをお使いください。純正以外のインクを使用すると、プリントヘッドなどを損傷する原因になります。
  純正以外のインクを使用したことによる不具合は、本製品が保証期間内であっても有償修理となります。
- 品質を保つため、電源を切るときは電源プラグを抜かないで電源ボタンを使用してください。電源プラグを抜いた場合は、日付と時刻の設定をし直してください。（26 ページ）

無線 LAN 機器の使用について（DCP-535CN のみ）

無線 LAN 接続に影響を及ぼす可能性のある環境について説明します。

本製品の近くに微弱な電波を発する電気製品、特に電子レンジやデジタルコードレス電話がある場合や、無線 LAN アクセスポイントと本製品の間に金属、アルミサッシ、鉄筋コンクリート壁がある場合、接続しにくくなったり、接続が切れたりすることがあります。また、建物自体が鉄筋コンクリートでできている場合、無線 LAN アクセスポイントと本製品の置いてある階や部屋が異なる場合も、影響を受けることがあります。接続状況が良くないときは、以下の図を参考に環境をご確認ください。



無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN 接続では、LAN ケーブルの代わりに電波を利用して、パソコン、無線 LAN アクセスポイントと本製品の間で情報のやり取りを行います。そのため、電波の届く範囲であれば、自由にネットワークに接続できます。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

● 通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報やメールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

● 不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）、特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）、傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）、コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN カードや無線 LAN アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っています。無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、これらの問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、本製品を使用することをお勧めします。

電波に関するご注意

本製品は、日本の電波法に基づき認証された無線モジュールを搭載（内蔵）しています。

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品のチャンネルを変更するか、または電波の発射を停止してください。
3. その他、電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りの場合は、弊社「お客様相談窓口」へお問い合わせください。

● 電波の種類と干渉距離

2.4 DS4/OF4

「2.4」：2.4GHz 帯を使用する無線設備を表す。

「DS」：変調方式が DS-SS 方式であることを表す。（IEEE802.11b のとき）

「OF」：変調方式が OFDM 方式であることを表す。（IEEE802.11g のとき）

「4」：想定される与干渉距離が 40m 以下であることを表す。

「---」：全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する。

第 1 章

ご使用の前に

かならずお読みください

お好みで設定してください

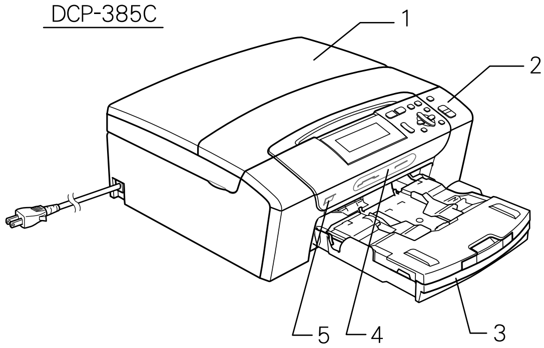
各部の名称とはたらき

かならずお読みください

外観図

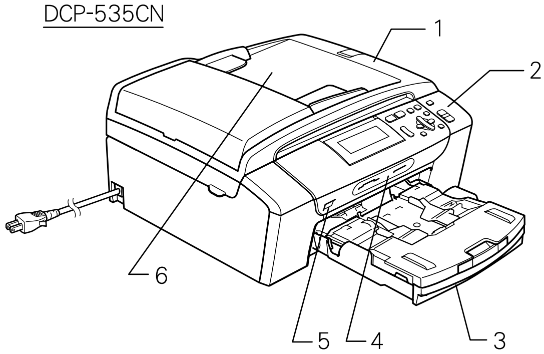
外面図

DCP-385C

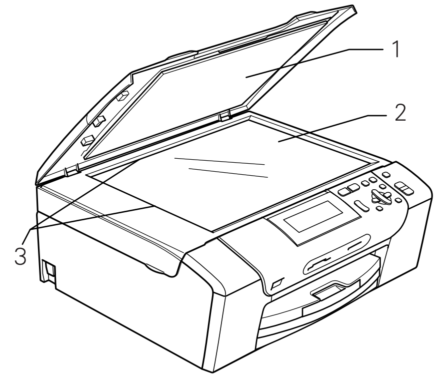


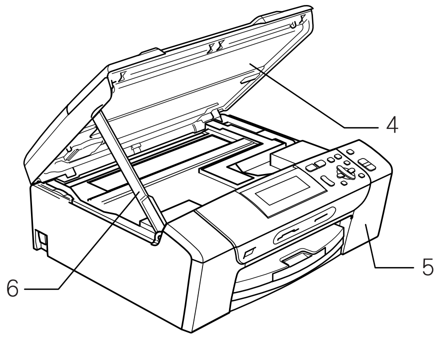
1	原稿台カバー
2	操作パネル
3	記録紙トレイ
4	カードスロット
5	PictBridge ケーブル差し込み口 / USB フラッシュメモリー差し込み口
6	ADF（自動原稿送り装置）（DCP-535CN のみ）

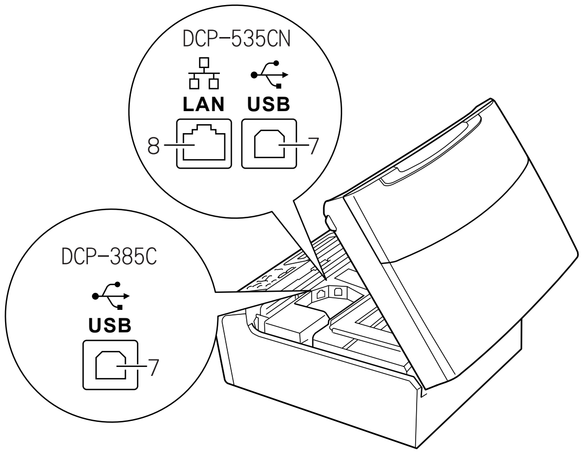
DCP-535CN



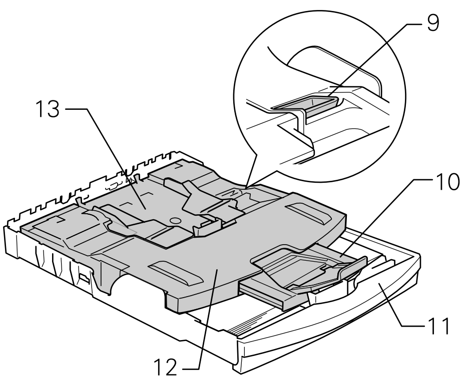
内面図





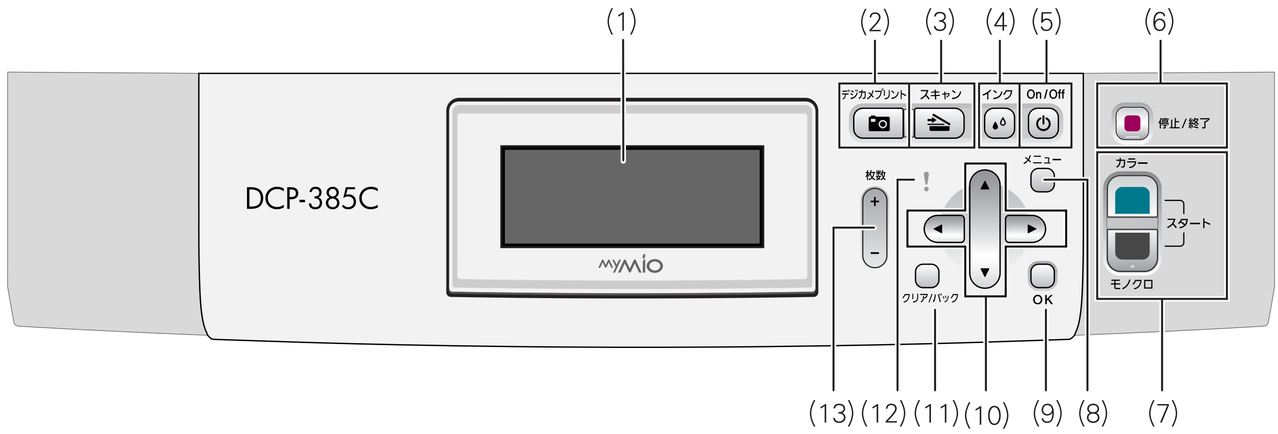


※DCP-385Cは、ネットワークに接続できません。



1	原稿台カバー
2	原稿台ガラス
3	原稿ガイド
4	本体カバー
5	インクカバー（インク挿入口）
6	本体カバーサポート
7	USB ケーブル差し込み口
8	LAN ケーブル差し込み口（DCP-535CN のみ）
9	リリースボタン
10	記録紙ストッパー
11	記録紙トレイ
12	トレイカバー （排紙トレイのはたらきもしています。）
13	スライドトレイ

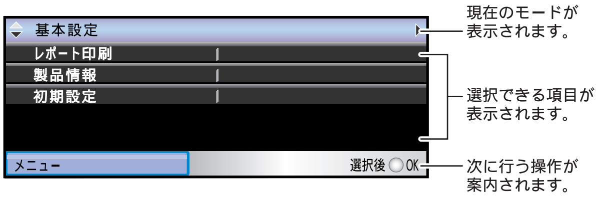
操作パネル



(1) 液晶ディスプレイ	各種メニュー、操作方法を案内するメッセージが表示されます。
(2) デジカメプリントボタン	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの写真を印刷するなど、フォトメディアキャプチャを実行するときに押します。 ⇒ 57 ページ「写真を見る・プリントする」
(3) スキャンボタン	スキャンやスキャン TO メディアを実行するときに押します。 ⇒ 73 ページ「スキャンしたデータを保存する」
(4) インクボタン	インク残量を確認したり、印刷テスト、ヘッドクリーニングを行います。
(5) 電源ボタン	電源をオン / オフするときに押します。 ⇒ 24 ページ「電源ボタンについて」 電源をオフにした場合でも、定期的にヘッドクリーニングを行います。
(6) 停止／終了ボタン	操作を中止するときや設定を終了するときに押します。
(7) カラー／モノクロスタートボタン	コピー、デジカメプリントまたはスキャンをスタートするときに押します。
(8) メニューボタン	設定できるメニューを表示します。
(9) OK ボタン	機能を設定するときや設定した機能を確定（決定）するときに押します。
(10) ナビゲーションキー	画面の項目を選択します。 ⇒ 23 ページ「メニュー画面」
(11) クリア／バックボタン	設定内容をキャンセルして前の画面に戻ります。文字を入力しているときは、カーソル位置の文字を消去します。
(12) エラーランプ	インク切れなどのエラーが発生したときに橙色で点滅します。 ⇒ 25 ページ「エラーランプについて」
(13) 枚数ボタン	何部コピーするかを設定します。 ⇒ 41 ページ「複数部コピーする」

メニュー画面

メニュー画面では、表示された項目を▲/▼（ナビゲーションキー）で選びます。選んだ項目を確定するときは OK を押します。



ボタン	操作
▲/▼	上下にカーソルを移動します。項目を選ぶときに押します。
▶	現在選択している項目の１つ下の階層に移動します。 または、項目を選ぶときに押します。
◀	１つ上の階層に戻ります。 または、項目を選ぶときに押します。
OK	現在選択している項目を確定します。
カラー スタート モノクロ	現在の設定を反映して、コピー、スキャンなどの操作を実行します。

画面の操作例

ここでは、【基本設定】の【画面のコントラスト】の設定方法を例に説明します。

1 メニュー を押す

メニュー画面が表示されます。

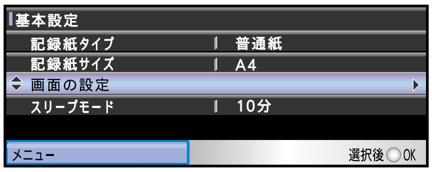
2 ▲/▼で、【基本設定】を選ぶ



3 OK を押す

１つ下の階層が表示されます。

4 ▲/▼で、【画面の設定】を選ぶ



5 OK を押す

１つ下の階層が表示されます。

6 ▲/▼で、【画面のコントラスト】を選ぶ



7 ◀/▶で画面のコントラストを選ぶ



8 OK を押す

画面のコントラストが変更されます。

注意

■ 設定変更後、上下キー（▲/▼）で項目を移動すると、OK を押さなくても設定が確定されますので、ご注意ください。

9 停止/終了 を押す

待ち受け画面に戻ります。

電源ボタンについて

電源ボタンを押すと、本製品の電源をオン／オフできます。電源をオフにした場合でも、印刷品質を維持するために本製品のヘッドクリーニングを定期的に行います。

- ヘッドクリーニングの頻度は、ご利用の環境によって異なります。
- ヘッドクリーニング時は、全色のヘッドをクリーニングするため、カラーインクも消費します。

電源をオフにする

1 On/Off を２秒以上押す

画面に【電源をオフにします】と表示されたあと、画面の表示が消え、本製品の電源がオフになります。

電源をオンにする

1 On/Off を押す

電源がオンになります。

エラーランプについて

インク切れなどのエラーが発生したときに橙色で点滅します。

表示	状態	内容
消灯	通常の状態	エラーが発生していない状態です。
点滅	カバーが開いている	本体カバーまたはインクカバーが開いています。本体カバーまたはインクカバーを閉めてください。
	インク切れ	インク切れです。画面に表示されている色のインクカートリッジを交換してください。
	記録紙エラー	記録紙を記録紙トレイにセットしてください。または紙づまりのチェック・処置をしてください。
	その他	画面の表示を確認してください。

はじめに設定する

日付と時刻を設定する

[時計セット]

現在の日付と時刻を合わせます。この日付と時刻は、本製品が自動メンテナンスを行うときや、「スキャン TO メディア」のファイル名として使用されます。（画面には、日時は表示されません。）

1 メニュー を押し、/ で【初期設定】を選び、OK を押す

2 / で【時計セット】を選び、OK を押す

時計セット画面が表示されます。



3 / で西暦の下 2 桁を入力し、OK を押す

4 / で月を 2 桁で入力し、OK を押す

5 / で日付を 2 桁で入力し、OK を押す

6 / で時間を24時間制で入力し、OK を押す

例：午後 0 時 45 分の場合は、

/ で「12」を選び、 を押したら、

/ で「45」を選び、OK を押します。

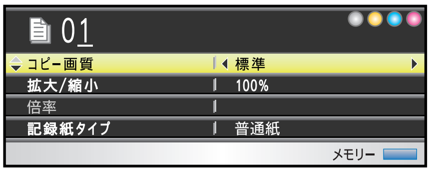
日時設定が終了し初期設定画面に戻ります。



- / を長押しすると、数字を速く増減させることができます。
- 日付や時刻を間違って入力したときは、クリア/バック を押すと、入力し直すことができます。

7 停止/終了 を押す

設定が終わり、画面に待ち受け画面が表示されます。



- 時刻は時間が経過すると誤差が生じます。定期的に設定し直すことをお勧めします。
- 現在の日付と時刻を確認する場合は、設定内容リストを印刷してください。
⇒ 97 ページ「本製品の設定内容や機能を確認する［レポート印刷］」

記録紙のセット

印刷品質は記録紙の種類によって大きく左右されます。目的に合った記録紙を選んでください。また、記録紙をセットしたときは、本製品の「記録紙タイプ」(⇒ 33 ページ「記録紙の種類を設定する」) またはプリンタドライバの「用紙種類」の設定を変更してください。(⇒画面で見るマニュアル「印刷の設定を変更する」)
記録紙には色々な種類があるので、大量に購入される前に試し印刷することをお勧めします。

専用紙 ・推奨紙

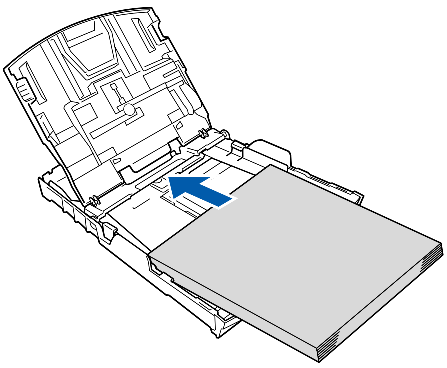
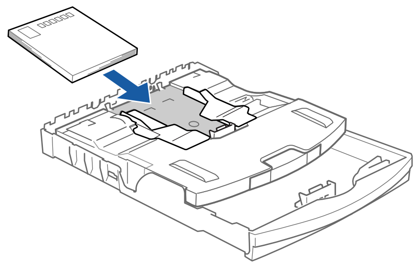
印刷品質維持のため、下記の弊社純正の専用紙をご利用になることをお勧めします。

記録紙種類	商品名	型番（サイズ）	枚数
普通紙	上質普通紙	BP60PA（A4）	250 枚入り
光沢紙	写真光沢紙	BP71GA4（A4）	20 枚入り
		BP71GLJ50（L 判）	50 枚入り
		BP71GLJ100（L 判）	100 枚入り
		BP71GLJ300（L 判）	300 枚入り
		BP71GLJ500（L 判）	500 枚入り
マット紙	インクジェット紙（マット仕上げ）	BP60MA（A4）	25 枚入り

- OHP フィルムは以下の推奨品をお使いください。
  住友スリーエム社製 OHP フィルム 型番：CG3410
- ブラザー写真光沢紙をセットするときは、実際に印刷したい枚数より 1 枚多くトレイにセットしてください。
  ※ ブラザー BP71 写真光沢紙には、1 枚多く光沢紙が同封されています。
- ブラザー BP71 写真光沢紙をお使いの場合は、光沢紙付属の取扱説明書および「印刷後の乾燥・保存方法について」と書かれた説明書をよくお読みください。

セットできる記録紙

記録紙をセットする場所は、「記録紙トレイ」と「スライドトレイ」の 2 種類のトレイがあります。

記録紙トレイ	スライドトレイ
	
主に、A4、B5 などの記録紙、封筒などをセットします。 ⇒ 29 ページ「記録紙トレイにセットする」	主に、L 判光沢紙、はがき（普通紙）、はがき（インクジェット紙）、写真用光沢はがきをセットします。 ⇒ 31 ページ「スライドトレイにセットする」

注意

- ■ 指定された記録紙でも、以下の状態の記録紙は使用できません。
  傷がついている記録紙、カールしている記録紙、シワのある記録紙、留め金のついた記録紙、すでに印刷された記録紙（写真つきはがきを含む）
- ■ 指定以外の記録紙は使用できません。誤って使用すると、故障や紙づまりの原因になります。封筒の場合は斜めに送り込まれたり、汚れたりします。
- ■ ラベル用紙は使用できません。誤って使用すると、正しく印刷されなかったり、ラベルが内部に付着し、故障の原因となることがあります。
- ■ 使用していない記録紙は袋に入れ、密封してください。湿気のある場所、直射日光の当たる場所には保管しないでください。
- ■ 往復はがきには、「折ってあるタイプのもの」と「折り目はあるが折っていないタイプのもの」があります。「折ってあるタイプのもの」を使用すると往復はがきの後端に汚れなどが発生することがありますので、「折り目はあるが折っていないタイプのもの」をご使用ください。

記録紙トレイにセットできる記録紙

記録紙トレイには、以下の種類の記録紙をセットできます。

記録紙の種類	厚さ	記録紙トレイにセットできる枚数	用紙サイズ		
			コピー	デジカメプリント	プリンタ
普通紙	$64g/m^2$ ～ $120g/m^2$ （0.08mm～0.15mm）	100(*1)	A4、B5、A5	A4	A4、レター、 エグゼクティブ、 B5(JIS)、A5、A6
		100	—	—	リーガル
インクジェット紙	$64g/m^2$ ～ $200g/m^2$ （0.08mm～0.25mm）	20	A4、B5	A4	A4、レター、 エグゼクティブ、 B5(JIS)、A5、A6、 リーガル、2L 判 (*2)
光沢紙	$220g/m^2$ 以下 （0.25mm 以下）(*3)	20	A4、B5	A4、 2L 判 (*2)	
OHP フィルム	0.13mm 以下	10	A4、B5	—	
封筒	$75g/m^2$ ～ $95g/m^2$	10	—	—	DL 封筒、COM-10、 C5 封筒、モナーク、 洋形 4 号封筒
ポストカード	0.25mm 以下	20	—	—	102mm × 152mm
インデックスカード	$120g/m^2$ 以下 （0.15mm 以下）	30	—	—	127mm × 208mm

(*1) $80g/m^2$ の場合

(*2) 127mm × 178mm

(*3) ブラザー BP71 写真光沢紙の厚さは $260g/m^2$ ですが、本製品の専用紙として作られていますので、ご使用いただけます。

注意

■ 記録紙トレイに L 判サイズの用紙、はがきをセットすることはできません。スライドトレイにセットしてください。
⇒ 31 ページ「スライドトレイにセットする」

スライドトレイにセットできる記録紙

スライドトレイには、以下の種類の記録紙をセットできます。L 判光沢紙や、はがき（普通紙・インクジェット紙・写真用光沢はがき）をスライドトレイにセットすると、記録紙トレイに入っている記録紙を入れ替えることなくセットできて、便利です。

記録紙の種類		スライドトレイにセットできる枚数
L 判光沢紙		20
はがき	普通紙	20
	インクジェット紙	20
	写真用光沢はがき	20（$220g/m^2$ 以下（0.25mm 以下））(*4)

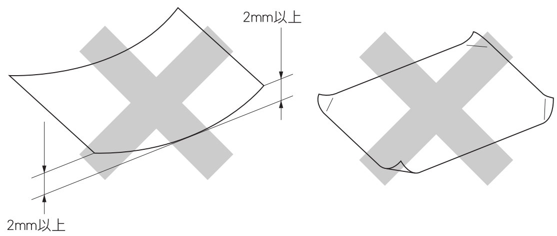
(*4) ブラザー BP71 写真光沢紙の厚さは $260g/m^2$ ですが、本製品の専用紙として作られていますので、ご使用いただけます。

注意

■ L 判サイズの記録紙は、必ずスライドトレイにセットしてください。

カールしている記録紙について

特に、はがきや光沢紙（L 判、2L 判）はカールしている場合があるため、曲がりやそりを直して使用してください。
カールしている記録紙をそのまま使用すると、インク汚れ、印刷のずれ、記録紙づまりが発生します。



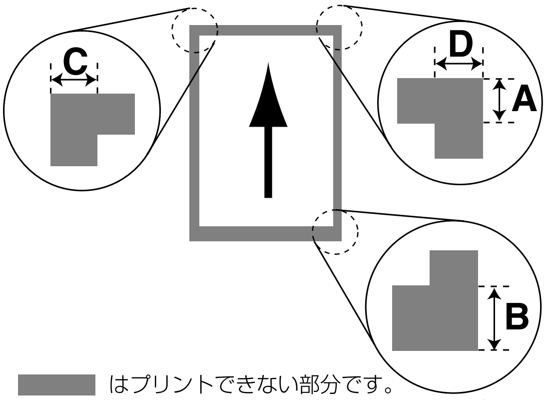
最大排紙枚数について

厚さ $80g/m^2$ の A4 記録紙の場合、最大 50 枚まで排紙できます。
写真用光沢紙や OHP フィルムに印刷した場合は、インク汚れを防ぐため、排紙トレイから 1 枚ずつ取り出してください。

記録紙の印刷範囲

記録紙には印刷できない部分があります。以下の図と表に、印刷できない部分を示します。なお、図と表の A、B、C、D、はそれぞれ対応しています。

> 下記の数値は、プリンタ機能でふちなし印刷を行っていない場合の数値です。ふちなし印刷を行っている場合、印刷できる範囲はお使いの OS やプリンタドライバによって異なります。



■ はプリントできない部分です。

（単位：mm）

記録紙	A	B	C	D
普通紙 インクジェット紙 光沢紙 OHP フィルム ポストカード インデックスカード	3	3	3	3
封筒	12	24	3	3

※ 印刷できない部分の数値（A、B、C、D）は、概算値です。また、この数値はお使いの記録紙やプリンタドライバによっても変わることがあります。

記録紙のセットのしかた

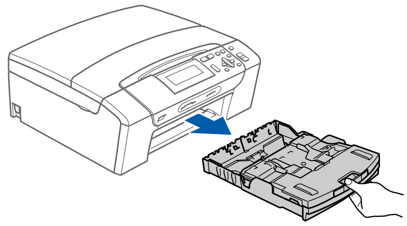
注意

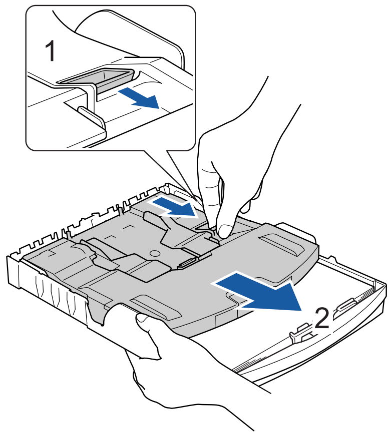
- ■ 光沢紙をセットするときは、印刷面に直接手を触れないようにしてください。
- ■ ブラザー写真光沢紙をセットするときは、実際に印刷したい枚数より 1 枚多くトレイにセットしてください。
  ※ブラザー BP71 写真光沢紙には、1 枚多く光沢紙が同封されています。
- ■ インクジェット紙、光沢紙、OHP フィルムには表側と裏側があります。記録紙の取扱説明書をお読みください。
- ■ 記録紙を強く押し込まないでください。用紙先端が傷ついたり、装置内に入り込んでしまうことがあります。
- ■ 種類の異なる記録紙を一緒にセットしないでください。
- ■ L 判サイズの記録紙は、必ずスライドトレイにセットしてください。

記録紙トレイにセットする

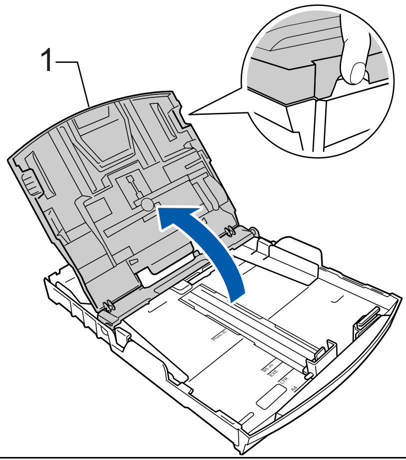
ここでは、A4 サイズの記録紙をセットする操作を例として説明します。

1 記録紙トレイを引き出す



> スライドトレイが奥にセットされているときは、右手人さし指でリリースボタン（1）をつまみ、スライドトレイを閉じたまま手前に引いておいてください（2）。
>
> 
>

2 トレイカバー（1）を開ける



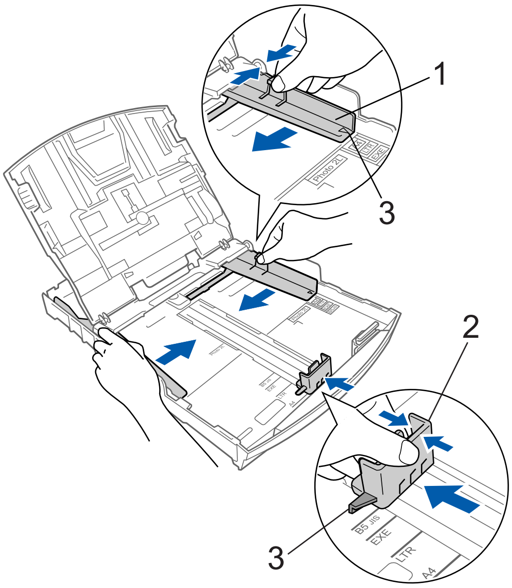
> 記録紙ストッパーが開いている場合は、閉めてからトレイカバーを開けてください。

注意

- ■ トレイカバーが倒れて指を挟まないようにご注意ください。
- ■ トレイカバーが倒れないよう、平らな場所で行ってください。

3 両手で幅のガイド（1）をゆっくりと動かし、記録紙の幅に合わせて調節する。長さのガイド（2）も記録紙の長さに合わせて調節する

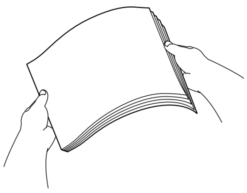
それぞれのガイドに付いている△の目印（3）をセットする記録紙サイズの目盛りに合わせます。



4 記録紙をさばく

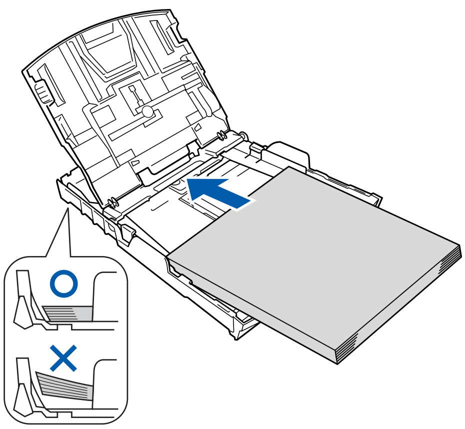
紙づまりや給紙ミスがないように、記録紙をさばきます。

記録紙がカールしていないことを確認してください。記録紙がカールしていると、紙づまりの原因になります。



5 印刷したい面を下にして、記録紙の上端から先にセットする

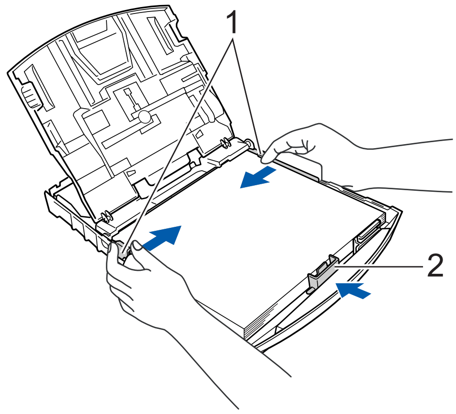
記録紙の先端がコツンと当たるところまでセットします。強く押し込まないでください。



6 幅のガイド（1）と長さのガイド（2）を、記録紙サイズに合わせて調節する

両手で幅のガイドを寄せるように調節します。

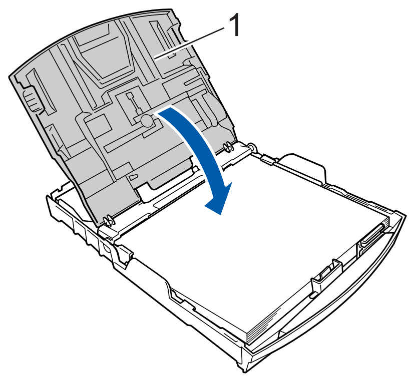
また、幅と長さのガイドが記録紙に合っていることを確認してください。



注意

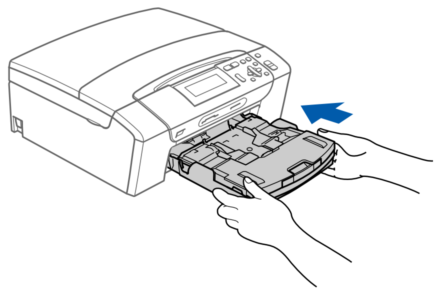
- ■ トレイカバーが倒れて、指をはさまないようにご注意ください。
- ■ トレイカバーが倒れないよう、平らな場所で行ってください。
- ■ 幅と長さのガイドで記録紙を強くはさみつけないようにご注意ください。記録紙が浮いたり、傾いたりして、うまく給紙されない場合があります。

7 トレイカバー（1）を閉める

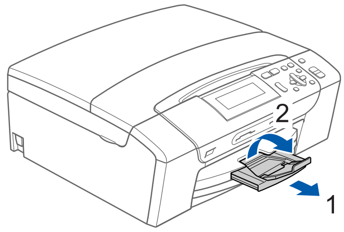


8 記録紙トレイを元に戻す

記録紙トレイをゆっくりと確実に本製品に戻します。トレイを強く押し込むと、紙づまりの原因になります。力を入れて押し込まないでください。



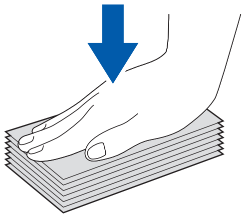
9 トレイに手をそえ、記録紙ストッパーを確実に引き出し（1）、フラップを開く（2）



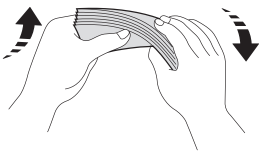
スライドトレイにセットする

はがき（普通紙・インクジェット紙・写真用光沢はがき）、L 判の記録紙は、スライドトレイにセットします。

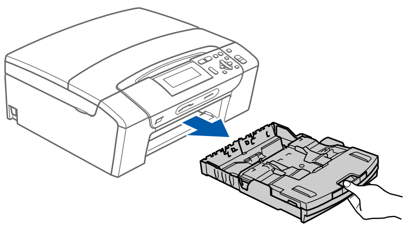
1 記録紙の端をそろえて、まっすぐにする



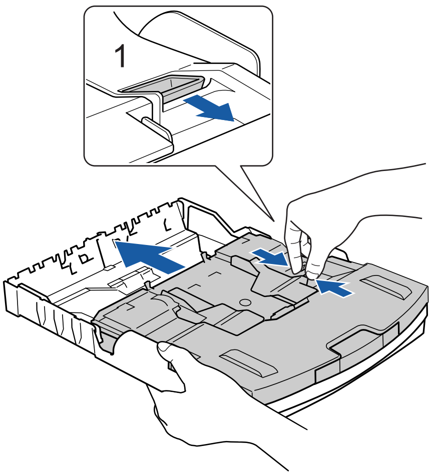
記録紙がそっているときは、対角線上の端を持ってゆっくり曲げ、そりを直します。



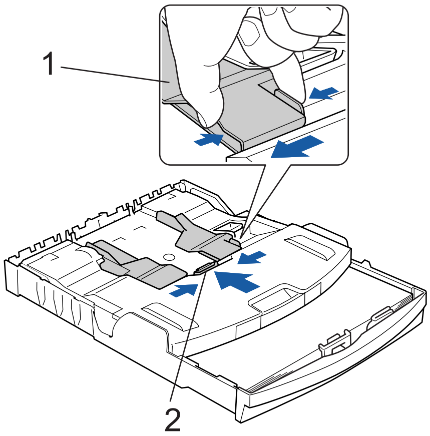
2 記録紙トレイを引き出す



3 リリースボタン（1）をつまみ、スライドトレイを奥にずらす

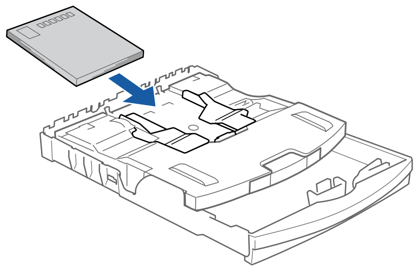


4 幅のガイド（1）と長さのガイド（2）を、記録紙サイズに合わせて調節する

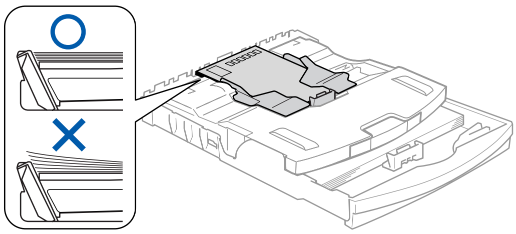


5 印刷したい面を下にして、記録紙の下端から先に、図のようにセットする

はがきを印刷する場合は、上側（郵便番号欄）が記録紙トレイの奥になるようにセットしてください。

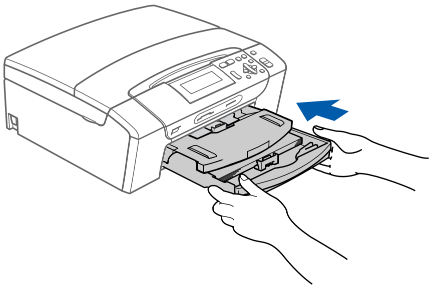


記録紙がスライドトレイの中で平らになっていることを確認してください。また、幅と長さのガイドが記録紙に合っていることを確認してください。



6 記録紙トレイを元に戻す

記録紙トレイをゆっくりと確実に本製品に戻します。トレイを強く押し込むと、紙づまりの原因になります。力を入れて押し込まないでください。

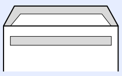


封筒をセットする場合

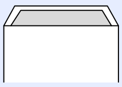
封筒は、記録紙トレイにセットします。
⇒ 29 ページ「記録紙トレイにセットする」

注意

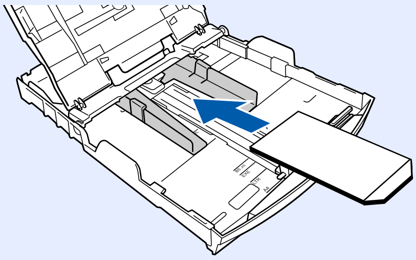
- 封筒は、坪量 75g/m^2 ～ 95g/m^2 のものをお使いください。
- 印刷時にパソコンのアプリケーション上で余白の設定が必要なことがあります。印刷する前に、同じ大きさの用紙などを使用して、試し印刷を行ってください。
- 以下の封筒は使用できません。誤って使用すると、故障や紙づまりの原因になります。
  - ・窓付き封筒・エンボス加工がされたもの
  - ・留め金のついたもの
  - ・内側に印刷がほどこされているもの
  - ・ふたにのりが付いているもの



  - ・二重封筒（ふたの部分が二重になった封筒）



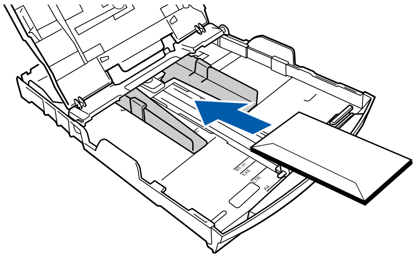
- 縦長封筒は、ふたのない方向からセットしてください。



- 封筒の厚みやサイズ、ふたの形状によっては、うまく給紙されない場合があります。

うまく印刷できない場合は、以下の内容をお試しください。

- 使用しているアプリケーションで、用紙サイズ、余白を調整してみてください。
- 横長封筒は、ふたを折りたたんだ状態でセットしてください。



- 縦長の封筒を給紙する場合、ふたのある方向から給紙すると、印刷面が汚れたり封筒が重なって給紙されたりすることがあります。

光沢紙をセットする場合

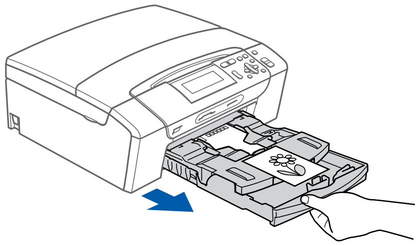
光沢紙は、充分にさばいてからセットします。印刷する枚数が少ない場合など、光沢紙がうまく引き込まれないときは、光沢紙に付属している同サイズの補助紙または余分に光沢紙をセットしてください。ブラザー写真光沢紙をセットするときは、実際に印刷したい枚数より 1 枚多くトレイにセットしてください。ブラザー写真光沢紙には、1 枚多く光沢紙が同封されています。

注意

- 1 枚だけ印刷するときも必ず 2 枚セットしてください。このとき用紙の表と裏をそろえてください。

印刷した後、はがき、L 判の記録紙を取り出す

はがきや L 判サイズの記録紙など、小さなサイズの記録紙に印刷したときは、記録紙トレイを引き出して、印刷した記録紙を取り出してください。



記録紙の種類を設定する

【記録紙タイプ】

セットした記録紙の種類を本製品で設定します。
お買い上げ時は、【普通紙】に設定されています。

> コピーやフォトメディアキャプチャを行うときに、一時的に記録紙の種類を変更することもできます。
> ⇒ 42 ページ「いろいろなコピー」
> ⇒ 68 ページ「いろいろなプリント方法」
>
> パソコンから印刷するときは、パソコンで記録紙の種類を設定します。
> ⇒画面で見るマニュアル「印刷の設定を変更する」

1 メニュー を押し、▲/▼ で【基本設定】を選び、OK を押す

2 ▲/▼ で【記録紙タイプ】を選ぶ

3 ◀/▶ で記録紙の種類を選び、OK を押す

記録紙タイプは、【普通紙／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／その他光沢／ OHP フィルム】から選びます。

> ブラザー BP71 写真光沢紙をお使いの場合は、必ず【ブラザー BP71 光沢】を選んでください。それ以外の光沢紙をお使いの場合は【その他光沢】を選んでください。
>
> カラーやグラフなどを多く含むビジネス文書を印刷する時は、【インクジェット紙】を選ぶと、よりきれいに印刷できます。

4 停止/終了 を押す

設定を終了します。

記録紙のサイズを設定する

【記録紙サイズ】

セットした記録紙のサイズを本製品で設定します。
お買い上げ時は【A4】に設定されています。

> コピーやフォトメディアキャプチャを行うときに、一時的に記録紙のサイズを変更することもできます。
> ⇒ 42 ページ「いろいろなコピー」
> ⇒ 68 ページ「いろいろなプリント方法」
>
> パソコンから印刷するときは、パソコンで記録紙のサイズを設定します。
> ⇒画面で見るマニュアル「印刷の設定を変更する」

1 メニュー を押し、▲/▼ で【基本設定】を選び、OK を押す

2 ▲/▼ で【記録紙サイズ】を選ぶ

3 ◀/▶ で記録紙サイズを選び、OK を押す

記録紙サイズは、【A4 ／ A5 ／ B5 ／ハガキ／ 2L 判／ L 判】から選びます。

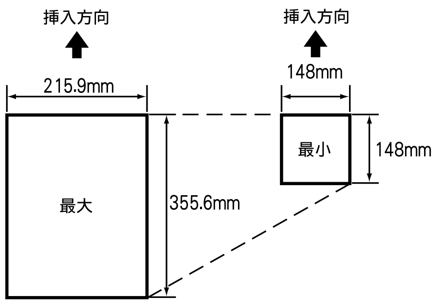
4 停止/終了 を押す

設定を終了します。

原稿のセット

ADF にセットできる原稿（DCP-535CN のみ）

ADF にセットできる原稿サイズは次のとおりです。これ以外のサイズの原稿は、原稿台ガラスにセットしてください。

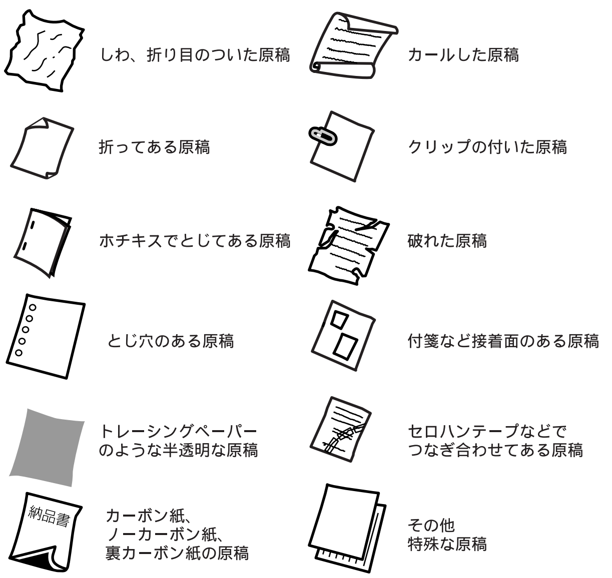


厚さ：0.08 ～ 0.12mm

坪量：64g/m^2 ～ 90g/m^2

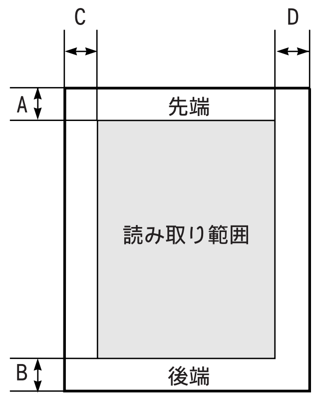
ADF に原稿をセットする場合の注意事項

- インクや修正液、のりなどが付いている原稿は、完全に乾いてからセットしてください。
- 原稿にクリップやホチキスの針が付いていると、故障の原因になります。取り外してください。
- 異なるサイズ・厚さ・紙質の原稿を混ぜて ADF にセットしないでください。
- ADF に原稿を強く押し込まないでください。原稿づまりを起こしたり、複数枚の原稿が一度に送られることがあります。
- 以下のような原稿は、ADF にセットしないでください。原稿台ガラスにセットしてください。



原稿の読み取り範囲

ADF または原稿台ガラスに、原稿をセットしたときの最大読み取り範囲は下記のようになります。



（単位：mm）

機能	A	B	C	D
コピー	3		3	
スキャン	3		3	

原稿をセットする

原稿台ガラスに原稿をセットする

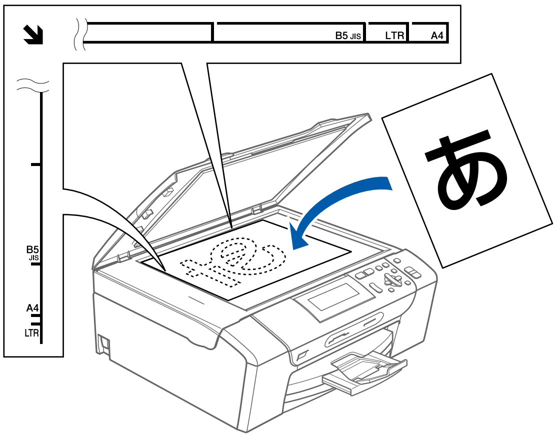
原稿台ガラスの原稿ガイドに合わせて、原稿をセットします。原稿台には、最大重量 2kg までの原稿をセットできます。

注意

■ インクやのり、修正液などが乾いていない原稿は、完全に乾いてからセットしてください。

1 原稿台カバーを持ち上げる

2 原稿ガイドの左奥に合わせて、原稿のおもて面を下にしてセットする



3 原稿台カバーを閉める

本などの厚みのある原稿のときは、上から軽く押さえてください。

注意

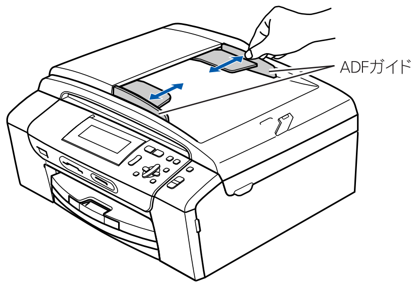
■ 原稿台カバーは必ず閉めてください。開けたままコピーすると、画像が黒くなることがあります。

■ 原稿台カバーを閉めるときは、静かに閉めてください。また、強く押さえないでください。

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする（DCP-535CN のみ）

本製品には、複数枚の原稿を連続して読み取ることのできる ADF（自動原稿送り装置）が搭載されています。複数枚の原稿を読み込むときは、ADF に原稿をセットすると便利です。

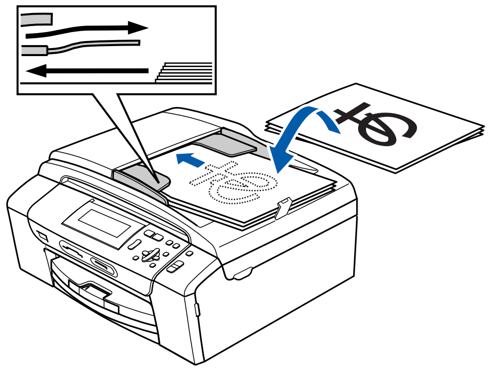
1 ADF ガイドを原稿の幅に合わせる



2 原稿をそろえ、読み取りたい面を下にして、用紙の先端が軽く当たるところまで差し込む

画面に【原稿セット OK】と表示されます。

原稿は一度に 15 枚までセットできます。原稿は、一番下から順番に読み込まれます。



複数枚のコピーをする場合、最後に読み取った原稿のコピーが一番上に上向きで排出されます。

注意

■ ADFガイドで左右から原稿を強くはさみつけないようにご注意ください。原稿が浮いたり、位置がずれたりして、うまく読み込みができなくなることがあります。

表示言語を設定する

お好みで設定してください

画面に表示される言語を、英語または日本語に切り替えることができます。

1 **メニュー を押し、▲/▼ で【初期設定】を選び、OK を押す**

2 **▲/▼ で【表示言語設定】を選び、OK を押す**

3 **▲/▼ で【日本語】または【English】を選び、OK を押す**

4 **停止/終了 を押す**

設定を終了します。

英語による説明を以下に示します。

This setting allows you to change LCD language to English.

1 Press メニュー, and press ▲ or ▼ to choose 【初期設定】. Press OK.

2 Press ▲ or ▼ to choose 【表示言語設定】.

Press OK.

3 Press ▲ or ▼ to choose 【English】. Press OK.

4 Press 停止/終了.

英語版 OS 用ドライバのインストール方法については、付属 CD-ROM の install フォルダの中の dcp-385c フォルダまたは dcp-535cn フォルダにある「Jpneng.txt」を参照してください。

For the method of installing the English OS driver, see “Jpneng.txt” in “￥install￥dcp-385c” folder or “￥install￥dcp-535cn” folder stored on the attached CD-ROM.

画面の設定を変更する

本製品の画面の設定を変更します。

1 **メニュー を押し、▲/▼ で【基本設定】を選び、OK を押す**

2 **▲/▼ で【画面の設定】を選び、OK を押す**

3 **▲/▼ で設定したい項目を選ぶ**



①画面のコントラスト

画面の見やすさ（コントラスト）を調整します。

②画面の明るさ

画面の明るさを調整します。

③照明ダウンタイマー

画面のバックライトを暗くするまでの時間を設定します。（暗くなっても画面の表示は確認できます。）

4 **◀/▶ で設定を選び、OK を押す**

- 画面のコントラスト
  【薄く／標準／濃く】
- 画面の明るさ
  【明るく／標準／暗く】
- 照明ダウンタイマー
  【切／ 10 秒／ 20 秒／ 30 秒】

5 **停止/終了 を押す**

設定を終了します。

スリープモードに入る時間を設定する

設定した時間内にパソコンからの印刷、コピーなどが行われなかったとき、本製品は自動的に待機状態（スリープモード）に切り替わります。待機中でもパソコンからの印刷には影響はなく、受け付けるとただちに印刷します。この待機状態（スリープモード）に切り替わるまでの時間を設定します。

1 **メニュー を押し、▲/▼ で【基本設定】を選び、OK を押す**

2 **▲/▼ で【スリープモード】を選ぶ**

3 **◀/▶ で希望の時間を選び、OK を押す**

【 1 分／ 2 分／ 3 分／ 5 分／ 10 分／ 30 分／ 60 分】から選びます。

4 **停止/終了 を押す**

設定を終了します。

- お買い上げ時は【 5 分】に設定されています。
- 使用するときは、操作パネル上のボタンのいずれかを押せばすぐに起動します。

第 2 章
コピー

コピーに関するご注意　基本

コピーを行うときは、以下の点にご注意ください。

● 法律で禁止されているもの（絶対にコピーしないでください）

- 紙幣、貨幣、政府発行有価証券、国債証券、地方証券
- 外国で流通する紙幣、貨幣、証券類
- 未使用の郵便切手やはがき
- 政府発行の印紙および酒税法や物品税法で規定されている証券類

● 著作権のあるもの

- 著作権の目的となっている著作物を、個人的に限られた範囲内で使用する以外の目的でコピーすることは、禁止されています。

● その他注意を要するもの

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手）、定期券、回数券
- 政府発行のパスポート、公共事業や民間団体の免許証、身分証明書、通行券、食券などの切符類など

● 記録紙について

- しわ、折れのある紙、湿っている紙、一度記録した紙の裏などは使用しないでください。
- 記録紙の保管は、直射日光、高温、高湿を避けてください。
- コピーをする場合（特にカラーの場合）は、記録紙の選択が印刷品質に大きな影響を与えます。推奨紙をお使いください。

● 原稿について

- インクやのり、修正液などが付いている原稿は、完全に乾いてからセットしてください。スキャナ（読み取り部）が汚れて、印字品質が悪くなることがあります。
  ⇒ 34 ページ「ADF にセットできる原稿（DCP-535CN のみ）」

● スキャナ（読み取り部）について

- スキャナ（読み取り部）は常にきれいにしておいてください。汚れているときれいにコピーすることができません。
  ⇒ 76 ページ「スキャナ（読み取り部）を清掃する」

> 原稿の読み取り範囲について
> ⇒ 34 ページ「原稿の読み取り範囲」

コピーする

カラーまたはモノクロでコピーします。

注意

■ スキャナ（読み取り部）はきれいにしておきましょう。汚れているときれいなコピーができません。スキャナ（読み取り部）のお手入れ方法について詳しくは、⇒ 76 ページ「スキャナ（読み取り部）を清掃する」をご覧ください。

原稿台ガラスを使用する場合、複数枚の原稿は手動で入れ替える必要があります。定型の揃った原稿であれば、ADF（DCP-535CN にのみ搭載）の使用をお勧めします。

1 部コピーする

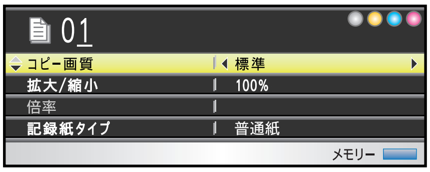
［コピー］

1 枚の原稿をモノクロまたはカラーでコピーします。

1 原稿をセットする

⇒ 35 ページ「原稿をセットする」

2 画面で設定を確認する



画質や記録紙サイズなど、一時的に設定を変更することもできます。
⇒ 42 ページ「設定を変えてコピーするには」

3 モノクロでコピーするときは［モノクロ スタート］を、カラーでコピーするときは［カラー スタート］を押す

途中でコピーを中止したいときは、［停止/終了］を押してください。

原稿がコピーされます。

複数部コピーする

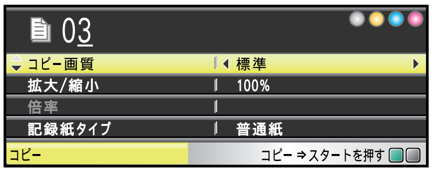
1 ～ 99 部までコピーする枚数を指定してコピーします。

1 原稿をセットする

⇒ 35 ページ「原稿をセットする」

2 ［枚数］で部数を入力する

部数は 1 ～ 99 部まで設定できます。



入力した部数を取り消すときは、［クリア/バック］を押します。

［枚数］を長押しすると、数字を速く増減させることができます。

3 モノクロでコピーするときは［モノクロ スタート］を、カラーでコピーするときは［カラー スタート］を押す

途中でコピーを中止したいときは、［停止/終了］を押してください。

原稿がコピーされます。

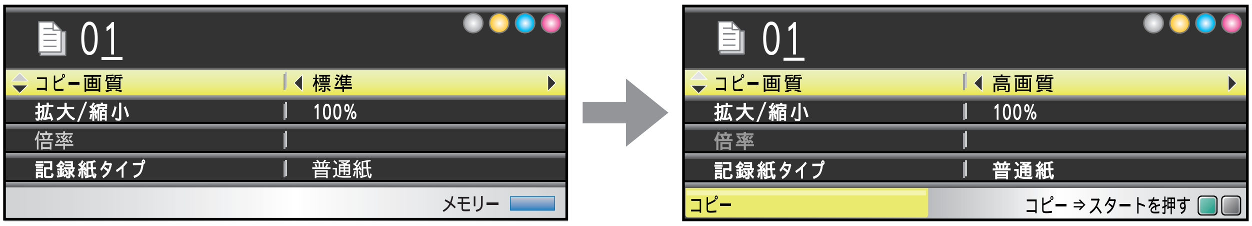
いろいろなコピー

応用

設定を変えてコピーするには

待ち受け画面でコピーの設定を変更できます。ここで変更した内容は、コピー後に元に戻ります。

/ で項目を選ぶ　　　　/ で設定値を選ぶ



(1) コピー画質

コピーの画質を設定します。設定を保持することもできます。

- 【高速】
  速くコピーしたい場合に選びます。
- 【標準】
  通常のコピーを行う場合に選びます。
- 【高画質】
  写真やイラストなどをよりきれいにコピーする場合に選びます。

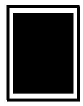
※ 1 部コピーと複数部コピーでは、画質が異なることがあります。

(2) 拡大／縮小

倍率を変更してコピーします。
設定を保持することもできます。
拡大／縮小とレイアウト コピーは同時に設定できません。

- 【40% A4 ⇒ L 判】
- 【46% A4 ⇒ハガキ】
- 【69% A4 ⇒ A5】
- 【86% A4 ⇒ B5】
- 【100%】
- 【113% L 判⇒ハガキ】*1
- 【115% B5 ⇒ A4】
- 【142% A5 ⇒ A4】
- 【204% ハガキ⇒ A4】
- 【240% L 判⇒ A4】
- 【カスタム（25-400%）】*2
- 【用紙に合わせる】*3

*1 L 判タテ向きの写真（127mm × 89mm）をハガキにフィットさせます。



*2 枚数 で直接倍率を入力し、OK を押します。

*3 選択した用紙のサイズに合わせて自動的に倍率が設定されます。「用紙に合わせる」は次のような制約があります。

- ADF（MFC-535CN にのみ搭載）は使用できません。
- 原稿を読み込むときに 3°以上傾いている場合、サイズを検知できず、適切にコピーできない場合があります。
- ソートコピー、レイアウト コピー、ブックコピー、透かしコピーと同時に設定できません。

(3) 記録紙タイプ

使用する記録紙に合わせて、記録紙タイプを設定します。
【普通紙／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／その他光沢／ OHP フィルム】

(4) 記録紙サイズ

使用する記録紙に合わせて、記録紙サイズを設定します。
【A4 ／ A5 ／ B5 ／ハガキ／ 2L 判／ L 判】

(5) 明るさ

コピーの明るさを調整します。 5 段階の調整ができます。 を押すと明るくなり、 を押すと暗くなります。
設定を保持することもできます。

(6) コントラスト
コピーのコントラストを調整します。5段階の調整ができます。▶ を押すとコントラストが強くなり、◀ を押すとコントラストが弱くなります。設定を保持することもできます。
(7) スタック / ソート コピー（DCP-535CN のみ）
複数部コピーをするとき、一部ごと（ソートコピー）、ページごと（スタックコピー）にまとめてコピーできます。 ⇒ 45 ページ「スタック / ソートコピーする（DCP-535CN のみ）」
(8) レイアウト コピー
2枚または4枚の原稿を1枚の記録紙に割り付けてコピーしたり、原稿をポスターサイズに拡大してコピーしたりできます。設定を保持することもできます。 ⇒ 46 ページ「2in1 コピー /4in1 コピー / ポスターコピーする（レイアウトコピー）」
(9) ブックコピー
原稿台ガラスに本のようにとじた原稿をセットするとき、とじ部分の影や原稿セットの傾きを修正してコピーできます。 ⇒ 48 ページ「ブックコピーする」
(10) 透かしコピー
コピー画像にロゴやテキストなど、設定した画像を同時に追加できます。 ⇒ 49 ページ「コピーに文字や画像を追加する」

変更した設定を保持する

(1) 待ち受け画面で、初期値にしたい設定に変更する

保持できる設定は以下のとおりです。

- コピー画質
- 拡大／縮小
- 明るさ
- コントラスト
- レイアウト コピー

(2) ▲/▼ で【設定を保持する】を選び、OK を押す

◆【設定を保持しますか？／はい ⇒ ⊞ を押してください／いいえ ⇒ ⊟ を押してください】と表示されます。

(3) 枚数 ⊕ を押す

◆ 変更した設定が初期値として登録されます。

※ 初期値をお買い上げ時の状態に戻すには【設定をリセットする】を選びます。

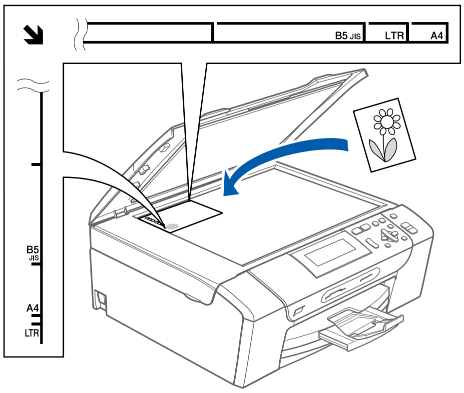
例）L 判の写真を写真用光沢はがきにコピーする

L 判の写真を、写真用光沢はがきにコピーする手順を例にして説明します。

1 記録紙トレイに写真用光沢はがきをセットする

⇒ 32 ページ「光沢紙をセットする場合」

2 原稿台カバーを持ち上げ、原稿ガイドの左奥に合わせて、コピーしたい写真面が下になるようにセットする



3 原稿台カバーを閉める

1）コピー画質を設定する

4 ▲/▼で【コピー画質】を選ぶ

5 ◀/▶ で【高画質】を選び、OK を押す

2）拡大・縮小率を設定する

6 ▲/▼で【拡大／縮小】を選ぶ

7 ◀/▶ で【拡大】を選び、OK を押す

8 ◀/▶ で【113%L 判⇒ハガキ】を選び、OK を押す

3）記録紙タイプを設定する

例：本製品に付属されているブラザー BP71 写真光沢紙にコピーする場合

9 ▲/▼で【記録紙タイプ】を選ぶ

10 ◀/▶ で【ブラザー BP71 光沢】を選び、OK を押す

ブラザー BP71 写真光沢紙以外をお使いの場合は、【その他光沢】を選びます。

4）記録紙サイズを設定する

11 ▲/▼で【記録紙サイズ】を選ぶ

12 ◀/▶ で【ハガキ】を選び、OK を押す

13 カラースタート を押す

写真が写真用光沢はがきにコピーされます。

スタック / ソートコピーする（DCP-535CN のみ）

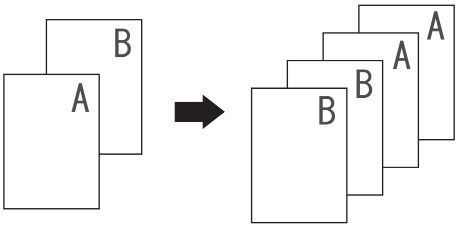
［スタックコピー / ソートコピー］

複数ページの原稿を複数部コピーする場合、一部ごとまたはページごとにまとめて排出します。原稿は ADF から送ることをお勧めします。原稿が不揃いであったり、冊子である場合は原稿台ガラスを使用してください。

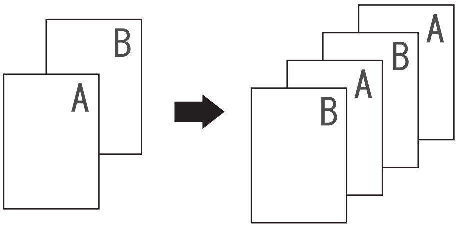
注意

■「拡大 / 縮小」の「用紙に合わせる」、「ブックコピー」、「レイアウト コピー」と「ソートコピー」は同時に設定することはできません。

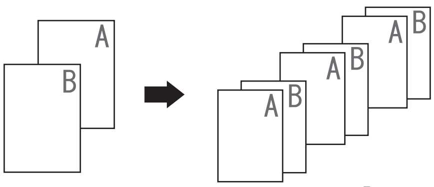
- スタックコピー
ページごとにまとめて排出します。



- ソートコピー
一部ごとにまとめて排出します。



コピーは読み取った順に上向きで排出されるため、複数部のコピーをする場合、最後に読み取った原稿のコピーが一番上になります。したがってソートコピー機能を使って大量の部数のコピーを作成するときは、できあがりを逆順に入れ替える手間を省くため、あらかじめ元になる原稿を逆順にしておくことをお勧めします。



原稿を逆順にしてセットすれば… ソートコピーされた「できあがり」がそのまま使用できる

1 **ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする**

⇒ 35 ページ「ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする（DCP-535CN のみ）」

原稿台ガラスからもソート コピーができます。

2 **▲/▼ で【スタック / ソート コピー】を選ぶ**

3 **◀/▶ で【スタックコピー】または【ソートコピー】を選び、OK を押す**

4 **枚数 +/− で部数を入力する**

コピー枚数は 99 部まで設定できます。100 部以上コピーする場合は、再度設定してください。

5 **モノクロでコピーするときは モノクロスタート を、カラーでコピーするときは カラースタート を押す**

ADF を使った場合は、コピーが開始されます。
原稿台ガラスを使った場合は、原稿の読み取りが開始され、【次の原稿はありますか ？ ／はい ⇒ ⊞ を押してください／いいえ ⇒ ⊟ を押してください】と表示されます。⇒手順 6 へ

6 **枚数 + を押す**

7 **次の原稿をセットし、OK を押す**

コピーするすべての原稿に対して、手順 6、7 を繰り返し行います。

8 **すべての原稿を読み取ったら、枚数 − を押してコピーを終了する**

原稿の読み込み中に「メモリーがいっぱいです」と表示されたときは使用できるメモリーを確保してください。
⇒ 51 ページ「「メモリーがいっぱいです」と表示されたときは」

メモリーの残量が少ないと機能しない場合があります。

スタック / ソートコピーを行うと、画質が若干劣化する場合があります。きれいな状態でコピーしたい場合は 1 部ずつコピーしてください。

2in1 コピー /4in1 コピー / ポスターコピーする（レイアウトコピー）

［レイアウトコピー］

2 枚または 4 枚の原稿を 1 枚の記録紙に割り付けてコピーしたり、原稿をポスターサイズに拡大してコピーしたりできます。

注意

- レイアウトコピーでは、記録紙サイズを【A4】に設定してください。
- 「拡大／縮小」、「ブックコピー」、「透かしコピー」、「ソートコピー」と同時に設定することはできません。

1 原稿をセットする

⇒ 35 ページ「原稿をセットする」

> 「ポスターコピー」をする場合は、原稿台ガラスに原稿をセットしてください。
> ADF（DCP-535CN のみ）から「ポスターコピー」をすることはできません。

2 複数部コピーするときは、枚数 で部数を入力する

※ この設定は、2in1、4in1 のモノクロコピーのみ有効です。

3 / で【レイアウト コピー】を選ぶ

4 / でレイアウトを選び、OK を押す

レイアウトは【オフ（1 in 1）／ 2in1 （タテ長）／ 2in1 （ヨコ長）／ 4in1 （タテ長）／ 4in1 （ヨコ長）／ポスター （3 x 3）】から選びます。

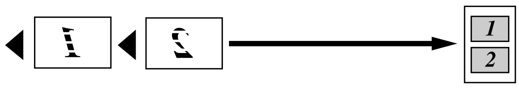
> コピーは読み取った順に上向きで排出されます。複数枚のコピーをする場合、最後に読み取った原稿のコピーが一番上になります。

※ A4 サイズの原稿を使った場合のイメージです。

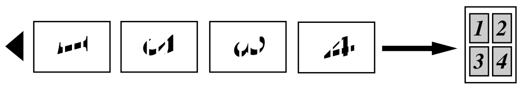
- 2in1（タテ長）



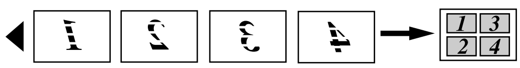
- 2in1（ヨコ長）



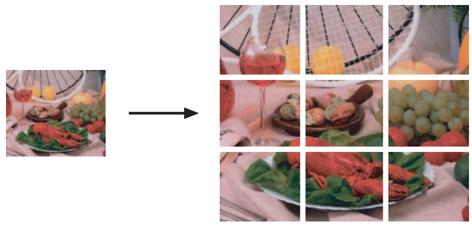
- 4in1（タテ長）



- 4in1（ヨコ長）



- ポスター（3 x 3）



> ポスターコピーは、原稿をポスターサイズに拡大し、9 枚の記録紙に分割してコピーします。ポスターコピーをする場合は、あらかじめ記録紙トレイに記録紙を分割される枚数以上セットしてください。

5 **モノクロでコピーするときは [モノクロスタート] を、カラーでコピーするときは [カラースタート] を押す**

ADF を使った場合や、【オフ】または【ポスター(3 x 3)】を選んだときは、コピーが開始されます。
原稿台ガラスに原稿をセットして、【2in1】または【4in1】を選んだときは、原稿の読み取りが開始され、【次の原稿はありますか?/はい ⇒ [+] を押してください/いいえ ⇒ [−] を押してください】と表示されます。

6 **[枚数 +] を押す**

7 **次の原稿をセットし、[OK] を押す**

コピーするすべての原稿に対して、手順 6、7 を繰り返し行います。

8 **すべての原稿を読み取ったら、[枚数 −] を押してコピーを終了する**

ブックコピーする

［ブックコピー］

原稿台ガラスに本のようにとじた原稿をセットするとき、とじ部分の影や原稿セットの傾きを修正してコピーできます。補正を本製品で自動的に調整する方法と、画面で確認しながら合わせる方法があります。

注意

- 「レイアウト コピー」、「透かしコピー」、「ソートコピー」と同時に設定することはできません。
- 「拡大／縮小」で「用紙に合わせる」を設定してブックコピーすることはできません。
- ADF に原稿をセットすることはできません。（DCP-535CN のみ）

自動的に補正してブックコピーする

1 原稿をセットする

⇒ 35 ページ「原稿台ガラスに原稿をセットする」

> ブックコピーをする場合は、原稿台ガラスに原稿をセットしてください。

2 ▲/▼ で【ブックコピー】を選ぶ

3 ◀/▶ で【オン】を選ぶ

4 モノクロでコピーするときは モノクロ スタート を、カラーでコピーするときは カラー スタート を押す

> 「ブックコピー」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。
>
> REALLUSION

手動で補正してブックコピーする

1 原稿をセットする

⇒ 35 ページ「原稿台ガラスに原稿をセットする」

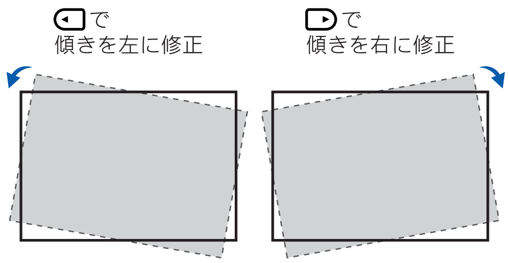
> ブックコピーをする場合は、原稿台ガラスに原稿をセットしてください。

2 ▲/▼ で【ブックコピー】を選ぶ

3 ◀/▶ で【オン（画面で確認）】を選び、OK を押す

4 モノクロでコピーするときは モノクロ スタート を、カラーでコピーするときは カラー スタート を押す

5 画面で確認しながら、◀/▶ で傾きを調整する



読み取った原稿の傾きを補正してコピーする

6 画面で確認しながら、▲/▼ で影補正を調整する

7 モノクロでコピーするときは モノクロ スタート を、カラーでコピーするときは カラー スタート を押す

コピーに文字や画像を追加する

[透かしコピー]

コピー画像にロゴやテキストなど、設定した画像を同時に追加できます。追加する透かしには以下の種類があります。

- テンプレート

【COPY】【CONFIDENTIAL】【重要】のいずれかの文字を挿入します。位置、サイズ、回転、透過度、色を設定できます。

- メディア

USB フラッシュメモリーなどに保存されているデータから画像を選択して追加できます。位置、サイズ、回転、透過度を設定できます。

- スキャン

スキャンした画像を追加できます。透過度を設定できます。

注意

- ■「レイアウト コピー」、「ブックコピー」と同時に設定することはできません。
- ■「拡大 / 縮小」で「用紙に合わせる」と同時に設定することはできません。

テンプレートを追加してコピーする

1 原稿をセットする

⇒ 35 ページ「原稿をセットする」

2 複数部コピーするときは、で部数を入力する

3 / で【透かしコピー】を選び、を押す

4 / で【オン】を選ぶ

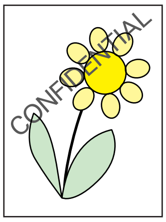
5 / で【現在の設定】を選び、を押す

6 / で【テンプレート】を選び、を押す

7 透かしの設定を行う

以下の設定ができます。/ で項目を選択し、/ で設定する内容を選択して を押してください。

- 【テキスト】
  透かしの文字を【COPY/CONFIDENTIAL/ 重要】から選びます。
- 【位置】
  透かしの位置を【A ／ B ／ C ／ D ／ E ／ F ／ G ／ H ／ I ／全面に印刷】から選びます。【全面に印刷】を選ぶと、紙面全体に文字を繰り返し追加します。
- 【サイズ】
  透かしのサイズを【小／中／大】から選びます。
- 【回転】
  透かしの角度を【-90°／ -45°／ 0°／ 45°／ 90°】から選びます。
- 【透過度】
  透かしの透過度を【-2 ／ -1 ／ 0 ／ +1 ／ +2】から選びます。
- 【色】
  透かしの色を【赤／オレンジ／黄／青／緑／紫／黒】から選びます。



テキスト：CONFIDENTIAL
位置：B（中央上）
サイズ：大
回転角度：－45°
透過度：＋2
色：黒

右記の設定内容で透かしコピーしたイメージ

8 / で【確定】を選び、を押す

9 モノクロでコピーするときは を、カラーでコピーするときは を押す

「透かしコピー」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。

メディアの画像を追加してコピーする

メモリーカードやUSBフラッシュメモリーをセットして、保存されている画像を透かしとして追加します。

注意

■ デジカメプリント が点滅しているときは、電源プラグを抜いたり、メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーの抜き差しをしないでください。データやメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーを壊す恐れがあります。

1 原稿をセットする

⇒35ページ「原稿をセットする」

2 複数部コピーするときは、枚数 で部数を入力する

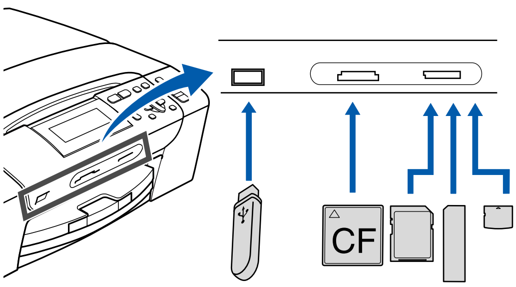
3 ▲/▼で【透かしコピー】を選び、OK を押す

4 ◀/▶で【オン】を選ぶ

5 ▲/▼で【現在の設定】を選び、OK を押す

6 本製品のカードスロットまたはUSBフラッシュメモリー差し込み口にメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーを差し込む

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーは、正しいカードスロットまたはUSBフラッシュメモリー差し込み口にしっかりと差し込んでください。



⇒54ページ「使用できるメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー」

7 ▲/▼で【メディア】を選び、OK を押す

8 ◀/▶で画像データを選び、OK を押す

9 透かしの設定を行う

以下の設定ができます。▲/▼で項目を選択し、◀/▶で設定する内容を選択して OK を押してください。

- 【位置】
  透かしの位置を【A／B／C／D／E／F／G／H／I／全面に印刷】から選びます。【全面に印刷】を選ぶと、紙面全体に文字を繰り返し追加します。
- 【サイズ】
  透かしのサイズを【小／中／大】から選びます。
- 【回転】
  透かしの角度を【-90°／-45°／0°／45°／90°】から選びます。
- 【透過度】
  透かしの透過度を【-2／-1／0／+1／+2】から選びます。

10 ▲/▼で【確定】を選び、OK を押す

11 モノクロでコピーするときは モノクロスタート を、カラーでコピーするときは カラースタート を押す

スキャンした画像を追加してコピーする

1 複数部コピーするときは、枚数 で部数を入力する

2 ▲/▼ で【透かしコピー】を選び、OK を押す

3 ◀/▶ で【オン】を選ぶ

4 ▲/▼ で【現在の設定】を選び、OK を押す

5 ▲/▼ で【スキャン】を選び、OK を押す

6 透かしに使用する原稿を原稿台ガラスにセットする

⇒ 35 ページ「原稿をセットする」

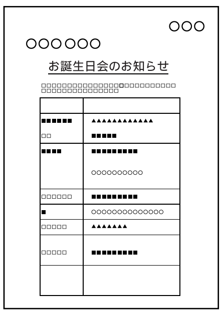


透かしに使用する原稿

7 カラースタート を押して原稿をスキャンする

8 スキャンした原稿を取り除き、コピーする原稿をセットする

⇒ 35 ページ「原稿をセットする」

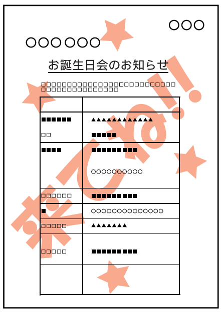


コピーする原稿

9 ◀/▶ で透かしの透過度を選び、OK を押す

透かしの透過度を【-2 ／ -1 ／ 0 ／ +1 ／ +2】から選びます。

10 モノクロでコピーするときは モノクロスタート を、カラーでコピーするときは カラースタート を押す



仕上がりイメージ

> スキャンした透かしは拡大 / 縮小できません。

「メモリーがいっぱいです」と表示されたときは

本製品内部のメモリーがいっぱいになると、画面にエラーメッセージが表示されます。

停止/終了 を押すとコピーがキャンセルされます。

スタック / ソートコピーを行っている場合は、画質の設定を変更するか、原稿の枚数を少なくしてお試しください。

Memo

第３章

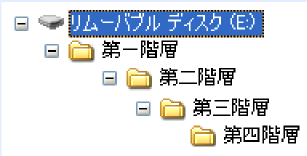
フォトメディアキャプチャ

写真を印刷する前に　デジカメプリント

デジタルカメラで撮影した写真が保存されているメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを、本製品のカードスロットまたは USB フラッシュメモリー差し込み口に差し込んで写真を印刷します。パソコンがなくてもデジタルカメラの写真を印刷できます。

注意

■ L 判サイズの記録紙および写真用光沢はがきは、必ず「スライドトレイ」にセットしてください。
⇒ 31 ページ「スライドトレイにセットする」
■ メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーは正しくフォーマットされたものをお使いください。
■ 画像データのフォーマットは「JPEG」形式をお使いください。（プログレッシブ JPEG、TIFF、その他の形式の画像データには対応していません。）
■ 拡張子が「jpeg」「jpe」のファイルは認識しません。拡張子を「jpg」に変えてください。
■ 日本語のファイル名が付けられたデータは、インデックスプリント（⇒ 58 ページ「インデックスプリントを印刷する」）を行うと、ファイル名が正しく表示されません。画像データのファイル名を英数字に変えてください。
■ メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像データは、4 階層までしか認識されません。メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにパソコン上から画像データを書き込んだ場合、5 階層以上のフォルダに保存しないでください。

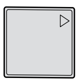


■ メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像データは、フォルダとファイルを合わせて 999 個まで認識します。
■ フォトメディアキャプチャとパソコンからのメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの操作は同時にできません。必ず、どちらかの作業が終わってから操作してください。
■ Macintosh の場合、デスクトップにメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーのアイコンが表示されているときは、フォトメディアキャプチャが使用できません。デスクトップのメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーアイコンをゴミ箱に移動したあと、フォトメディアキャプチャをお使いください。

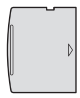
使用できるメモリーカードまたは USB フラッシュメモリー

本製品では、下記のメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを使用できます。

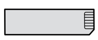
- コンパクトフラッシュ®
（TYPE1、最大 8GB）



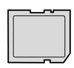
- xD-Picture Card™（最大 512MB）
xD-Picture Card™ TypeM ／ TypeM+ ／ TypeH（最大 2GB）



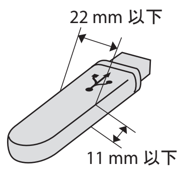
- メモリースティック™（最大 128MB）
メモリースティック PRO™（最大 8GB）



- SD メモリーカード
（最大 2GB）
SDHC メモリーカード
（最大 8GB）



- USB フラッシュメモリー
（最大 8GB）



※ メモリースティック デュオ™、メモリースティック PRO デュオ™、メモリースティック マイクロ™（M2™）も使用できます。ただし、本製品にセットするときは、アダプターが必要です。
※ miniSD カード /microSD カード も使用できます。ただし、本製品にセットするときはアダプターが必要です。
※ 著作権保護機能には対応していません。

注意

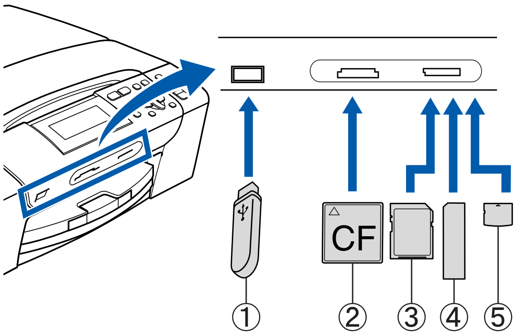
■ スマートメディア、マイクロドライブ、マルチメディアカード™ には対応していません。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

1 本製品のカードスロットまたは USB フラッシュメモリー差し込み口にメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを差し込む

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーは、正しいカードスロットまたは USB フラッシュメモリー差し込み口にしっかりと差し込んでください。

①USB フラッシュメモリー
②コンパクトフラッシュ®（TYPE1）
③SD メモリーカード、SDHC メモリーカード
④メモリースティック TM、メモリースティック PROTM
⑤xD-Picture CardTM、xD-Picture CardTM　TypeM / TypeM+ / TypeH



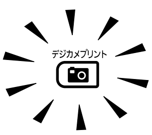
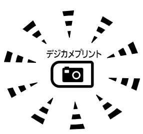
デジカメプリント が点灯します。

注意

- デジカメプリント が点滅しているときは、電源プラグを抜いたり、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの抜き差しをしないでください。データやメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを壊す恐れがあります。
- カードスロットまたは USB フラッシュメモリー差し込み口には、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー、PictBridge 対応デジタルカメラ以外のものを差し込まないでください。内部を壊す恐れがあります。
- コンパクトフラッシュ® はメーカーによって印刷表記が異なります。差し込む前に表裏をご確認ください。
- 2 つのメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを同時に挿入しても、最初に挿入したメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーしか読み込みません。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーのアクセス状況

デジカメプリント の表示で、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーのアクセス状況がわかります。

点灯 	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーが正しく差し込まれています。このときは、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを取り出すことができます。
点滅 	読み取り、または書き込みが行われています。このときはメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにさわらないでください。

消灯 デジカメプリント	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーが差し込まれていません。または、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーが正しく差し込まれていないため、本製品に認識されていません。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーが認識されないときは、記録した機器に戻して確認してください。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを取り出すときは

 が点滅していないことを確認して、そのまま引き抜きます。
パソコンに接続しているときは、必ず、パソコン上でメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーへのアクセスを終了してから、 が点滅していないことを確認して、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを引き抜いてください。

パソコンからメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにアクセスする

本製品のカードスロットまたは USB フラッシュメモリー差し込み口にセットしたメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーは、接続しているパソコンからもアクセスできます。
詳しくは、画面で見るマニュアルをご覧ください。
⇒画面で見るマニュアル「フォトメディアキャプチャ」-「フォトメディアキャプチャ（Windows®）」-「パソコンからメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーを使う」
⇒画面で見るマニュアル「フォトメディアキャプチャ」-「フォトメディアキャプチャ（Macintosh）」-「Macintosh からメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを使う」

写真を見る・プリントする

デジタルカメラで撮影した写真が保存されているメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを本製品のカードスロットまたは USB フラッシュメモリー差し込み口に差し込んで写真をプリントします。

> パソコンからメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにアクセスしている間は、デジカメプリント機能は使用できません。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の写真を見る・プリントする

[写真プリント]

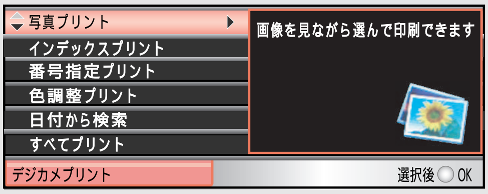
メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの写真を画面で確認・プリントできます。

1 本製品のカードスロットまたは USB フラッシュメモリー差し込み口にメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを差し込む

⇒ 55 ページ「メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする」

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、デジカメプリント を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリント が点灯し、画面にデジカメプリントメニューが表示されます。



2 ▲/▼ で【写真プリント】を選び、OK を押す

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の写真が表示されます。



> 写真のファイルサイズによっては、表示されるまでに時間がかかる場合があります。

写真を印刷する場合⇒手順 3 へ

3 ◀/▶ で印刷したい写真を選ぶ



> ▼ を押すたびに 90° ずつ左回りに、▲ を押すたびに 90° ずつ右回りに回転します。

4 枚数 でプリント枚数を設定する

5 手順 3 ～ 4 をくり返して、プリントしたい写真をすべて選び、OK を押す

6 画面でプリントの設定を確認する



> 画質や記録紙のサイズなど、設定を変えることもできます。
> ⇒ 68 ページ「設定を変えて写真をプリントするには」

7 モノクロスタート または カラースタート を押す

写真が印刷されます。

DPOF を使用する場合

DPOF（デジタルプリントオーダーフォーマット）（* 1）を利用して、プリントする写真や枚数を指定している場合、メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーをセットすると、【DPOF で印刷しますか ? ／はい ⇒ ⊞ を押してください／いいえ ⇒ ⊟ を押してください】というメッセージが表示されます。
DPOF でプリントする場合は、以下の手順で操作してください。

(1) 枚数 を押す

◆ デジカメプリントの設定画面が表示されます。

(2) ▲/▼ で【記録紙サイズ】を選ぶ

(3) ◀/▶ で記録紙のサイズを選び、OK を押す

◆ 他の設定を変更することもできます。ただし、プリント枚数、日付は DPOF で設定されているため、ここでは変更できません。

(4) モノクロスタート または カラースタート を押す

◆ DPOFで指定したとおりに写真がプリントされます。

（* 1）デジタルカメラの記録フォーマットの一つで、撮影した画像のプリントに関する規格です。印刷する写真の選択や印刷枚数の指定をデジタルカメラ側で行えます。DPOF を使用すると、印刷したい写真や枚数を本製品側で指定する必要がありません。

インデックスプリントを印刷する

［インデックスプリント］

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存されている画像データを、一覧にして印刷（インデックスプリント）できます。
A4 サイズの記録紙 1 ページ内に【速い /1 行 6 個印刷】の場合は最大 42 個、【きれい /1 行 5 個印刷】の場合は最大 30 個の画像が印刷されます。

注意

■ インデックスプリントは、カラーでしか印刷できません。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、デジカメプリント を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

2 ▲/▼ で【インデックスプリント】を選び、OK を押す

レイアウト選択、記録紙タイプ、記録紙サイズのメニューが表示されます。

3 ▲/▼ で【レイアウト選択】を選ぶ

4 ◀/▶ でレイアウトを選び、OK を押す

レイアウトは、【速い /1 行 6 個印刷】【きれい /1 行 5 個印刷】から選びます。

5 ▲/▼ で【記録紙タイプ】を選ぶ

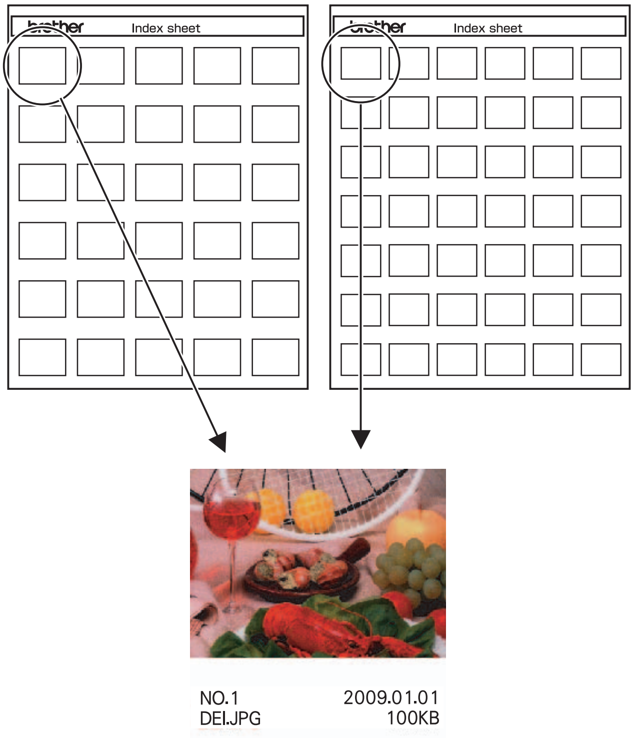
6 ◀/▶ で記録紙のタイプを選び、OK を押す

記録紙のタイプは、【普通紙】【インクジェット紙】【ブラザー BP71 光沢】【その他光沢】から選びます。

7 モノクロスタート または カラースタート を押す

インデックスプリントが撮影日時の順番で印刷されます。

- デジタルカメラでつけた名称やパソコンでのファイル名が半角英数字 8 文字以内の場合は、ファイル名が認識されます。ファイル名が認識されない場合は、順番に、1、2、3 のように番号が割り振られます。
- インデックス（サムネール）で一度に印刷できるのは 999 画像までです。それ以上の画像が保存されていても無視されます。
- インデックスプリントでは、記録紙タイプ以外の設定（明るさやコントラストなど）は固定です。
- 印刷できる画像は JPEG ファイル形式（＊.jpg）だけです。



番号を指定して写真をプリントする

［番号指定プリント］

インデックスプリントに表示されている番号で、プリントする写真を指定できます。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、［デジカメプリント］を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2 ▲/▼ で【番号指定プリント】を選び、OK を押す

3 ▲/▼ でプリントしたい写真の番号を入力し、OK を押す

例 1：1、3 番を入力する

▲/▼ で【1】を選び、OK を押します。

続けて、▲/▼ で【3】を選び、OK を押します。

例 2：18 番を入力する

▲/▼ で【1】を選び、▶ を押して桁を変えます。

▲/▼ で【8】を選び、OK を押します。

- 入力できる文字は、区切り記号も含めて 12 文字までです。

4 画面で設定を確認する



- 画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
⇒ 68 ページ「設定を変えて写真をプリントするには」

5 ［枚数］でプリント枚数を入力する

6 ［モノクロスタート］または［カラースタート］を押す

指定した番号の写真がプリントされます。

色や明るさを補正してプリントする

［色調整プリント］

写真をプリントする際に、色や明るさを補正して美しくプリントすることができます。

> 「色調整プリント」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。
>
> REALLUSION

人物と風景を美しくプリントする［自動色補正］

人物も風景も美しく印刷したいときに使用します。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、（デジカメプリント）を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2 ▲/▼ で【色調整プリント】を選び、OK を押す

3 ◀/▶ で印刷したい写真を選ぶ

> ▼ を押すたびに 90°ずつ左回りに、▲ を押すたびに 90°ずつ右回りに回転します。

4 OK を押す

5 ▲/▼ で【自動色補正】を選び、OK を押す

補正後の写真が表示されます。

> 画面下に「赤目補正」と表示されたら、▲ で赤目補正を行ってください。
>
> ⇒ 62 ページ「赤目を修正する［赤目補正］」
>
> （インク）を押すと拡大表示されます。このとき、▲ ▼ ◀ ▶ でスクロールすることができます。もう一度（インク）を押すと、元に戻ります。

6 OK を押す

7 （枚数）でプリント枚数を入力し、OK を押す

8 画面で設定を確認する



プリント枚数

> 画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
>
> ⇒ 68 ページ「設定を変えて写真をプリントするには」

9 （モノクロスタート）または（カラースタート）を押す

選択した写真がプリントされます。

肌を美しくプリントする［肌色あかるさ補正］

人物の肌を美しく印刷したいときに使用します。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、（デジカメプリント）を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2 ▲/▼ で【色調整プリント】を選び、OK を押す

3 ◀/▶ で印刷したい写真を選ぶ

> ▼ を押すたびに 90°ずつ左回りに、▲ を押すたびに 90°ずつ右回りに回転します。

4 OK を押す

5 ▲/▼ で【肌色あかるさ補正】を選び、OK を押す

補正後の写真が表示されます。

> ▲/▼ で補正量を 3 段階に調節できます。
>
> インク を押すと拡大表示されます。このとき、▲ ▼ ◀ ▶ でスクロールすることができます。もう一度 インク を押すと、元に戻ります。

6 OK を押す

7 枚数 でプリント枚数を入力し、OK を押す

8 画面で設定を確認する



> 画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
> ⇒ 68 ページ「設定を変えて写真をプリントするには」

9 モノクロ スタート または カラー スタート を押す

選択した写真がプリントされます。

風景を美しくプリントする［色あざやか補正］

風景を美しく印刷したいときに使用します。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、デジカメプリント を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2 ▲/▼ で【色調整プリント】を選び、OK を押す

3 ◀/▶ で印刷したい写真を選ぶ

> ▼ を押すたびに 90° ずつ左回りに、▲ を押すたびに 90° ずつ右回りに回転します。

4 OK を押す

5 ▲/▼ で【色あざやか補正】を選び、OK を押す

補正後の写真が表示されます。

> ▲/▼ で補正量を 3 段階に調節できます。
>
> インク を押すと拡大表示されます。このとき、▲ ▼ ◀ ▶ でスクロールすることができます。もう一度 インク を押すと、元に戻ります。

6 OK を押す

7 枚数 でプリント枚数を入力し、OK を押す

8 画面で設定を確認する



プリント枚数

> 画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
> ⇒ 68 ページ「設定を変えて写真をプリントするには」

9 [モノクロ スタート] または [カラー スタート] を押す

選択した写真がプリントされます。

赤目を修正する［赤目補正］

フラッシュ撮影時の赤目を修正して印刷できます。

> 赤目補正は付属のソフトウェア「FaceFilter Studio」でも行うことができます。パソコンに保存されている写真の赤目を修正するときは「FaceFilter Studio」を使用してください。
> ⇒ 画面で見るマニュアル「FaceFilter Studio で写真を印刷する」
>
> フラッシュ撮影時の条件によっては、赤目補正ができないことがあります。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、[デジカメプリント] を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2 [▲]/[▼] で【色調整プリント】を選び、[OK] を押す

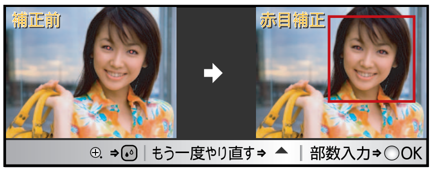
3 [◀]/[▶] で赤目を補正してプリントしたい写真を選ぶ

> [▼] を押すたびに 90° ずつ左回りに、[▲] を押すたびに 90° ずつ右回りに回転します。

4 [OK] を押す

5 [▲]/[▼] で【赤目補正】を選び、[OK] を押す

■補正できたとき
補正後の写真が表示され、顔が赤枠で囲まれます。

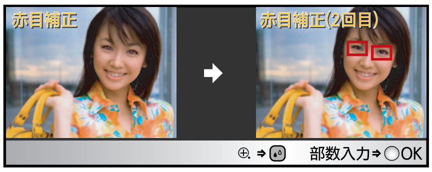


> [インク] を押すと拡大表示されます。このとき、[▲] [▼] [◀] [▶] でスクロールすることができます。もう一度 [インク] を押すと、元に戻ります。

■補正できなかったとき
「赤目を検出できません」と表示されます。

6 再度補正するには、[▲] を押す

■補正できたとき
補正後の写真が表示され、目が赤枠で囲まれます。



> [インク] を押すと拡大表示されます。このとき、[▲] [▼] [◀] [▶] でスクロールすることができます。もう一度 [インク] を押すと、元に戻ります。

■補正できなかったとき
「赤目を検出できません」と表示されます。

7 [OK] を押す

8 [枚数] でプリント枚数を入力し、[OK] を押す

9 **画面で設定を確認する**



> 画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
> ⇒ 68 ページ「設定を変えて写真をプリントするには」

10 **モノクロスタート または カラースタート を押す**

赤目補正した写真がプリントされます。

白黒でプリントする［モノクロ］

カラーで撮影した写真をモノクロで印刷したいときに使用します。

1 **メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする**

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、デジカメプリント を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2 **▲/▼ で【色調整プリント】を選び、OK を押す**

3 **◀/▶ で印刷したい写真を選ぶ**

> ▼ を押すたびに 90°ずつ左回りに、▲ を押すたびに 90°ずつ右回りに回転します。

4 **OK を押す**

5 **▲/▼ で【モノクロ】を選び、OK を押す**

モノクロに補正された写真が表示されます。

> インク を押すと拡大表示されます。このとき、▲ ▼ ◀ ▶ でスクロールすることができます。もう一度 インク を押すと、元に戻ります。

6 **OK を押す**

7 **枚数 でプリント枚数を入力し、OK を押す**

8 **画面で設定を確認する**



> 画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
> ⇒ 68 ページ「設定を変えて写真をプリントするには」

9 **モノクロスタート または カラースタート を押す**

選択した写真がモノクロプリントされます。

セピア色でプリントする［セピア］

写真をセピア色で印刷します。

1 **メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする**

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、デジカメプリント を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2 **▲/▼ で【色調整プリント】を選び、OK を押す**

3 ◀/▶ で印刷したい写真を選ぶ

> ▼ を押すたびに 90° ずつ左回りに、▲ を押すたびに 90° ずつ右回りに回転します。

4 OK を押す

5 ▲/▼ で【セピア】を選び、OK を押す

セピア色に補正された写真が表示されます。

> インク を押すと拡大表示されます。このとき、▲ ▼ ◀ ▶ でスクロールすることができます。もう一度 インク を押すと、元に戻ります。

6 OK を押す

7 枚数 +/- でプリント枚数を入力し、OK を押す

8 画面で設定を確認する



プリント枚数

> 画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
> ⇒ 68 ページ「設定を変えて写真をプリントするには」

9 モノクロ スタート または カラー スタート を押す

選択した写真がセピア色でプリントされます。

撮影した日付で写真を探す

［日付から検索］

撮影した日付で、プリントする写真を指定できます。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

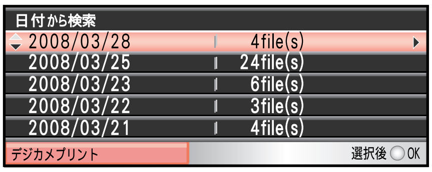
すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、デジカメプリント を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2 ▲/▼ で【日付から検索】を選び、OK を押す

撮影日と撮影枚数の一覧が表示されます。

3 ▲/▼ で日付を選び、OK を押す



4 ◀/▶ で印刷したい写真を選ぶ

> ◀/▶ をくり返し押すと、他の日付の写真も表示できます。◀ で古い日付、▶ で新しい日付の写真が表示されます。

> ▼ を押すたびに 90° ずつ左回りに、▲ を押すたびに 90° ずつ右回りに回転します。

5 枚数 +/- でプリント枚数を入力する

6 手順 4、5 をくり返して、印刷したい写真をすべて選び枚数を指定する

7 OK を押す

8 画面で設定を確認する



プリント枚数

> 画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
> ⇒ 68 ページ「設定を変えて写真をプリントするには」

9 [モノクロスタート] または [カラースタート] を押す

選択した写真がプリントされます。

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の写真をすべて印刷する

[すべてプリント]

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの写真をすべて印刷するときは、以下の手順で行います。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、[デジカメプリント] を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2 [▲]/[▼] で【すべてプリント】を選び、[OK] を押す

3 画面で設定を確認する



プリント枚数

> 画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
> ⇒ 68 ページ「設定を変えて写真をプリントするには」

4 [枚数] でプリント枚数を入力する

5 [モノクロスタート] または [カラースタート] を押す

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内のすべての写真がプリントされます。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の写真を自動で順番に表示する

[スライドショー]

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の写真を、画面に一定の間隔で順番に表示することができます。このとき、必要な写真を選んで印刷することもできます。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、デジカメプリント を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2 ▲/▼ で【スライドショー】を選び、OK を押す

スライドショーが始まります。

3 終了するには 停止/終了 を押す

スライドショーが終了します。

4 画面で設定を確認する



プリント枚数

画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
⇒ 68 ページ「設定を変えて写真をプリントするには」

5 モノクロスタート または カラースタート を押す

選択した写真が印刷されます。

スライドショーの途中で写真を印刷する

1 印刷したい写真が表示されている間に OK を押す

2 枚数 でプリント枚数を入力する

◀/▶ で他の写真も選ぶことができます。

▼ を押すたびに 90°ずつ左回りに、▲ を押すたびに 90°ずつ右回りに回転します。

3 OK を押す

画像の一部を印刷する

［トリミング］

写真の中から必要な部分だけを切り出して印刷することができます。写真を回転させることもできます。

> 写真のサイズが非常に小さい場合（縦横それぞれ 240 ピクセル未満）や縦横比が非常に大きい場合は、トリミングできないことがあります。

1　メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、［デジカメプリント］を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2　▲/▼ で【トリミング】を選び、OK を押す

3　◀/▶ でトリミングしたい写真を選ぶ

> ▼ を押すたびに 90°ずつ左回りに、▲ を押すたびに 90°ずつ右回りに回転します。

4　OK を押す

トリミングの範囲を示す赤枠が表示されます。この枠内が印刷されます。

5　枠の位置とサイズを選ぶ

▲/▼ または ◀/▶ で移動します。

枚数 ＋ で拡大、枚数 － で縮小します。

インク を押すたびに、枠の縦横が入れ替わります。

6　OK を押す

7　枚数 でプリント枚数を入力し、OK を押す

8　画面で設定を確認する



> 画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
> ⇒ 68 ページ「設定を変えて写真をプリントする には」

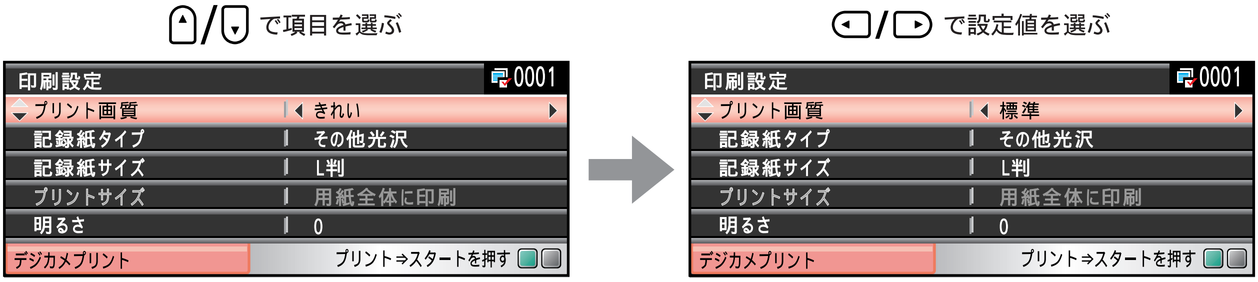
9　モノクロスタート または カラースタート を押す

トリミングした写真が印刷されます。

いろいろなプリント方法

設定を変えて写真をプリントするには

デジカメプリントの設定画面で、写真をプリントする際の設定を変更できます。



(1) プリント画質

写真をプリントする際の画質を設定します。

- 【標準】
  速くプリントする場合に選びます。
- 【きれい】
  写真をよりきれいにプリントする場合に選びます。

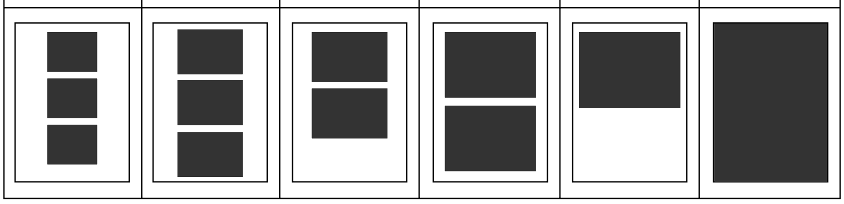
(2) 記録紙タイプ

プリントする記録紙の種類を選びます。
【普通紙／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／その他光沢】

(3) 記録紙サイズ

プリントする記録紙のサイズを選びます。
【L 判／ 2L 判／ハガキ／ A4】
【A4】を選んだ場合は、プリントサイズ（レイアウト）を以下の設定から選びます。

8x10cm	9x13cm	10x15cm	13x18cm	15x20cm	用紙全体に印刷



(4) 明るさ（色調整プリントの場合は表示されません）

写真をプリントする際の明るさを調整します。 5 段階の調整ができます。▶を押すと明るくなり、◀を押すと暗くなります。

(5) コントラスト（色調整プリントの場合は表示されません）

写真をプリントする際のコントラストを調整します。 5 段階の調整ができます。▶を押すとコントラストが強くなり、◀を押すとコントラストが弱くなります。

(6) 画質強調（色調整プリントの場合は表示されません）

(1) **▲/▼ で【画質強調】を選び、OK を押す**

(2) **◀/▶ で【する】を選ぶ**

(3) **▲/▼ で設定する項目を選ぶ**

項目は以下の 3 つから選びます。

- 【ホワイトバランス】
  画像の白色部分の色合いを基準に、全体の色合いを調整します。色合いを調整することで、より自然に近い色合いに印刷できます。
- 【シャープネス】
  画像の輪郭部分のシャープさを調整して、はっきりした画像に調整できます。
- 【カラー調整】
  画像のカラー全体の濃度（色の濃さ）を調整し、画像全体をくっきりさせることができます。

(4) **◀/▶ でレベルを調整する**

(5) **手順 (3)、(4) をくり返して、3 つの項目を調整する**

(6) **調整が終わったら、▲/▼ で【一覧へもどる】を選び、OK を押す**

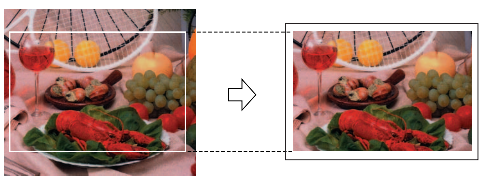
◆ デジカメプリントの設定画面に戻ります。

※ 画質強調は、画素数の少ないデジタルカメラの画像データに対して有効に働きます。
メガピクセル・クラスのカメラで撮影した写真は、そのまま印刷してください。
なお、画素数の多い画像データに画質強調を行うと、処理に数十分以上かかる場合があります。

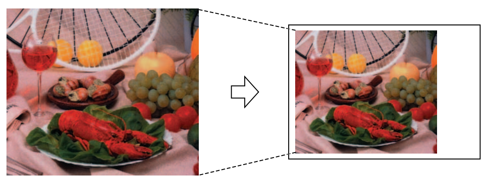
(7) 画像トリミング

プリント領域いっぱいに写真がプリントされるように、収まらない部分を切り取ります。
画像トリミングをする場合は、ふちなし印刷を【しない】に設定してください。

- 【する】
  横長の画像の場合は、縦のプリント領域に合わせて、縦長の画像の場合は、横のプリント領域に合わせてプリントします。収まりきらない部分は、切り取られます。



- 【しない】
  画像データを切り取らずに、プリント領域に収まるようにプリントします。



(8) ふちなし印刷

プリント領域いっぱいに写真をプリントします。【する】または【しない】を選びます。
※ ふちなし印刷を【する】に設定すると、画像トリミングの設定の有無にかかわらず、画像をプリント領域に合わせるために一部が自動的にトリミングされることがあります。

(9) 日付印刷

撮影された日付をプリントします。【する】または【しない】を選びます。
※ DPOF を使用していない場合にプリントできます。

変更した設定を保持する

設定を変更した後で、【設定を保持する】を選び、OK を押します。【設定を保持しますか？／はい ⇒ ⊞ を押してください／いいえ ⇒ ⊟ を押してください】と表示されるので 枚数 ⊕ を押すと、現在の設定が初期値として登録されます。
※ 初期値をお買い上げ時の状態に戻すには【設定をリセットする】を選びます。

例）L 判、2L 判、はがきに写真を印刷する

写真を L 判サイズやはがきサイズの記録紙に印刷する手順を説明します。

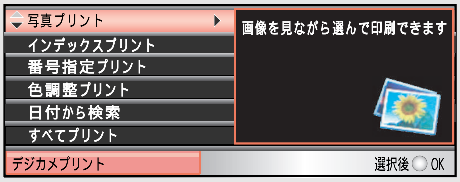
1 記録紙をセットする

⇒ 29 ページ「記録紙のセットのしかた」

2 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、デジカメプリント を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。



3 / で【写真プリント】を選び、OK を押す

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の写真が表示されます。



4 / でプリントしたい写真を選ぶ

5 枚数 でプリントする枚数を設定し、OK を押す

枚数 を押すと、1 枚ずつ増えます。

デジカメプリントの設定画面が表示されます。

6 / で【記録紙サイズ】を選ぶ

手順 3 で色調整プリントを選択した場合、【明るさ】【コントラスト】【画質強調】は表示されません。

7 / でセットした記録紙のサイズを選び、OK を押す

セットした記録紙のサイズに合わせて、【L 判】【2L 判】【ハガキ】のいずれかを選びます。

8 モノクロ スタート または カラー スタート を押す

写真がプリントされます。

デジタルカメラから直接プリントする PictBridge

本製品は PictBridge に対応しています。PictBridge 対応のデジタルカメラと本製品を USB ケーブルで接続して、直接写真をプリントします。

PictBridge とは

PictBridge は、デジタルカメラやデジタルビデオカメラ、カメラ付き携帯電話などで撮影した画像を、パソコンを使わずに直接プリントするための規格です。PictBridge に対応した機器であれば、メーカーや機種を問わず、本製品と接続して写真をプリントできます。
PictBridge に対応しているデジタルカメラには、以下のロゴマークがついています。

PictBridge

注意

- ■ **PictBridge ケーブル差し込み口には、PictBridge 対応のデジタルカメラおよび USB フラッシュメモリー以外を接続しないでください。本製品が損傷する恐れがあります。**
- ■ **PictBridge を使用している間、デジカメプリント機能は使用できません。**

デジタルカメラで行う設定について

本製品で PictBridge 機能を使う場合は、デジタルカメラの以下の設定が有効になります。

設定項目	設定内容
記録紙サイズ	A4、10 × 15cm、L 判、2L 判、はがき
記録紙タイプ	普通紙、光沢紙、インクジェット紙
DPOF 印刷（＊ 1）	する、しない、プリント枚数、日付
プリント品質	標準、高画質
画質補正（＊ 2）	する、しない
日付印刷	する、しない

（＊ 1）：DPOF とは、デジタルカメラの記録フォーマットの一つで、撮影した画像のプリントに関する規格です。印刷する写真の選択や印刷枚数の指定をデジタルカメラ側で行えます。DPOF を使用すると、印刷したい写真や枚数を本製品で指定する必要がありません。
（＊ 2）：画質補正を「する」に設定した場合は、本製品のメニュー【画質強調】で、設定を行います。

設定項目や設定内容は、お使いのデジタルカメラによって異なります。詳しくは、デジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。
デジタルカメラから設定ができない場合、またはデジタルカメラでプリンタ設定を選んだ場合は、以下の設定でプリントされます。

- プリント画質：きれい
- 記録紙タイプ：その他光沢
- 記録紙サイズ：L 判
- 画質強調：しない
- ふちなし印刷：する

写真をプリントする

あらかじめデジタルカメラでプリントする写真を選択したり、記録紙サイズなどの設定を行っておきます。設定方法については、デジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。

デジタルカメラから設定ができない場合は、固定の設定でプリントされます。詳しくは、⇒ 71 ページ「デジタルカメラで行う設定について」の説明をご覧ください。

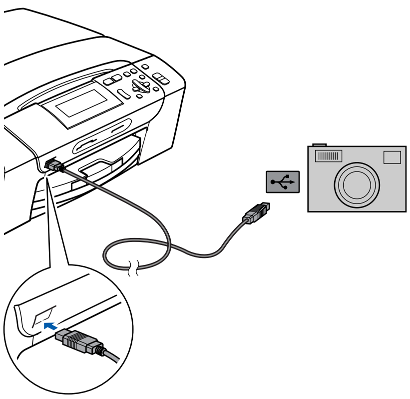
注意

■ PictBridge を使用する前に、本製品にメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーがセットされていないことを確認してください。

1 デジタルカメラの電源を切る

2 本製品とデジタルカメラを USB ケーブルで接続する

本製品前面にある、PictBridge ケーブル差し込み口に USB ケーブルを接続します。



注意

■ PictBridge ケーブル差し込み口には、PictBridge 対応のデジタルカメラおよびUSBフラッシュメモリー以外を接続しないでください。本製品が損傷する恐れがあります。

3 デジタルカメラの電源を入れ、プリント設定をする

4 デジタルカメラからプリントを実行する

設定した内容で写真がプリントされます。

注意

■ プリントが終了するまで、USB ケーブルを抜かないでください。

DPOF を使用する

DPOF 設定を行ったメモリーカードをデジタルカメラから取り出して本製品にセットします。
操作方法について詳しくは、⇒ 58 ページ「DPOF を使用する場合」をご覧ください。

スキャンしたデータを保存する　スキャン TO メディア

本製品でスキャンした画像を、パソコンを使用せずにメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存できます。TIFF ファイル形式（＊ .tif）または PDF ファイル形式（＊ .pdf）を選ぶと、複数枚の原稿を 1 つのファイルにまとめて保存できます。

スキャンしたデータをメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存する

【スキャン　TO　メディア】

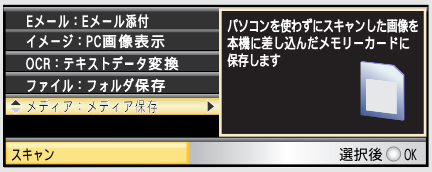
1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

2 原稿をセットする

⇒ 35 ページ「原稿をセットする」

3 スキャン を押す

スキャンメニューが表示されます。



4 ▲/▼ で【メディア：メディア保存】を選び、OK を押す

本製品をパソコンと接続していない場合は、【メディア：メディア保存】だけが表示されます。

5 ▲/▼ で【スキャン画質】を選び、◀/▶ で画質を選んで、OK を押す

画質は以下から選びます。

【カラー 150 dpi／カラー 300 dpi／カラー 600 dpi／モノクロ 200 × 100dpi ／モノクロ　200 dpi】

6 ▲/▼ で【ファイル形式】を選び、◀/▶ で保存するファイル形式を選んで、OK を押す

ファイル形式は以下から選びます。

- 手順 5 で、カラーを選んだ場合
  【PDF ／ JPEG】
- 手順 5 で、モノクロを選んだ場合
  【PDF ／ TIFF】

7 モノクロ スタート または カラー スタート を押す

ADF に原稿をセットしたときは、スキャンが開始されます。

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、【次の原稿はありますか？／はい ⇒ ⊞ を押してください／いいえ ⇒ ⊟ を押してください】と表示されます。

読み取る原稿が 1 枚の場合 ⇒手順 10 へ

読み取る原稿が複数枚の場合 ⇒手順 8 へ

8 枚数 ＋ を押す

9 原稿台ガラスに次の原稿をセットして、OK を押す

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーに保存する原稿の枚数だけ、手順 8、9 を繰り返します。

10 すべての原稿をスキャンしたら、枚数 ⊖ を押す

スキャンを終了します。

注意

■ デジカメプリント が点滅しているときは、メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーの抜き差しをしないでください。データやメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを壊す恐れがあります。

ファイル名は、スキャンした日付が自動的に付けられています。
例）2009 年 5 月 3 日の場合は、「090503XX」という名前が付けられます。（「XX」は通し番号です）

本製品をスキャナとして使う操作については、画面で見るマニュアルをご覧ください。
⇒画面で見るマニュアル「スキャナ」

パソコンで PDF ファイルを閲覧するには、Adobe® Reader® または Adobe® Acrobat® が必要です。

設定を保持する

(1) スキャン を押す

(2) ▲/▼ で【メディア：メディア保存】を選び、OK を押す

(3) 初期値にしたい設定に変更する

(4) ▲/▼ で【設定を保持する】を選び、OK を押す

◆【設定を保持しますか？／はい⇒ ⊞ を押してください／いいえ⇒ ⊟ を押してください】と表示されます。

(5) 枚数 ⊕ を押す

◆ 変更した設定が初期値として登録されます。

※ 初期値をお買い上げ時の状態に戻すには、【設定をリセットする】を選びます。

第 4 章

こんなときは

日常のお手入れ

困ったときは

本製品が汚れたら

日常のお手入れ

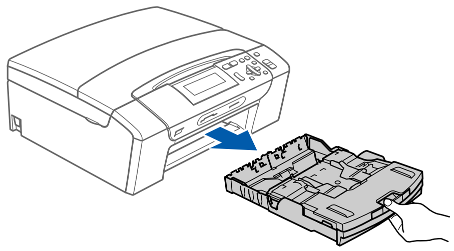
本製品が汚れたときは、必要に応じて以下のようにお手入れを行ってください。

本製品の外側を清掃する

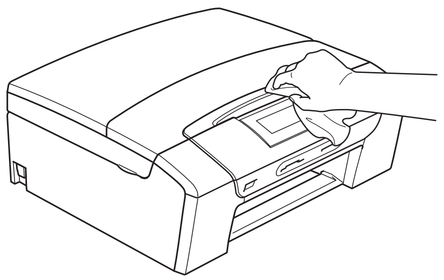
注意

■ 可燃性スプレー、ベンジンやシンナーなどの有機溶剤や、アルコールを使用しないでください。本製品の操作パネルの文字が消えることがあります。

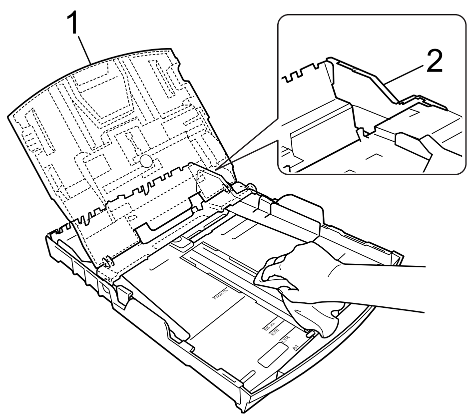
1 記録紙トレイを引き出す



2 本体を乾いた柔らかい布で軽く拭く

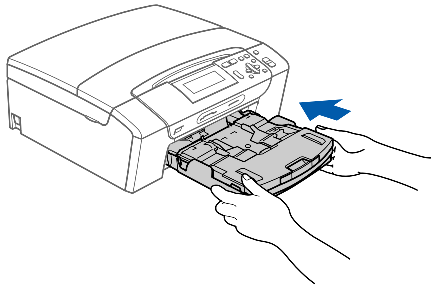


3 トレイカバー（1）を開けて記録紙トレイから記録紙を取り除き、記録紙トレイの内側、外側および右側の枠の上（2）を軽く拭く



4 トレイカバーを閉めて、記録紙トレイを元に戻す

本製品から引き出した記録紙トレイを押して、元に戻します。



スキャナ（読み取り部）を清掃する

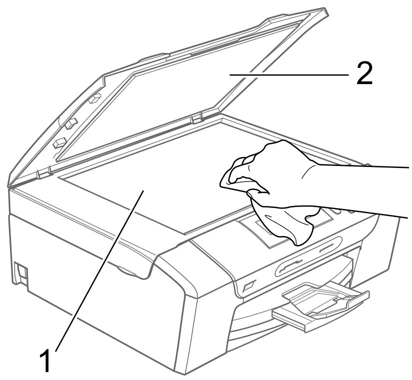
スキャナ（読み取り部）が汚れていると、コピー時の画質が悪くなります。きれいな画質を保つために、こまめにスキャナ（読み取り部）を清掃してください。

注意

■ 可燃性スプレー、ベンジンやシンナーなどの有機溶剤を使用しないでください。

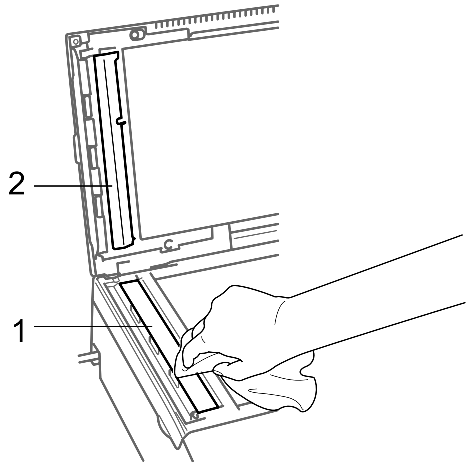
1 原稿台カバーを開けて、読み取り部を拭く

水を含ませて固く絞った柔らかい布で、原稿台ガラス（1）、原稿台カバーのプラスチック面（2）を拭いてください。



2 ADF 読み取り部を拭く（DCP-535CN のみ）

水を含ませて固く絞った柔らかい布で、ADF 読み取り部（1）と白色のバー（2）を拭いてください。



注意

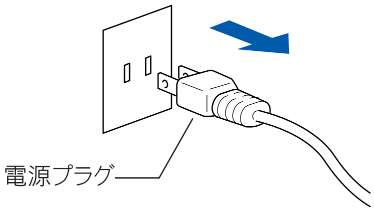
■ コピーで黒い細い線が入るときには、ADF 読み取り部（1）の清掃を行ってください。
非常に細かい汚れ（ボールペンのインクや修正液など）が付着している場合がありますので、念入りに拭いてください。
汚れが見えない場合は、ADF 読み取り部のグラスを手で触ってどこに汚れがあるかを確認し、その部分をオーディオ用クリーニング液（イソプロピルアルコール）などを含ませた柔らかい布で念入りに拭いてください。
最後に ADF からコピーしてみて、黒い縦線が消えていることを確認してください。

無水エタノール、OA クリーナー、メガネクリーナー、カセット用ヘッドクリーナー、CD 用レンズクリーナーが使用できます。

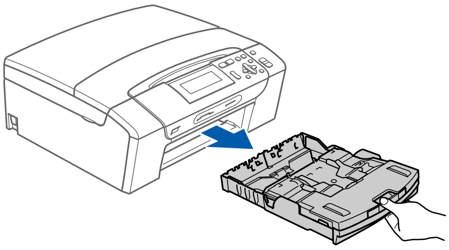
給紙ローラーを清掃する

給紙ローラーが汚れていると、記録紙の汚れが発生したり給紙しにくくなったりします。

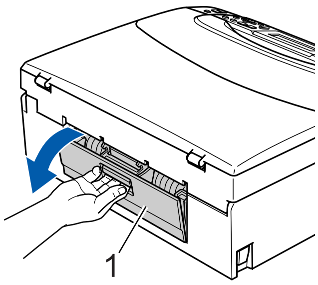
1. **電源プラグをコンセントから抜く**



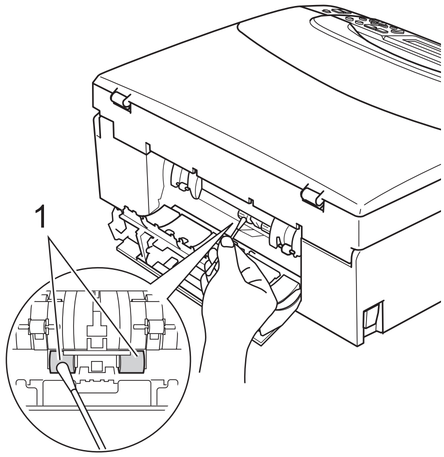
2. **記録紙トレイを引き出す**



3. **本製品背面の紙づまり解除カバー（1）を開ける**



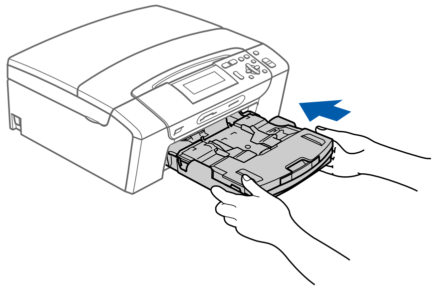
4. **オーディオ用クリーニング液（イソプロピルアルコール）などを含ませた綿棒で給紙ローラー（1）を拭く**



5. **紙づまり解除カバーを閉める**

   カバーがしっかりと閉められていることを確認してください。

6. **記録紙トレイを元に戻す**



7. **電源プラグをコンセントに差し込む**

紙がつまったときは

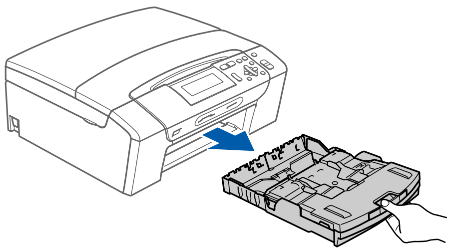
記録紙がつまったときは

記録紙がつまると、画面に【記録紙が詰まっています】と表示されます。

注意

- ■ 紙づまりが解消されても本体カバーの開け閉めは必ず行ってください。
- ■ プリントヘッドの下に紙がつまったときは、電源を切ってからプリントヘッドを動かし、記録紙を取り除いてください。
- ■ 何度も紙がつまるときは…。
  - 紙の曲がりやそりを直して使用してください。⇒ 28 ページ「カールしている記録紙について」
  - 給紙ローラーを清掃してください。⇒ 78 ページ「給紙ローラーを清掃する」
  - 紙づまり解除カバーがしっかりと閉められていることを確認してください。⇒ 79 ページ「記録紙がつまったときは」手順 5
  - 紙の切れ端、クリップなどの異物がマシンに残っていないかどうか、記録紙トレイを抜いて確認してください。
  - 記録紙が使用できないものである可能性があります。ブラザー純正の専用紙、推奨紙をお使いになることをお勧めします。⇒ 27 ページ「専用紙 ・推奨紙」
  - それでもエラーメッセージが消えないときは、電源プラグの抜き差しを行ってください。

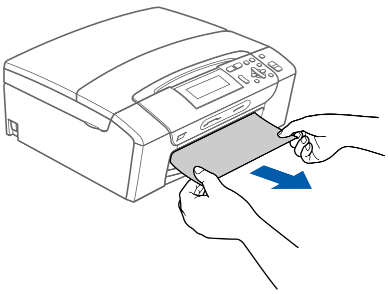
1 記録紙トレイを引き出す



2 記録紙挿入口に残っている記録紙をゆっくり引き抜く

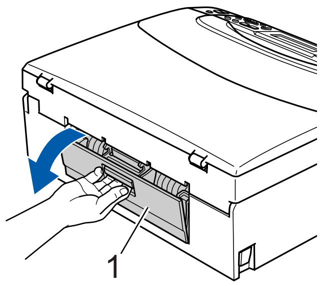
注意

- ■ 記録紙挿入口に繰り込まれている記録紙は、無理に引き抜かないでください。



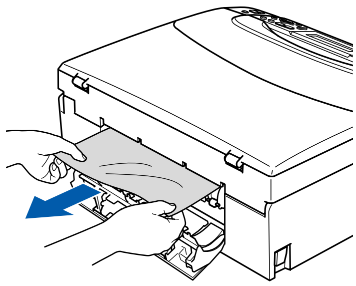
3 本体背面の紙づまり解除カバー（1）を開ける

中央のつまみをつまんで、手前に引いて開きます。



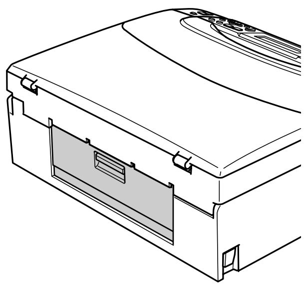
4 つまった記録紙を手前に抜き取る

紙が破れないよう、静かに抜き取ります。



5 紙づまり解除カバーを閉める

カバーを押して確実に閉めてください。

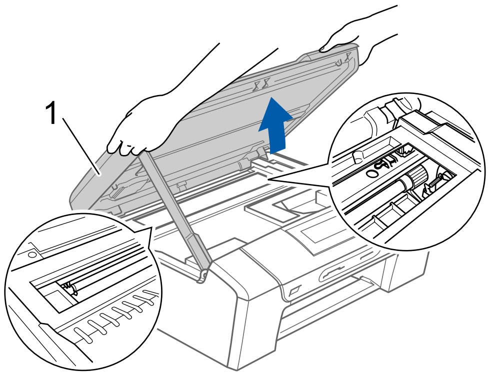


6 両手で本体カバー（1）を開けて、内部に記録紙が残っていないか確認する

本体カバーはしっかりと固定される位置まで上げてください。

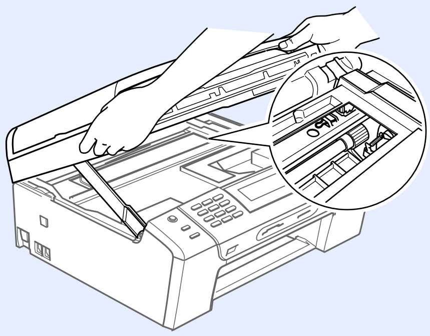
残っている記録紙があれば取り除いてください。

紙が破れないよう、静かに抜き取ります。



注意

- ■ プリントヘッドの下に紙がつまったときは、電源を切ってからプリントヘッドを動かし、記録紙を取り除いてください。
- ■ 内部につまった記録紙を取り除くときは、本体内部になるべく触らないようにご注意ください。故障の原因となったり、手が汚れたりする場合があります。記録紙が破れてしまった場合は、本体内部を傷つけないように注意して、紙片をピンセットなどで取り除いてください。
- ■ プリントヘッドが図のように右端で止まっている場合は、以下の手順で操作してください。



(1) 停止/終了 を長押しする

プリントヘッドが中央に移動します。

(2) 電源プラグを抜いて、記録紙を取り除く

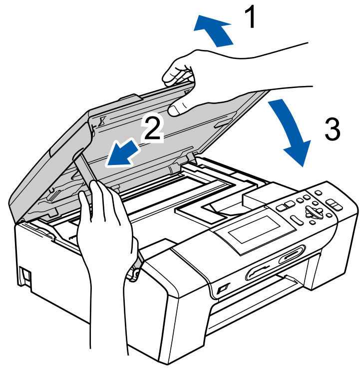
(3) 本体カバーを閉めて、電源プラグをコンセントに差し込む

本製品の電源が入り、プリントヘッドが所定の位置に自動的に戻ります。

- ■ 万一インクが皮膚に付着したら、すぐに石けんと水で十分に洗い流してください。

7 本体カバーを閉める

本体カバーを少し持ち上げて固定を解除し (1)、本体カバーサポートをゆっくり押して (2)、本体カバーを両手で閉めます (3)。

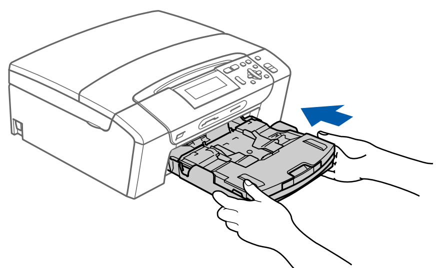


⚠注意

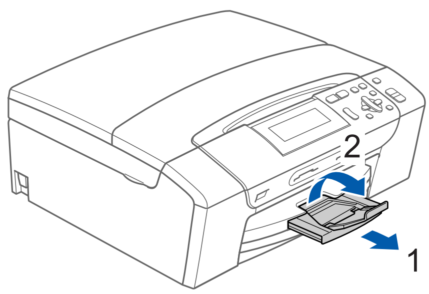
- ● 本体カバーを閉めるときは、手をはさまないように注意して、最後まで本体カバーを持って閉めてください。

8 記録紙トレイを元に戻す

本製品から引き出した記録紙トレイを押して、元に戻します。



9 トレイに手をそえ、記録紙ストッパーを確実に引き出し（1）、フラップを開く（2）



注意

- ■ 記録紙ストッパーは確実に引き出してください。

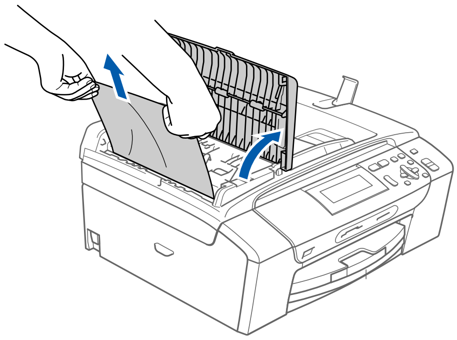
ADF に原稿がつまったときは（DCP-535CN のみ）

ADF で原稿がつまると、画面に【原稿が詰まっています】と表示されます。

1 ADF から、つまっていない原稿をすべて取り除く

2 ADF カバーを開けて、つまった原稿を抜き取る

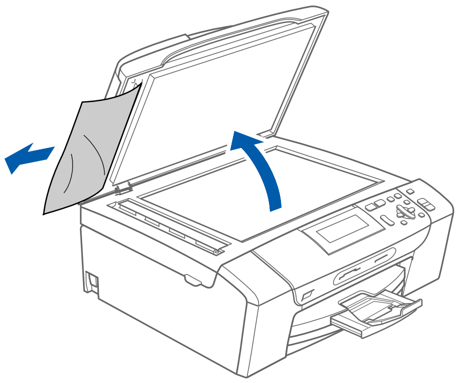
原稿が破れないように、静かに抜き取ります。



3 ADF カバーを閉める

4 原稿台カバーを開けて、つまった原稿を抜き取る

原稿が破れないように、静かに抜き取ります。



5 原稿台カバーを閉める

6 停止/終了 を押す

インクがなくなったときは

本製品は、インクカートリッジの残量が少なくなると自動的に下記のメッセージを表示し、インクカートリッジの交換時期をお知らせします。インクの残りが少なくなると、文字のカスレなどが発生しやすくなります。
インクの残りが少なくなったときはできるだけ早くインクカートリッジをお求めいただくことをお勧めします。

- インクの残りが少なくなったとき（ブラックが少なくなったとき）：【まもなくインク切れ　BK】
- インクがなくなったとき：【印刷できません　インクを交換してください　BK】

注意

■【モノクロ印刷のみ可能です】と表示されているときは、一定期間に限りブラックインクでモノクロ印刷を続けることができます。この状態で印刷をする場合、次のことにご注意ください。
•パソコンから印刷をする場合は、「印刷設定」をモノクロに設定する必要があります。
⇒画面で見るマニュアル「パソコン活用」－「プリンタ」－「印刷の設定を変更する」
•コピーの場合は【記録紙タイプ】が【普通紙】または【インクジェット紙】に設定されている必要があります。
ただし、次の場合はモノクロでも印刷ができなくなりますので、速やかにインクを交換してください。
•電源プラグを抜いたり、空のインクカートリッジを取り外した場合
•ブラックインクがなくなったとき

■ 本製品は、プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にプリントヘッドをクリーニングします。そのため、印刷をしていなくてもインクが消費されます。

■ インクカートリッジは、色によってセットする場所が決められています。間違った色の場所にインクカートリッジをセットしないようご注意ください。

必要なときに、インク残量を確認することもできます。⇒ 84 ページ「インク残量を確認する」

インクカートリッジは、それぞれの機種に対応したカートリッジをお買い求めください。お近くの販売店で交換用の純正インクカートリッジが手に入らないときは、弊社ダイレクトクラブでご注文ください。
⇒ 119 ページ「消耗品」
⇒ 121 ページ「消耗品などのご注文について」

インクカートリッジを交換する

画面に【印刷できません　インクを交換してください】と表示されたら、新しいインクカートリッジに交換します。

⚠注意

● インクカートリッジを分解しないでください。インク漏れの原因になります。

注意

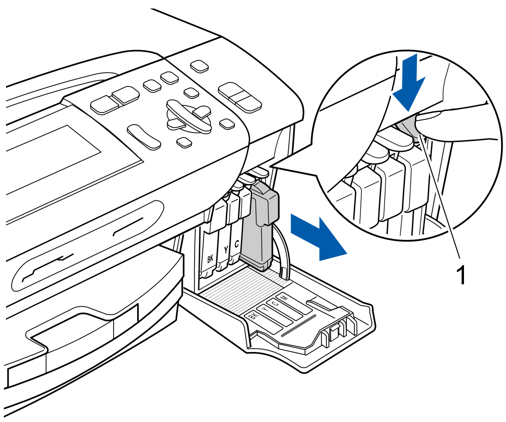
■ 開封したインクカートリッジは、6ヶ月以内に使い切ることをお勧めします。
（6ヶ月以上のご使用は、水分が蒸発しインクの粘度が高まるため、吐出不良の恐れがあります。）

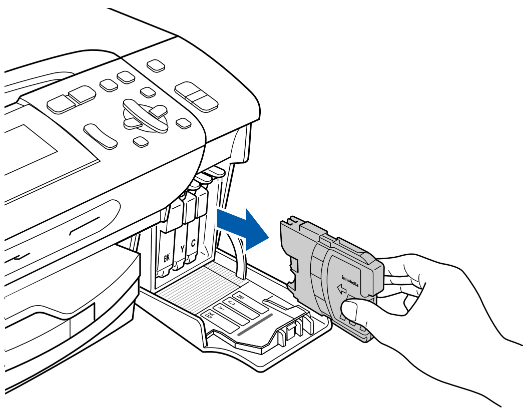
■ 純正以外のインクを使用したことによる不具合は、本製品が保証期間内であっても有償修理となります。

■ インクカートリッジにインクを補充しないでください。プリントヘッドに障害を与える可能性があります。また、この場合は保証期間内であっても無償修理の対象外となります。

1 **インクカバーを開ける**

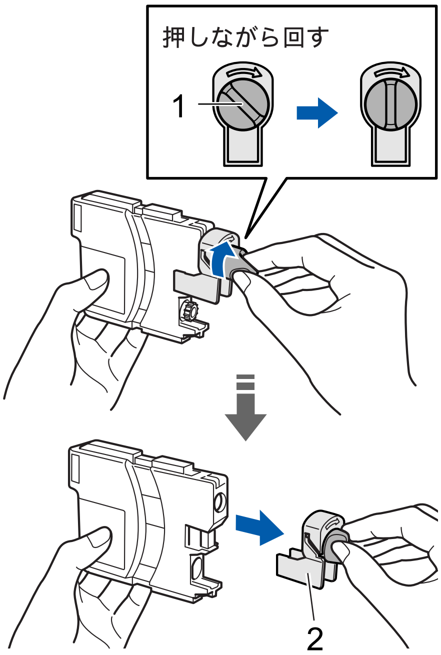
2 **なくなった色のリリースレバー（1）を押し下げ、インクカートリッジを取り出す**





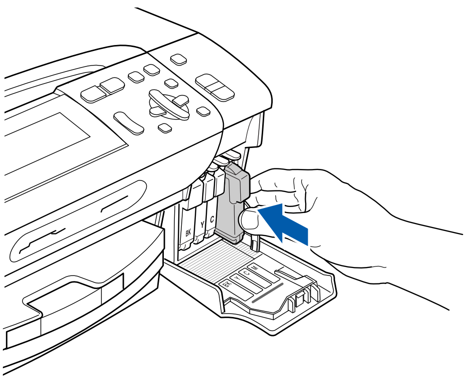
3 新しいインクカートリッジを準備する

インクカートリッジの緑色のつまみ（1）を右に最後まで回して封印を開放し、黄色いキャップ（2）を引き抜きます。

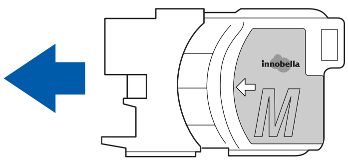


4 新しいインクカートリッジを取り付ける

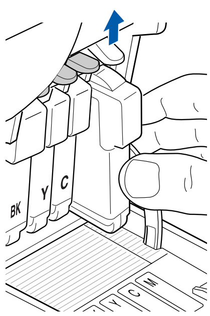
インクカートリッジを押し込むように「カチッ」と音がするまで確実に押します。



インクカートリッジは、本製品に向かって左の面にラベルがあるように、垂直にして差し込みます。



セットしたカートリッジの色のリリースレバーが上がっているか確認します。



注意

■ 間違った色のインクをセットしてしまった場合は、正しい色の場所に付け直した後、プリントヘッドのクリーニングを複数回行ってください。

⇒ 85 ページ「プリントヘッドをクリーニングする」

5 インクカバーを閉める

- 【印刷できません　インクを交換してください】または【まもなくインク切れ】のメッセージが表示されているときにインクを交換した場合は、自動的に内蔵カウンターがリセットされます。
- インク交換を行った場合は、【インクを交換しましたか／ BK ブラック／はい ⇒ ⊞ を押してください／いいえ ⇒ ⊟ を押してください】と表示されることがあります。次の手順に進んでください。

6 枚数 ⊕ を押す

内蔵カウンターがリセットされます。

注意

■ 画面に【インクを交換しましたか／ BK ブラック／はい ⇒ ⊞ を押してください／いいえ ⇒ ⊟ を押してください】と表示されたときは、必ず、枚数 ⊕ を押してください。枚数 ⊕ を押さなかった場合、本製品の内蔵カウンターがリセットされず、インクの残量を正しく把握できなくなることがあります。

■ 【カートリッジがありません】、【インクを検知できません】と表示されたときは、インクカートリッジをセットし直してください。

■ インクカートリッジはリリースレバーの色に合わせて正しい位置にセットしてください。間違った位置にセットすると正しい色で印刷されません。

インクカートリッジを捨てるときは

使用済みのインクカートリッジは、インクが飛び散らないように注意し、地域の規則に従って廃棄してください。（インクカートリッジに貼られているラベルは、剥がす必要はありません。）
また、弊社では使用済みインクカートリッジの回収・リサイクルに取り組んでおります。

⇒ 121 ページ「インクカートリッジの回収・リサイクルのご案内」

インク残量を確認する

[インク残量]

本製品では、以下の手順でインク残量を確認できます。

1 **（インク）を押し、▲/▼で【インク残量】を選び、OK を押す**

「ブラック／イエロー／シアン／マゼンタ」のインク残量が表示されます。



2 **停止/終了 を押す**

確認を終了します。

パソコンからも本製品のインク残量を確認できます。詳しくは、画面で見るマニュアルをご覧ください。

⇒画面で見るマニュアル「プリンタ」－「プリンタ (Windows®)」－「印刷状況やインク残量を確認する（ステータスモニタ）」

⇒画面で見るマニュアル「パソコン活用」－「便利な使い方 (ControlCenter)」－「デバイス設定」

印刷が汚いときは

横縞が目立つときなど、印刷画質が良くないときは、プリントヘッドのクリーニングや、印刷ズレを補正する必要があります。

> 印刷したものに横縞が目立つときは、ヘッドクリーニングが効果的です。

定期メンテナンスについて

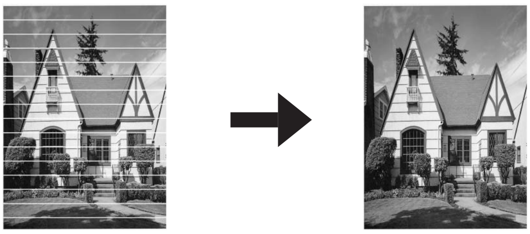
プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、本製品は自動的にプリントヘッドをクリーニングしています。目詰まりを防ぎ、長く快適にご利用いただくために以下の点にご注意ください。

注意

- 電源プラグはコンセントに差したままご利用になることをお勧めします。
- On/Off で電源を切ることにより、本製品を使用しない時の消費電力を極力抑えることができます。
- 本製品の電源プラグを頻繁に抜き差しすると、内部の時計が狂うため、必要以上にクリーニングが実行されることがあります。その際、インクが多く消費されたり、クリーニング時に排出される微量のインクを吸収するための部品が通常よりも早く限界に達して、交換が必要となる場合があります。

プリントヘッドをクリーニングする

プリントヘッドをクリーニングします。1 回のヘッドクリーニングで問題が解決しない場合、何度かクリーニングを行うことで、解決できる場合があります。ヘッドクリーニングを 5 回行っても問題が解決しない場合は、お客様相談窓口にご連絡ください。



目詰まり時　　正常

> ヘッドクリーニングはある程度のインクを消耗します。

1 **インク を押し、▲/▼ で【ヘッドクリーニング】を選び、OK を押す**

ヘッドクリーニングの設定画面が表示されます。

2 **▲/▼ でクリーニングする色を選び、OK を押す**

色は、【ブラック／カラー／全色】から選択します。

プリントヘッドのクリーニングが開始されます。

> 【ブラック】または【カラー】を選んだときは、クリーニングに約 1、2 分かかります。【全色】を選んだときは、約 2 分かかります。

記録紙の裏面が汚れるときは

印刷した後、記録紙の裏面に汚れが付く場合は、プリンタ内部（給紙 / 排紙ローラー）にインクが付着している可能性があります。以下の手順で、クリーニングを行います。

1 **紙づまり解除カバーを開け、給紙ローラーに汚れがないかを確認する**

⇒ 78 ページ「給紙ローラーを清掃する」

2 **原稿台や ADF に原稿をセットせずに、モノクロ スタート を押してコピーを行う**

記録紙が排紙され、それによって本製品の内部がクリーニングされます。

印刷テストを行う

【テストプリント】

プリントヘッドをクリーニングしても印刷品質が改善されない場合は、印刷テストを行い、再度クリーニングを行います。

印刷品質をチェックする

1 A4 サイズの記録紙をセットする

⇒ 29 ページ「記録紙トレイにセットする」

2 インク を押し、▲/▼【テストプリント】を選び、OK を押す

3 ▲/▼ で【印刷品質チェックシート】を選び、OK を押す

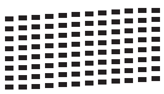
4 モノクロスタート または カラースタート を押す

「印刷品質チェックシート」が印刷されます。
印刷後は、【印刷品質は OK ですか ? ／はい ⇒ ⊞ を押してください／いいえ ⇒ ⊟ を押してください】と表示されます。

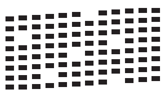
5 きれいに印刷されているときは 枚数＋ を、きれいに印刷されていないときは 枚数− を押す

1 色でも「悪い例」のような状態があるときは、枚数− を押します。

＜良い例＞



＜悪い例＞



枚数＋ を押した場合は、印刷品質チェックが終了します。

枚数− を押した場合は、【ブラックは OK ですか ? ／はい ⇒ ⊞ を押してください／いいえ ⇒ ⊟ を押してください】と表示されます。

6 黒色がきれいに印刷されているときは 枚数＋ を、きれいに印刷されていないときは 枚数− を押す

【カラーは OK ですか ? ／はい ⇒ ⊞ を押してください／いいえ ⇒ ⊟ を押してください】と表示されます。

7 カラーがきれいに印刷されているときは 枚数＋ を、きれいに印刷されていないときは 枚数− を押す

【クリーニング を開始しますか ? ／はい ⇒ ⊞ を押してください／いいえ ⇒ ⊟ を押してください】と表示されます。

8 枚数＋ を押す

プリントヘッドがクリーニングされます。
クリーニングが終わると、【スタートボタンを押す】と表示されます。

9 モノクロスタート または カラースタート を押す

もう一度、「印刷品質チェックシート」が印刷されます。
印刷後は、【印刷品質は OK ですか ? ／はい ⇒ ⊞ を押してください／いいえ ⇒ ⊟ を押してください】と表示されます。きれいに印刷されていたら、枚数＋ を押して、印刷品質チェックを終了します。きれいに印刷されていない場合は、枚数− を押して手順 6 に戻ります。

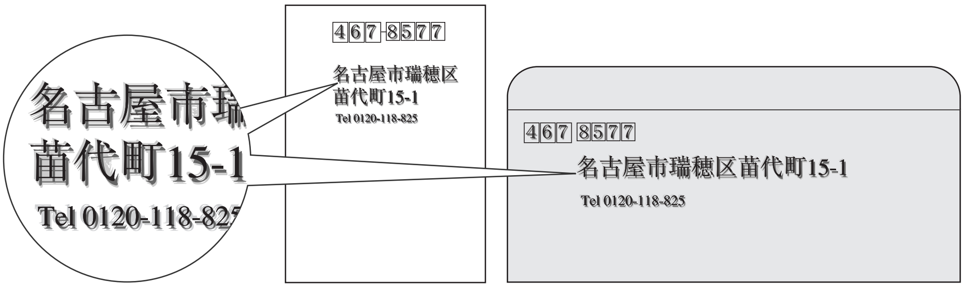
10 停止/終了 を押す

注意

■ 上記の操作を行っても正しく印刷されない場合は、インクカートリッジが正しくセットされているかを確認してください。

印刷位置のズレをチェックする

印刷位置がずれている場合に、印刷位置が正しいかを確認し、必要に応じて修正します。



1 A4 サイズの記録紙をセットする

⇒ 29 ページ「記録紙トレイにセットする」

2 インク を押し、/ で【テストプリント】を選び、OK を押す

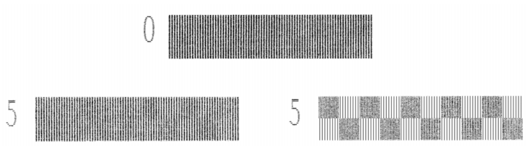
3 / で【印刷位置チェックシート】を選び、OK を押す

4 モノクロ スタート または カラー スタート を押す

「印刷位置チェックシート」が印刷されます。
印刷後は、【印刷位置は OK ですか ? ／はい ⇒ ＋ を押してください／いいえ ⇒ － を押してください】と表示されます。

5 600dpi、1200dpi とも「No.0」と最も似ている印字パターンが「No.5」のときは 枚数＋ を、「No.5」以外のときは 枚数－ を押す

「No.0」と最も似ているのが「No.5」であれば正常です。



＜良い例＞　＜悪い例＞

枚数＋ を押した場合は、印刷位置チェックが終了します。

枚数－ を押した場合は、【600DPI の補正／選択後○ OK ／番号選択（1-8)】と表示されます。

6 600dpi について、「No.0」と最も似ている印字パターンの番号を / で選び、OK を押す

【1200DPI の補正／選択後○ OK ／番号選択（1-8)】と表示されます。

7 1200dpi について、「No.0」と最も似ている印字パターンの番号を / で選び、OK を押す

印刷位置チェックを終了します。

エラーメッセージ

困ったときは

本製品に異常があるときは、下記のようなエラーメッセージと処置方法が画面に表示されます。画面に表示された処置方法や、下記の処置を行ってもエラーが解決しないときは、電源プラグを抜いて電源を OFF にし、数秒後にもう一度差し込んでみてください。これによって改善される場合があります。それでも不具合が改善しないときは、エラーメッセージを控えた後でお客様相談窓口にご連絡ください。

エラーメッセージ	原因	対処
モノクロ印刷のみ可能です	1 色以上のカラーインクがなくなっている。 この内容が表示されている間は次の操作のみ可能です。 • 印刷 プリンタドライバからグレースケール印刷の指示をすれば、モノクロで引き続き印刷できます。通常の使用頻度で約 1ヶ月間使用できます。 • コピー 記録紙タイプを【普通紙】【インクジェット紙】に設定している場合、モノクロでコピーできます。 ただし、次の場合は新しいインクカートリッジを取り付けるまで、モノクロでも印刷できません。 • 電源プラグを抜いたり、空のインクカートリッジを取り外した場合 • 記録紙タイプを【ブラザー BP71 光沢】、【その他光沢】に設定している場合	新しいインクカートリッジに交換してください。 ⇒ 82 ページ「インクカートリッジを交換する」
インクを検知できません	機械が検知する前に素早くインクカートリッジを交換した。	セットされている新しいカートリッジを取り外し、もう一度取り付け直してください。
	純正ではないインクカートリッジをセットしている。	純正のカートリッジをセットしてください。純正カートリッジをセットしてもメッセージが表示される場合は、お客様相談窓口にご連絡ください。
	インクカートリッジが正しくセットされていない。	カチッと音がするまでカートリッジを確実に押してセットします。
まもなくインク切れ BK Y C M	インクの残りが少なくなっている。	新しいインクカートリッジを準備してください。 弊社ダイレクトクラブで購入することもできます。 ⇒ 121 ページ「消耗品などのご注文について」
印刷できません インクを交換してください BK Y C M	ブラックまたはカラーインクのいずれかが空になりました。	画面に表示されている色のインクカートリッジを交換してください。 ⇒ 82 ページ「インクカートリッジを交換する」
印刷 できません 初期化できません スキャンできません	機械内部で記録紙の破片や異物がつまっているなどの機械的な異常が発生した。	本体カバーを開けて、つまった記録紙の破片や異物を取り除いて、本体カバーを閉めてください。問題が解決されない場合は、電源プラグをいったん抜いて、接続し直してください。それでも問題が解決されない場合は、お客様相談窓口にご連絡ください。
カートリッジがありません	インクカートリッジが装着されていません。	インクカートリッジを装着してください。 ⇒ 82 ページ「インクカートリッジを交換する」
画像が小さすぎます	画像が小さすぎて、画像の補正やトリミングができない。	この解像度ではご利用いただけません。一辺が 640pixel 以上となる解像度でご利用ください。
画像が長すぎます	画像が長すぎて、画像の補正やトリミングができない。	縦横比が、8：3 より小さい比率でご利用ください。カメラ側で変更できない場合は、パソコン等をご利用ください。また、パノラマ合成写真などの印刷はサポートしておりません。
カバーが開いています 本体カバーを閉じてください	本体カバーが完全に閉まっていない。	本体カバーを再度閉め直してください。
カバーが開いています インクカバーを閉じてください	インクカバーが完全に閉まっていない。	インクカバーを再度閉め直してください。

エラーメッセージ	原因	対処
記録紙が詰まっています	記録紙が記録部につまっている。	つまった記録紙を取り除き、記録紙を正しくセットし直してください。紙づまりが解消されてもカバーの開け閉めは必ず行ってください。 ⇒ 79 ページ「紙がつまったときは」
記録紙サイズを確認してください 正しいサイズの記録紙をセットして、 を押してください	記録紙トレイに設定したサイズ以外の記録紙がセットされている。	設定したサイズの記録紙をセットして カラー スタート または スタート モノクロ を押してください。
記録紙を送れません 記録紙を入れ直してスタート を押してください	記録紙がないか、正しくセットされていない。	記録紙を補給するか、正しくセットして、カラー スタート または スタート モノクロ を押してください。
クリーニング中	プリントヘッドのクリーニング中。	そのまましばらくお待ちください。 ⇒ 85 ページ「プリントヘッドをクリーニングする」
クリーニングできません エラー No.46 初期化できません エラー No.46 印刷できません エラー No.46	廃インク吸収パッド（*1）が満杯になりました。 （*1）ヘッドクリーニング実行中に排出される微量のインクを吸収します。廃インク吸収パッドの吸収量が限界に達すると、本製品内部でのインク漏れを防ぐために、ヘッドクリーニングができなくなります。廃インク吸収パッドを交換するまで印刷はできません。	廃インク吸収パッドを交換してください。お客様自身による交換はできませんので、お買い求めいただいた販売店またはお客様相談窓口にご連絡ください。
原稿が詰まっています	原稿が ADF につまっている。	つまった原稿を取り除き、正しくセットし直してください。原稿づまりが解消されても ADF の開け閉めは必ず行ってください。 ⇒ 81 ページ「ADF に原稿がつまったときは（DCP-535CN のみ）」
使用不能な USB ハブです USB ハブを抜いてください	USBハブまたはハブを内蔵したUSB機器がセットされている。 ※ハブ回路が内蔵された一部のUSBフラッシュメモリーに対しても、このエラーメッセージが表示されます。	本製品はハブ、またはハブを内蔵した USB 機器には対応しておりません。ハブ、または USB 機器を抜いてください。 ※使用可能な USB 機器の詳細については、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）にある「よくあるご質問（Q&A）」の「USB フラッシュメモリーの他社製品動作確認情報」をご覧ください。
使用不能な USB 機器です 前面にケーブル接続された機器はご利用できません とり外してOn/Offボタンでリセットしてください	本製品に対応していないUSB機器が接続されている。または、接続された USB 機器が壊れている可能性がある。	USB ケーブルを抜き、本製品の電源を入れ直してください。本製品では、メモリーカードから写真を印刷することもできます。 ⇒ 55 ページ「メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする」
使用不能な USB 機器です USB機器を抜いてください	本製品に対応していない USB フラッシュメモリーがセットされている。	USB フラッシュメモリーを抜いてください。
室温が高すぎます 室温を下げてください	室温が高くなっている。	室温を下げてお使いください。
室温が低すぎます 室温を上げてください	室温が低くなっている。	室温を上げてお使いください。
データが残っています	プリントデータが本体のメモリーに残っている。	停止/終了 を押してください。 （印刷を中止し、印刷中の記録紙を排出します。）
	パソコン側が印刷を一時停止したままになっている。	パソコン側で印刷を再開してください。
ファイルがありません	メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内に印刷可能なファイルが存在しない。	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存されているファイル形式を確認してください。
プリンタ使用中	本製品のプリンタが、動作中。	印刷が終了してから再度操作してください。
メモリカードエラー（メモリーカードがセットされている場合） 使用不能な USB 機器です（USBフラッシュメモリーがセットされている場合）	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーがフォーマットされていない。 メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーが壊れている。	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを抜き、正しいメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを差し込んでください。
	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーが正しく差し込まれていない。	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを抜いて、差し込み直してください。
	本製品のメモリーがいっぱいで、メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内のファイルが読み取れない。	本製品のメモリーをクリアするかメモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像データのサイズを小さくしてください。
メモリーがいっぱいです	空きメモリーが不足している。	カラー スタート または スタート モノクロ を押すと、すでに読み込んだ原稿をコピーします。 コピーを中止するには 停止/終了 を押してください。

故障かな？と思ったときは（修理を依頼される前に）

修理を依頼される前に下記の項目および弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）の Q&A をチェックしてください。それでも異常があるときは、電源プラグを抜いて電源を OFF にし、数秒後にもう一度差し込んでみてください。これによって改善される場合があります。それでも不具合が改善しないときは、お客様相談窓口にご連絡ください。
ネットワーク接続した状態で印刷できない、スキャンできないなどの問題があるときは、「画面で見るマニュアル」の「ネットワーク設定」－「困ったときは（トラブル対処方法）」を参照してください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
コピー	コピーしても、記録紙が出てこない。	記録紙は正しくセットされていますか。	記録紙、本体カバーを正しくセットしてください。 ⇒ 29 ページ「記録紙のセットのしかた」
		記録紙がなくなっていませんか。	
		本体カバーまたはインクカバーは確実に閉まっていますか。	
		記録紙がつまっていませんか。	つまった記録紙を取り除いてください。 ⇒ 79 ページ「記録紙がつまったときは」
		インクの残量は十分ですか。	インク残量を確認してください。 ⇒ 84 ページ「インク残量を確認する」
	きれいにコピーできない。	読み取り部が汚れていませんか。	読み取り部を清掃してください。 ⇒ 76 ページ「スキャナ（読み取り部）を清掃する」
	コピーに黒い縦の線が入る。（DCP-535CN のみ）	スキャナ（読み取り部）が汚れていませんか。	ADF 読み取り部を清掃してください。 ⇒ 76 ページ「スキャナ（読み取り部）を清掃する」
	ADF（自動原稿送り装置）使用時、原稿が送り込まれていかない。	原稿の先が軽く当たるまで差し込んでいますか。	原稿を一度取り出し、もう一度確実にセットしてください。
		ADF（自動原稿送り装置）カバーは確実に閉まっていますか。	ADF（自動原稿送り装置）カバーをもう一度閉め直してください。
		原稿が厚すぎたり、薄すぎたりしていませんか。	推奨する厚さの原稿を使用してください。
		原稿が折れ曲がったり、カールしたり、しわになっていませんか。	原稿台ガラスからコピーしてください。
		原稿が小さすぎませんか。	小さすぎる原稿は、原稿台ガラスにセットしてください。
		原稿挿入口に破れた原稿などがつまっていませんか。	ADF（自動原稿送り装置）カバーを開け、つまっている原稿を取り除いてください。
	ADF（自動原稿送り装置）使用時、原稿が斜めになってしまう。	ADF ガイドを原稿に合わせていますか。	ADF ガイドを原稿の幅に合わせてから原稿をセットしてください。
		原稿挿入口に破れた原稿などがつまっていませんか。	ADF（自動原稿送り装置）カバーを開け、つまっている原稿を取り除いてください。
	A4 サイズの写真用光沢紙が送り込まれない。	給紙ローラーが汚れていませんか。	給紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 78 ページ「給紙ローラーを清掃する」
	拡大／縮小で「用紙に合わせる」が機能しない。	セットした原稿が傾いていませんか。	セットした原稿が 3°以上傾いていると、原稿サイズが正しく検知されず、「用紙に合わせる」が機能しません。原稿が傾かないようにセットし直してください。
プリント（印刷）	記録紙が重なって送り込まれる。	記録紙がくっついていませんか。	記録紙をさばいて入れ直してください。 ⇒ 29 ページ「記録紙のセットのしかた」
		記録紙がトレイの後端に乗り上げていませんか。	記録紙を押し込みすぎないでください。
		種類の違う記録紙を混ぜてセットしていませんか。	同じ種類の記録紙のみセットしてください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント（印刷）	パソコンから印刷できない。（①～⑩の順番に試してください。）	① 本製品の電源は入っていますか。画面にエラーメッセージが表示されていませんか。	電源を入れてください。エラーメッセージが出ている場合は、内容を確認して、エラーを解除してください。 ⇒ 88 ページ「エラーメッセージ」
		② USB ケーブルはパソコンと本体側にしっかりと接続されていますか。 また、LAN ケーブルでの接続の場合は正しく接続されていますか？ 無線 LAN 接続の場合、正しくセットアップされていますか。	本体側と、パソコン側の両方の USB ケーブルを差しなおしてください。※ USB ハブなどを経由して接続している場合は、USB ハブを外し、直接 USB ケーブルで接続してください。 ネットワーク経由で印刷できない場合 ⇒ 「画面で見るマニュアル」の「ネットワーク設定」－「困ったときは（トラブル対処方法）」を参照してください。
		③ インクカートリッジは正しく取り付けられていますか。	インクカートリッジを正しく取り付けてください。 ⇒ 82 ページ「インクカートリッジを交換する」
		④ 印刷待ちのデータがありませんか。	印刷に失敗した古いデータが残っていると印刷できない場合があります。[プリンタ] アイコンを開き、[プリンタ] から [すべてのドキュメントの取り消し] を行ってください。 ＜ Windows Vista® ＞ [スタート] － [コントロールパネル] － [ハードウェアとサウンド] － [プリンタ] の順にクリックします。 ＜ Windows® XP ＞ [スタート] － [コントロールパネル] － [プリンタとその他のハードウェア] － [プリンタと FAX] の順にクリックします。 ＜ Windows® 98/Me/2000 ＞ [スタート] － [設定] － [プリンタ] の順にクリックします。
		⑤ [通常使用するプリンタ] の設定になっていますか。	[プリンタ] アイコンにチェックマークがついているか確認してください。ついていない場合は、アイコンを右クリックし、[通常使うプリンタに設定] をクリックしてチェックをつけます。
		⑥ [一時停止] の状態になっていませんか。	[プリンタ] アイコンを右クリックして、[印刷の再開] がメニューにある場合は、一時停止の状態です。[印刷の再開] をクリックしてください。
		⑦ [オフライン] の状態になっていませんか。	[プリンタ] アイコンを右クリックして、[プリンタをオンラインで使用する] がメニューにある場合は、オフラインの状態です。[プリンタをオンラインで使用する] をクリックしてください。
		⑧ 印刷先（ポート）の設定は正しいですか。	[プリンタ] アイコンを右クリックして、[プロパティ] をクリックします。[ポート] タブをクリックして印刷先のポートが正しく設定されているか確認してください。
		⑨ 以上の手順を全て確認し、もう一度印刷を開始してください。それでも印刷ができない場合は、パソコンを再起動し、本機の電源を入れなおしてみてください。	
		⑩ ①～⑨までを全て確認してもまだ印刷できない場合は、プリンタドライバをアンインストールして、かんたん設置ガイドに従って再度インストールすることをお勧めします。 ※アンインストールの方法 [スタート] － [すべてのプログラム（プログラム）] － [Brother] － [DCP-XXXX] － [アンインストール] の順に選び、画面の指示に従ってアンインストールしてください。	
	斜めに印刷されてしまう。	記録紙が正しくセットされていますか。	記録紙をセットし直してください。 ⇒ 29 ページ「記録紙のセットのしかた」
		紙づまり解除カバーが開いていませんか。	紙づまり解除カバーを確実に閉めてください。 ⇒ 79 ページ「記録紙がつまったときは」手順 5
	記録紙が重なって送り込まれ、紙づまりが起こる。	記録紙ストッパーを確実に引き出していますか。	記録紙ストッパーを確実に引き出してください。 ⇒ 29 ページ「記録紙トレイにセットする」手順 9
		記録紙が正しくセットされていますか。	トレイに記録紙を正しくセットしてください。
		種類の違う記録紙を混ぜてセットしていませんか。	種類の違う記録紙は取り除いてください。
		紙づまり解除カバーが開いていませんか。	紙づまり解除カバーを確実に閉めてください。 ⇒ 79 ページ「記録紙がつまったときは」手順 5
	光沢紙がうまく送り込まれない。	給紙ローラーが汚れていませんか。	給紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 78 ページ「給紙ローラーを清掃する」
		光沢紙を 1 枚だけセットしていませんか。	光沢紙付属の補助紙を敷いた上に、光沢紙をセットしてください。ブラザー写真光沢紙の場合は、1 枚多く光沢紙をセットしてください。 ⇒ 32 ページ「光沢紙をセットする場合」
	印刷された画像に規則的に横縞が現れる。	厚紙などに印刷していませんか。	プリンタドライバの [基本設定] タブで [乾きにくい紙] をチェックしてください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント（印刷）	文字や画像がゆがんでいる。	記録紙が記録紙トレイに正しくセットされていますか。	記録紙を正しくセットし直してください。 ⇒ 29 ページ「記録紙トレイにセットする」 ⇒ 31 ページ「スライドトレイにセットする」
プリント（印刷）	文字や画像がゆがんでいる。	紙づまり解除カバーが開いていませんか。	紙づまり解除カバーを確実に閉めてください。 ⇒ 79 ページ「記録紙がつまったときは」手順 (5)
プリント（印刷）	印刷速度が極端に遅い。	［画質強調］が設定されていませんか。	プリンタドライバの［拡張設定］タブの［カラー / モノクロ］の［カラー設定］をクリックして表示される画面で、［画質強調］のチェックを外してください。
プリント（印刷）	印刷速度が極端に遅い。	［ふちなし印刷］の設定になっていませんか。	ふちなし印刷中は通常よりも速度が遅くなります。印刷速度を優先するときは、Windows® の場合は、プリンタドライバの［基本設定］タブにある［ふちなし印刷］のチェックを外してください。 Macintosh の場合は、ページ設定画面［用紙サイズ］で［(ふちなし)］の記載がないものを選んでください。
プリント（印刷）	［画質強調］が有効に機能しない。	印刷するデータはフルカラーですか。	フルカラー以外では［画質強調］は機能しません。この機能をご利用になるには少なくとも 24 ビットカラー以上をご使用ください。Windows® の［スタート］メニューから（［設定］ー）［コントロールパネル］ー［画面］ー［設定］を選び、画面の色を 24 ビット以上に設定してください。
プリント（印刷）	［画質強調］が有効に機能しない。	画素数の多いカメラで撮影した画像データですか。	メガピクセルのカメラで撮影した画像データは［画質強調］に設定する必要はありません。画素数の少ないカメラで撮影した画像データに対して有効です。
プリント（印刷）	文字が黒く化けたり、水平方向に線が入ったり、文字の上下が欠けて印刷されてしまう。	コピーは問題なくできますか。	コピーをして問題がなければ、ケーブルの接続に問題があります。接続ケーブルを確認してください。それでも解決できないときは、お客様相談窓口にご連絡ください。
プリント（印刷）	印刷した画像が明るすぎる、または暗すぎる。	インクカートリッジが古くなっていないですか。	カートリッジは製造後 2 年間は有効にご利用いただけますが、それ以上経過したものはインクが凝固している可能性があります。 パッケージに有効期限が印刷されていますのでご確認ください。期限切れの場合は新しいカートリッジをご使用ください。
プリント（印刷）	印刷した画像が明るすぎる、または暗すぎる。	記録紙の設定が違っていませんか。	お使いいただいている記録紙に合わせて、記録紙タイプを設定してください。
プリント（印刷）	印刷した画像が明るすぎる、または暗すぎる。	温度が高すぎる、または低すぎませんか。	本製品の使用環境温度内でご利用ください。
プリント（印刷）	印刷したページの上部中央に汚れ、またはしみがある。	記録紙が厚すぎる、またはカールしていませんか。	記録紙の厚さを確認してください。 ⇒ 28 ページ「記録紙トレイにセットできる記録紙」 カールしていない記録紙をご利用ください。
プリント（印刷）	印刷面の下部が汚れる。	スキャナ（読み取り部）が汚れていませんか。	スキャナ（読み取り部）を清掃してください。 ⇒ 76 ページ「スキャナ（読み取り部）を清掃する」
プリント（印刷）	印刷面の下部が汚れる。	記録紙ストッパーを確実に引き出していますか。	記録紙ストッパーを確実に引き出してください。 ⇒ 29 ページ「記録紙トレイにセットする」手順 (9)
プリント（印刷）	印刷された記録紙にしわがよる。	［双方向印刷］の設定になっていませんか。	Windows® の場合は、プリンタドライバの［拡張設定］タブで［カラー / モノクロ］の［カラー設定］をクリックし、［双方向印刷］のチェックを外してください。 Macintosh の場合は、印刷設定画面の［拡張設定］タブで［双方向印刷］のチェックを外してください。
プリント（印刷）	インクがにじむ。	記録紙の設定が違っていませんか。	お使いいただいている記録紙に合わせて、記録紙タイプを設定してください。
プリント（印刷）	印刷面に白い筋が入る。	プリントヘッドが汚れていませんか。	ヘッドクリーニングを行ってください。 ⇒ 85 ページ「プリントヘッドをクリーニングする」
プリント（印刷）	印刷面に白い筋が入る。	記録紙の厚さが薄すぎたり厚すぎたりしていませんか。	記録紙の厚さを確認してください。 ⇒ 28 ページ「記録紙トレイにセットできる記録紙」 弊社純正の専用紙をご利用になることをお勧めします。 ⇒ 27 ページ「専用紙・推奨紙」

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント（印刷）	印刷ページの端や中央がかすむ。	本製品が平らで、水平な場所に置かれているか確認してください。	問題が改善されない場合は、ヘッドクリーニングを数回します。もう一度印刷し直しても、印刷の質が良くならない場合は、インクカートリッジを交換してください。 インクカートリッジを交換してもまだ印刷の質に問題がある場合、お客様相談窓口にご連絡ください。
	印刷の質が悪い。	プリントヘッドが汚れていませんか。	ヘッドクリーニングを数回します。 それでも改善されない場合は、インクカートリッジを新しい物と交換してください。 ⇒ 82 ページ「インクカートリッジを交換する」
		プリンタドライバの基本設定で、用紙種類を正しく選んでいますか。	正しい用紙種類を選んでください。
		インクカートリッジの有効期限が過ぎていませんか。	有効期限内のインクカートリッジをお使いください。
		本製品に取り付けられているインクカートリッジが、6ヶ月以上取り付けられたままになっていませんか。	開封したインクカートリッジは、6ヶ月以内に使い切ってください。
		純正以外のインクを使用していませんか。	4 色とも純正インクカートリッジと交換して、ヘッドクリーニングを数回行ってください。 ヘッドクリーニングを数回してもまだ印刷の質が悪い場合は、お客様相談窓口にご連絡ください。
		記録紙の厚さが薄すぎたり厚すぎたりしていませんか。	記録紙の厚さを確認してください。 ⇒ 28 ページ「記録紙トレイにセットできる記録紙」 弊社純正の専用紙をご利用になることをお勧めします。 ⇒ 27 ページ「専用紙 ・推奨紙」
		室温が高すぎるか低すぎませんか。	印字品質のためには、室温が 18 ～ 33 ℃の状態でご利用になることをお勧めします。 ⇒ 108 ページ「電源その他」
	写真印刷でインクが乾くのに時間がかかる。	記録紙の設定が違っていませんか。	写真用光沢紙を使用している場合は、記録紙タイプの設定が正しいことを確認してください。パソコンから印刷している場合は、プリンタドライバの［基本設定］タブの用紙種類で設定します。
	［2 ページ］プリントがうまくプリントできない。	アプリケーションソフトの用紙設定とプリンタドライバの設定を確認してください。	アプリケーションで［2 ページ］を設定している場合は、プリンタドライバの［2 ページ］の設定を解除してください。
デジカメプリント	デジタルカメラと本製品を接続しても、プリントができない。	デジタルカメラと本製品が正しく接続されていますか。	PictBridge 対応の USB ケーブルをお使いください。 USB ケーブルは、本製品前面の PictBridge ケーブル差し込み口に接続してください。
		お使いのデジタルカメラが、PictBridge に対応していますか。	お使いのデジタルカメラやパッケージなどに、PictBridge のロゴマークが付いているかどうかご確認ください。または、デジタルカメラの取扱説明書をご確認ください。
	写真の一部が印刷されない。	ふちなし印刷または画像トリミングが設定されていませんか。	ふちなし印刷、画像トリミングを【しない】に設定します。
スキャナ	スキャン開始時にTWAINエラーが表示される。	ブラザーTWAIN ドライバが選択されていますか。	アプリケーションで［ファイル］-［TWAIN 対応機器の選択］の選択をして、ブラザー TWAIN ドライバを選択し、［選択］をクリックしてください。
	スキャンした画像のまわりに余白がある。	Windows® XP をお使いの場合、スキャンした画像に余白が入る場合があります。	余白がついた場合は、スキャンした画像を画像処理ソフトで開いて、必要な部分を切り出してください。
	ADF（自動原稿送り装置）を使ってきれいにスキャンできない。（黒い縦の線が入る）	スキャナ（読み取り部）が汚れていませんか。	ADF 読み取り部を清掃してください。 ⇒ 76 ページ「スキャナ（読み取り部）を清掃する」

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ソフト Windows®	［本製品接続エラー］か［本製品はビジー状態です。］というエラーメッセージが表示される。	本製品の電源は入っていますか。	電源を入れてください。
		USB ケーブルをパソコンに直接接続していますか。	USB ケーブルは他の周辺機器（Zip ドライブ、外付 CD-ROM、スイッチボックスなど）を経由して接続しないでください。
	Adobe® Illustrator®使用時にうまく印刷できない。	印刷解像度が高すぎませんか。	印刷解像度を低く設定してみてください。
	ＢＲＵＳＢ： ＵＳＢＸＸＸ： への書き込みエラーが表示される。	画面に【インク切れ：ＸＸＸＸＸ】と表示されていませんか。	画面に表示されている色のインクカートリッジを交換してください。
	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーがリムーバブルディスクとして正常に動作しない。 （DCP-535CN をお使いの方へ） ※リムーバブルディスクとして使用できるのは、USB 接続の場合のみです。ネットワーク経由でメモリーカードにアクセスする場合は、ControlCenter をご利用ください。 ⇒画面で見るマニュアル「ネットワーク経由でメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにアクセスする」	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーが停止状態になっていませんか。	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを取り出し、再度挿入してください。 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの取り出し操作を行っている場合、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを取り出さないと次の操作に移ることができません。
		アプリケーションからメモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内のファイルを開いていたり、エクスプローラでメモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内のフォルダを表示していませんか。	パソコン上で［取り出し］操作を行おうとしたときにエラーメッセージが現れたら、それは現在メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにアクセス中を意味します。しばらく待ってからやり直してください。（メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを使用中のアプリケーションやエクスプローラをすべて閉じないと、［取り出し］操作はできません。）
		一度、パソコンと本製品の電源を切り、再度入れてみてください。	上記の操作でも問題が解決しない場合は、いったんパソコンと本製品の電源を切って電源プラグを抜いてください。電源プラグを入れなおし、電源を入れてください。
	ネットワーク接続で、ウィルス対策ソフトのファイアウォール機能を有効にすると、使用できない機能がある。	自動でインストールすると、本製品の接続先がノード名で設定されます。この場合、ファイアウォールの機能によっては接続できないことがあるため、ドライバのインストールを最初からやり直してください。その際は、本製品の IP アドレスを固定してからインストールを行ってください。 インストール中、接続方式を選ぶ画面で、［カスタム］をチェックし、本製品の IP アドレスを指定してください。本製品の IP アドレスは、ネットワーク設定リストで確認できます。 IP 取得方法の変更 ⇒画面で見るマニュアル「ネットワーク設定」－「有線 LAN の設定をする」－「TCP/IP の設定」－「IP 取得方法」 ⇒画面で見るマニュアル「ネットワーク設定」－「無線 LAN の設定をする」－「TCP/IP の設定（無線）」－「IP 取得方法」 ネットワーク設定リストの印刷 ⇒かんたん設置ガイド「ネットワークユーティリティ」－「ネットワークの設定リストを印刷する」	
ソフト Macintosh	接続したプリンタが表示されない。	プリンタの電源が入っていますか。	プリンタの電源を入れてください。
		USB ケーブルが正しく接続されていますか。	USB ケーブルを正しく接続してください。 ⇒かんたん設置ガイド
		プリンタドライバが正しくインストールされていますか。	プリンタドライバを正しくインストールしてください。
	使用しているアプリケーションから印刷できない。	プリンタを正しく選択していますか。	プリンタドライバがインストールされていることを確認して、プリンタを選択し直してください。
	Adobe® Illustrator®使用時にうまく印刷できない。	印刷解像度が高すぎませんか。	印刷解像度を低く設定してみてください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
その他	電源が入らない。	電源プラグは確実に差し込まれていますか。	電源プラグを確実に差し込んでください。雷で電源が入らなくなったときは、有償修理になります。
	操作をしていないのに、本製品が動き出す。	本製品は、定期的にプリントヘッドのクリーニングを行います。	そのまましばらくお待ちください。
	(1) 出力された記録紙の下端が汚れる。 (2) 出力された記録紙が揃わない。	記録紙ストッパーを閉めたままにしていませんか。	記録紙ストッパーは常時開いた状態で使います。記録紙ストッパーを開いてください。 ⇒ 29 ページ「記録紙のセットのしかた」
	画面の文字が読みにくい。	画面のコントラストが【薄く】になっていませんか。	画面のコントラストを【濃く】に設定してください。 ⇒ 37 ページ「画面の設定を変更する」
	モノクロ印刷しかしていないのに、カラーのインクがなくなる。	本製品は、プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にプリントヘッドをクリーニングします。そのため、印刷していなくてもインクが消費されます。	
	記録紙トレイが抜けない。	記録紙トレイが抜けにくい場合は、一旦奥まで差し込んで一気に引き出してください。	
	記録紙トレイを引き出しにくい、または差し込みにくい。	不安定な場所に設置していませんか。	水平で凹凸のない場所に設置してください。
		記録紙トレイが紙の粉で汚れていませんか。	記録紙トレイを清掃してください。記録紙トレイ右側の枠の上に、紙の粉がたまることがあります。 ⇒ 76 ページ「本製品の外側を清掃する」
	プリントヘッドの下につまった記録紙を取り除きたいが、プリントヘッドが動かない。	プリントヘッドが右端で止まっていませんか。	以下の手順で操作してください。 ① 停止/終了 を長押しする プリントヘッドが中央に移動します。 ②電源プラグを抜いて、記録紙を取り除く ③本体カバーを閉めて、電源プラグをコンセントに差し込む 本製品の電源が入り、プリントヘッドが所定の位置に自動的に戻ります。
	ネットワーク接続でのトラブル	ネットワーク接続にて、印刷できない、スキャンできないなどの問題がありましたら、「画面で見るマニュアル」の「ネットワーク設定」－「困ったときは（トラブル対処方法）」を参照してください。	

動作がおかしいときは（修理を依頼される前に）

本製品に次のような不具合が発生したときは、外部からの大きなノイズによって誤作動しているおそれがあります。

- 画面が正しく表示できない
- ボタンが操作できない
- 設定内容リストなどが正しく印刷できない
- コピーなど、印刷できない状態が頻繁に起きる
- その他、正しく動作できない

このようなときは、**電源プラグを抜いて電源を OFF にし、数秒後にもう一度差し込んでみてください。**これによって、改善される場合があります。
上記の操作をしても、不具合が改善されないときはお客様相談窓口にご連絡ください。

修理について

SERVICE EXPRESS
ブラザー サービス エクスプレス

マイミーオ　1年間無償保証

故障機の回収手配からすばやい修理品の返送までを購入日から1年間無償で保証します。

故障かな？と思ったら・・・・・・

STEP1

次の手順で原因をお調べください。
①ユーザーズガイド（取扱説明書）を調べる。
②ブラザーサポートサイトにアクセスして最新情報を調べる。

サポート ブラザー　検索
上記語句で検索してください。

http://solutions.brother.co.jp
③お客様相談窓口（コールセンター）で相談。

STEP2

修理が必要と診断された場合48時間以内に、故障機の回収手配。※
事前にお客様のご都合をお伺いし、宅配便による故障機の回収を手配します。お客様によるサービスセンターへの持ち込みは不要です。※ 一部地域を除く

STEP3

7日間以内に修理品を返送。
弊社到着後、7日間以内にお客様へ修理完了品をお返しします。

こんなときは

本製品のシリアルナンバーを確認する

[シリアルナンバー]

1 メニュー を押し、▲/▼ で【製品情報】を選び、OK を押す

2 OK を押す

画面に、本製品のシリアルナンバーが表示されます。

3 停止/終了 を押す

本製品の設定内容や機能を確認する[レポート印刷]

[設定内容リスト／機能案内リスト]

1 記録紙をセットする

2 メニュー を押し、▲/▼ で【レポート印刷】を選び、OK を押す

3 ▲/▼ で【機能案内】または【設定内容リスト】を選び、OK を押す

4 モノクロスタート または カラースタート を押す

設定内容リストまたは機能案内リストが印刷されます。

5 停止/終了 を押す

本製品を輸送するときは

引っ越しなどで本製品を輸送するときは、以下の手順で梱包してください。

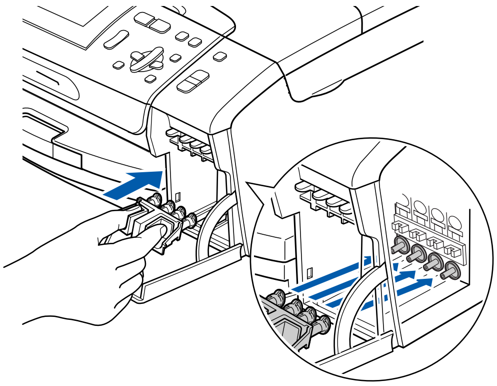
注意

- 保護部材は、本製品をお買い上げの際に入っていた物をご使用ください。
- 保護部材がない場合は、インクカートリッジを入れたまま輸送してください。保護部材またはインクカートリッジを取り付けずに本製品を輸送すると、本製品に障害を与える可能性があります。
- USB ケーブルや LAN ケーブルは本製品から外してください。

1 インクカバーを開ける

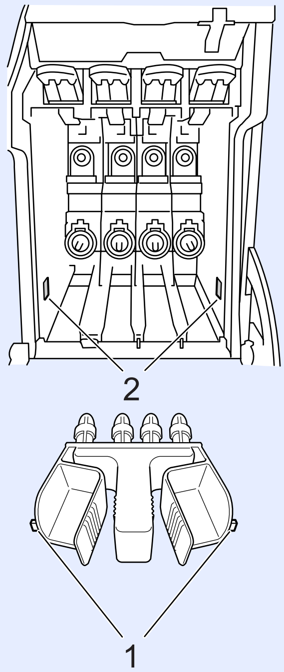
2 リリースレバーを押してすべての色のインクカートリッジを取り出す

3 緑色の保護部材をセットして、インクカバーを閉める



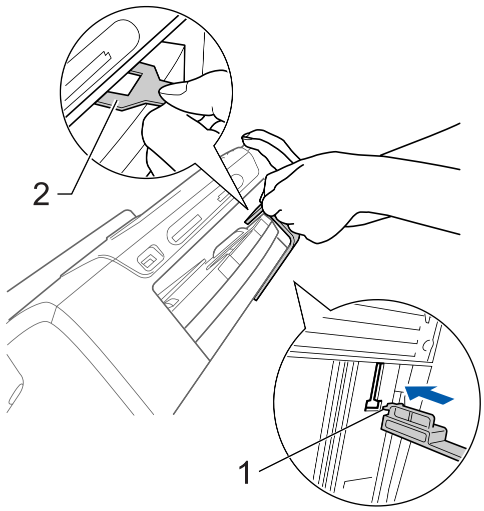
注意

- 保護部材をセットするときは、両側の突起（1）をカートリッジのセット部内壁の溝（2）にしっかり差し込んでください。確実にセットされていないと輸送時のインク漏れの原因となります。



4 記録紙トレイの保護部材を取り付ける

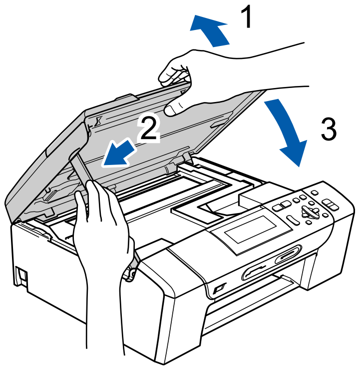
本製品を持ち上げて、裏側にある T の字の穴に保護部材を引っかけて差し込みます（1）。その後、保護部材の二股に別れている部分を記録紙トレイの上に差し込み、トレイを固定します（2）。



5 電源プラグを抜く

6 両手で本体カバーを開け、ケーブル類を取り外す

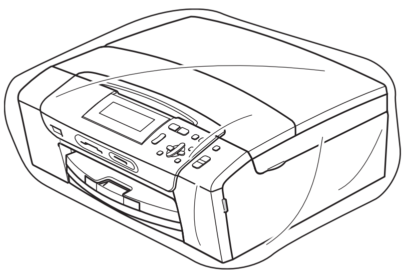
7 **本体カバーを少し持ち上げて固定を解除し（1）、本体カバーサポートをゆっくりと押して（2）、本体カバーを両手で閉める（3）**



⚠注意

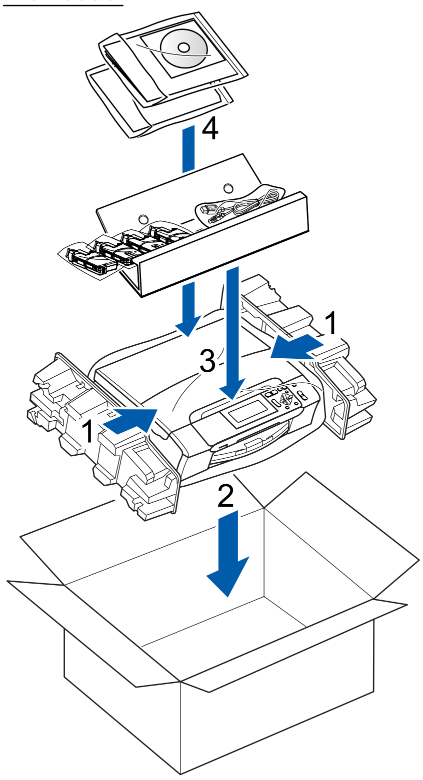
- 本体カバーを閉めるときは、手をはさまないように注意して、最後まで本体カバーを持って閉めてください。

8 **本体が入っていた袋に入れる**

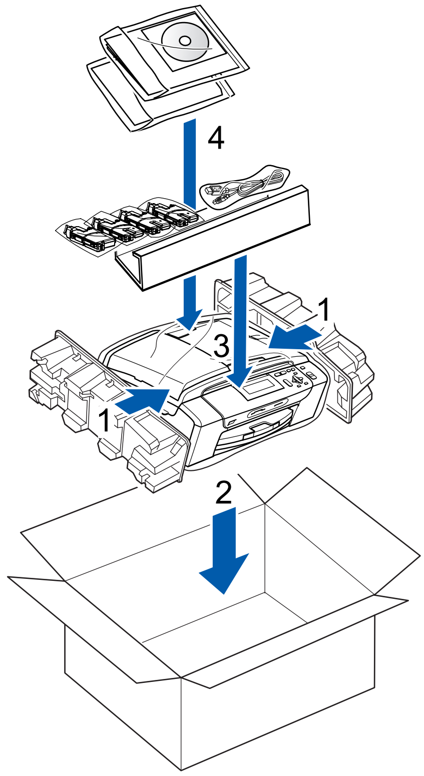


9 **図のように印刷物、付属品を梱包する**

DCP-385C



DCP-535CN



10 **外箱をしっかりとテープで閉じる**

パソコンと本製品との接続方法を変更したいときは（DCP-535CN のみ）

注意

■ パソコンと本製品との接続方法を、有線 LAN から無線 LAN に、または無線 LAN から有線 LAN に切り替える場合は、はじめに本製品の【有線 / 無線切替え】で、変更するネットワークインターフェースを指定してください。

⇒画面で見るマニュアル「ネットワーク設定」－「有線 LAN の設定をする」－「有線 / 無線切替え」

1 ドライバをアンインストールする

詳しくは、かんたん設置ガイドをご覧ください。

2 CD からドライバとソフトウェアをインストールし直す

詳しくは、かんたん設置ガイドをご覧ください。

- **パソコンと本製品を USB 接続する場合**
  Windows®
  ⇒「パソコンに接続する」－「USB 接続」－「ドライバとソフトウェアをインストールする（Windows® の場合）」
  Macintosh
  ⇒「パソコンに接続する」－「USB 接続」－「ドライバとソフトウェアをインストールする（Macintosh の場合）」
- **パソコンと本製品を有線 LAN 接続する場合**
  Windows®
  ⇒「パソコンに接続する」－「有線 LAN 接続」－「ドライバとソフトウェアをインストールする（Windows® の場合）」
  Macintosh
  ⇒「パソコンに接続する」－「有線 LAN 接続」－「ドライバとソフトウェアをインストールする（Macintosh の場合）」
- **パソコンと本製品を無線 LAN 接続する場合**
  Windows®
  ⇒「パソコンに接続する」－「無線 LAN 接続」－「ドライバとソフトウェアをインストールする（Windows® の場合）」
  Macintosh
  ⇒「パソコンに接続する」－「無線 LAN 接続」－「ドライバとソフトウェアをインストールする（Macintosh の場合）」

付　録

機能一覧

本製品で設定できる機能や設定は次のようになります。画面に表示されるメッセージにしたがって、登録や設定を行います。

メニューボタン

メニュー ◯ を押して表示される画面で、以下の設定ができます。

● 基本設定

<table>
<tr><th>機能</th><th colspan="2">設定項目</th><th>機能説明</th><th>設定内容
(太字：初期設定値)</th><th>DCP-385C</th><th>DCP-535CN</th><th>参照ページ</th></tr>
<tr><td rowspan="6">基本設定</td><td colspan="2">記録紙タイプ</td><td>記録紙トレイにセットした記録紙に合わせて、設定します。</td><td>普通紙／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／その他光沢／ OHP フィルム</td><td>○</td><td>○</td><td>33 ページ</td></tr>
<tr><td colspan="2">記録紙サイズ</td><td>ー</td><td>A4 ／ A5 ／ B5 ／ハガキ／ 2L 判／ L 判</td><td>○</td><td>○</td><td>33 ページ</td></tr>
<tr><td rowspan="3">画面の設定</td><td>画面のコントラスト</td><td>画面のコントラストを設定します。</td><td>薄く／標準／濃く</td><td>○</td><td>○</td><td rowspan="3">37 ページ</td></tr>
<tr><td>画面の明るさ</td><td>画面の明るさを設定します。</td><td>明るく／標準／暗く</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>照明ダウンタイマー</td><td>画面のライトを暗くするまでの時間を設定します。</td><td>切／ 10 秒／ 20 秒／ 30 秒</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="2">スリープモード</td><td>スリープ状態にするまでの時間を設定します。</td><td>1 分／ 2 分／ 3 分／ 5 分／ 10 分／ 30 分／ 60 分</td><td>○</td><td>○</td><td>38 ページ</td></tr>
</table>

● ネットワーク設定（DCP-535CN のみ）

本製品をネットワーク環境で使用する場合の詳細については、「画面で見るマニュアル」をご覧ください。

機能	設定項目			機能説明	設定内容（太字：初期設定値）	DCP-385C	DCP-535CN
ネットワーク	有線 LAN	TCP/IP	IP 取得方法	IP の取得先を指定します。	**Auto** ／ Static ／ RARP ／ BOOTP ／ DHCP	–	○
			IP アドレス	IP アドレスを設定します。	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]	–	○
			サブネット マスク	サブネットマスクを設定します。	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]	–	○
			ゲートウェイ	ゲートウェイのアドレスを設定します。	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]	–	○
			ノード名	ノード名を設定します。	BRNxxxxxxxxxxxx（x は MAC アドレスを示す 12 桁の文字）	–	○
			WINS 設定	WINS の解決方法を設定します。	**Auto** ／ Static	–	○
			WINS サーバ	WINS サーバを設定します。	プライマリ／セカンダリ	–	○
			DNS サーバ	DNS サーバを設定します。	プライマリ／セカンダリ	–	○
			APIPA	APIPA を設定します。	**オン**／オフ	–	○
		イーサネット		LAN のリンクモードを設定します。	**Auto** ／ 100B-FD ／ 100B-HD ／ 10B-FD ／ 10B-HD	–	○
	無線 LAN	TCP/IP	IP 取得方法	IP の取得先を指定します。	**Auto** ／ Static ／ RARP ／ BOOTP ／ DHCP	–	○
			IP アドレス	IP アドレスを設定します。	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]	–	○
			サブネット マスク	サブネットマスクを設定します。	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]	–	○
			ゲートウェイ	ゲートウェイのアドレスを設定します。	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]	–	○
			ノード名	ノード名を設定します。	BRWxxxxxxxxxxxx（x は MAC アドレスを示す 12 桁の文字）	–	○
			WINS 設定	WINS の解決方法を設定します。	**Auto** ／ Static	–	○
			WINS サーバ	WINS サーバを設定します。	プライマリ／セカンダリ	–	○
			DNS サーバ	DNS サーバを設定します。	プライマリ／セカンダリ	–	○
			APIPA	APIPA を設定します。	**オン**／オフ	–	○
		無線接続ウィザード		無線 LAN の機器を検索し、接続を行います。	–	–	○
		WPS/AOSS		WPS/AOSS™ 機能を使って自動接続を行います。	–	–	○
		WPS（PIN コード）		WPS 対応の無線 LAN アクセスポイントで PIN コードを入力してセキュリティの設定を行います。	–	–	○
		無線状態	接続状態	無線 LAN の接続状態を表示します。	–	–	○
			電波状態	無線 LAN の電波状態を表示します。	–	–	○
			SSID	接続先の無線 LAN の SSID（ネットワーク名）を表示します。	–	–	○
			通信モード	無線LANの通信モードを表示します。	–	–	○
	有線 / 無線切替え			有線 LAN ／無線 LAN を切り替えます。	**有線 LAN** ／無線 LAN	–	○
	ネットワーク設定リセット			ネットワークの設定（有線・無線とも）をすべて初期値に戻します。	–	–	○

● レポート印刷

機能	設定項目	機能説明	DCP-385C	DCP-535CN	参照ページ
レポート印刷	機能案内	本製品の機能一覧を印刷します。	○	○	97 ページ
	設定内容リスト	各種機能に登録・設定されている内容を印刷します。	○	○	97 ページ
	ネットワーク設定リスト	現在動作しているネットワーク（有線LANまたは無線LAN）の設定内容を印刷します。	－	○	画面で見るマニュアル「ネットワーク設定リストの出力」

● 製品情報

機能	設定項目	機能説明	DCP-385C	DCP-535CN	参照ページ
製品情報	シリアル No.	本製品のシリアルナンバーを表示します。	○	○	97 ページ

● 初期設定

機能	設定項目	機能説明	設定内容 （太字：初期設定値）	DCP-385C	DCP-535CN	参照ページ
初期設定	時計セット	日付と時刻を設定します。	－	○	○	26 ページ
	デモ動作設定	デモ画面を表示するかしないかを設定します。	する／**しない**	○	○	－
	表示言語設定	画面に表示される言語を設定します。 This Setting allows you to change LCD Language to English.	**日本語**／ English	○	○	36 ページ

待ち受け画面で設定する機能（コピー機能）

待ち受け画面で、コピーに関する設定ができます。

設定項目	機能説明	設定内容 （太字：初期設定値）	DCP-385C	DCP-535CN	参照ページ
コピー画質	印刷品質に合わせて設定します。	高速／**標準**／高画質	○	○	42 ページ
拡大／縮小	コピーしたいサイズに合わせて設定します。	40% A4 ⇒ L 判 46% A4 ⇒ハガキ 69% A4 ⇒ A5 86% A4 ⇒ B5 **100%** 113% L 判⇒ハガキ 115% B5 ⇒ A4 142% A5 ⇒ A4 204% ハガキ⇒ A4 240% L 判⇒ A4 カスタム（25-400%） 用紙に合わせる	○	○	
記録紙タイプ	記録紙トレイにセットした記録紙に合わせて設定します。	**普通紙**／インクジェット紙／ブラザーBP71光沢／その他光沢／OHP フィルム	○	○	
記録紙サイズ	記録紙トレイにセットした記録紙に合わせて設定します。	**A4**／A5／B5／ハガキ／2L 判／L 判	○	○	
明るさ	原稿に合わせて設定します。	-2／-1／ **0**／+1／+2	○	○	
コントラスト	コントラスト（色の濃度）を調整します。	-2／-1／ **0**／+1／+2	○	○	43 ページ
スタック/ソートコピー	複数部コピーするとき、ページごとまたは部数ごとを設定します。	**スタックコピー**／ソートコピー	－	○	
レイアウト コピー	2枚または4枚の原稿を1枚の用紙に割り付けてコピーしたり、1枚の原稿を複数枚に分割、拡大してコピーします。	**オフ（1 in 1）**／ 2in1（タテ長）／2in1（ヨコ長）／4in1（タテ長）／4in1（ヨコ長）／ポスター（3 x 3）	○	○	
ブックコピー	原稿台ガラスに本のようにとじた原稿をセットするとき、とじ部分の影や原稿セットの傾きを修正してコピーします。	オン／オン（画面で確認）／**オフ**	○	○	
透かしコピー	コピー画像にロゴマークやテキストなど、設定した画像を追加します。	オン／**オフ**	○	○	
設定を保持する	変更した設定を保持します。	－	○	○	
設定をリセットする	設定をお買い上げ時の状態に戻します。	－	○	○	

「透かしコピー」で【オン】を選ぶと、以下の設定ができます。

設定項目	機能説明	設定内容 （太字：初期設定値）	参照ページ
テンプレート	あらかじめ設定されている文字を選択し、位置やサイズなどを設定します。	テキスト：**COPY**／CONFIDENTIAL／重要 位置:A／B／C／D／**E**／F／G／H／I／全面に印刷 サイズ：小／**中**／大 回転：-90°／**-45°**／ 0°／ 45°／ 90° 透過度：-2／-1／ **0**／+1／+2 色：赤／オレンジ／黄／青／緑／紫／**黒**	49 ページ
メディア	USB フラッシュメモリーやカードから画像を選択し、位置やサイズなどを設定します。	位置:A／B／C／D／**E**／F／G／H／I／全面に印刷 サイズ：小／**中**／大 回転：-90°／**-45°**／ 0°／ 45°／ 90° 透過度：-2／-1／ **0**／+1／+2	50 ページ
スキャン	スキャンした画像を使用します。	透過度：-2／-1／ **0**／+1／+2	51 ページ

デジカメプリントボタン

デジカメプリント を押して表示される画面で、デジカメプリント機能に関する設定ができます。

設定項目	機能説明	DCP-385C	DCP-535CN	参照ページ
写真プリント	メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の写真をプリントします。	○	○	57ページ
インデックスプリント	インデックスプリントを印刷します。	○	○	58ページ
番号指定プリント	番号を指定してプリントします。	○	○	59ページ
色調整プリント	プリントの時の色や明るさ、赤目を自動的に補正して美しくプリントします。モノクロやセピア調にもプリントできます。	○	○	60ページ
日付から検索	撮影日を指定して写真を検索し、プリントします。	○	○	64ページ
すべてプリント	メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内のすべての写真をプリントします。	○	○	65ページ
スライドショー	メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の写真を次々に表示します。	○	○	66ページ
トリミング	画像の一部を切り出したり、回転させたりしてプリントします。	○	○	67ページ

また、【写真プリント】【番号指定プリント】【色調整プリント】【日付から検索】【すべてプリント】【スライドショー】【トリミング】を選んだ後で OK を押すと、以下の設定を確認・変更できます。

設定項目	機能説明	設定内容（太字：初期設定値）	DCP-385C	DCP-535CN	参照ページ
プリント画質	プリント時の画質を設定します。	標準／**きれい**	○	○	68ページ
記録紙タイプ	記録紙の種類を設定します。	普通紙／インクジェット紙／ブラザーBP71光沢／**その他光沢**	○	○	
記録紙サイズ	記録紙のサイズを設定します。	**L判**／2L判／ハガキ／A4	○	○	
プリントサイズ	記録紙サイズで【A4】を選んだ場合に設定します。	**用紙全体に印刷**／8x10cm ／ 9x13cm ／ 10x15cm ／ 13x18cm ／ 15x20cm	○	○	
明るさ※	プリントの明るさを調整します。	-2／-1／ **0**／+1／+2	○	○	
コントラスト※	プリントのコントラスト（色の濃度）を調整します。	-2／-1／ **0**／+1／+2	○	○	
画質強調※	<ホワイトバランス> 画像の白色部分の色合いを調整します。	する： -2／-1／ **0**／+1／+2 **しない**	○	○	69ページ
	<シャープネス> 画像の輪郭部分のシャープさを調整します。		○	○	
	<カラー調整> 画像のカラー全体の濃度を調整します。		○	○	
画像トリミング	プリント領域に収まらない画像を自動的に切り取ってプリントするかしないかを設定します。	**する**／しない	○	○	
ふちなし印刷	ふちなし印刷をするかしないかを設定します。	**する**／しない	○	○	
日付印刷	日付印刷をするかしないかを設定します。	する／**しない**	○	○	
設定を保持する	変更した設定を保持します。	－	○	○	
設定をリセットする	設定をお買い上げ時の状態に戻します。	－	○	○	

※色調整プリントの場合は表示されません。

スキャンボタン

スキャン を押して表示される画面で、スキャン機能に関する設定ができます。

設定項目	機能説明	DCP-385C	DCP-535CN	参照ページ
E メール：E メール添付	スキャンしたデータを添付ファイルにしてメールソフトを起動します。	○	○	画面で見るマニュアル「スキャナ」
イメージ：PC 画像表示	スキャンしたデータをパソコンに保存します。	○	○	
OCR：テキストデータ変換	スキャンしたデータをテキストに変換してパソコンに保存します。	○	○	
ファイル：フォルダ保存	スキャンしたデータをパソコンの指定したフォルダに保存します。	○	○	
メディア：メディア保存	スキャンしたデータをメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存します。	○	○	73 ページ

また、【メディア：メディア保存】を選び、OK を押すと、以下の設定を確認・変更できます。

設定項目	機能説明	設定内容 （太字：初期設定値）	参照ページ
スキャン画質	スキャン TO メディア時の画質を設定します。	**カラー 150 dpi** ／カラー 300 dpi ／カラー 600 dpi ／モノクロ 200x100 dpi ／モノクロ 200 dpi	73 ページ
ファイル形式	スキャンするときのファイル形式を設定します。	カラー：**PDF** ／ JPEG モノクロ：**PDF** ／ TIFF	
設定を保持する	変更した設定を保持します。	－	74 ページ
設定をリセットする	設定をお買い上げ時の状態に戻します。	－	

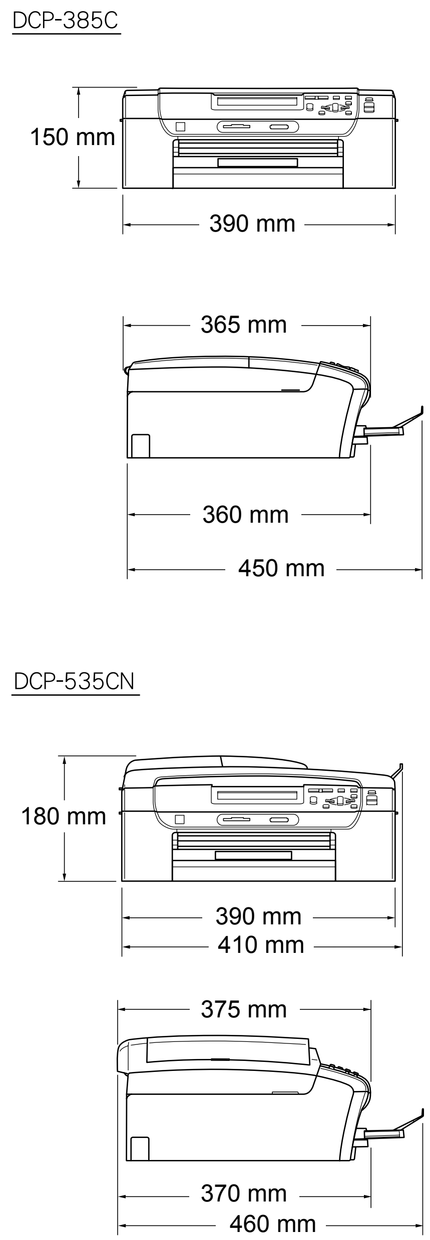
インクボタン

インク を押して表示される画面で、インクに関する設定ができます。

機能	設定項目	機能説明	設定内容	DCP-385C	DCP-535CN	参照ページ
インク	テストプリント	印刷テストを行います。	印刷品質チェックシート／印刷位置チェックシート	○	○	86 ページ
	ヘッドクリーニング	ヘッドクリーニングを行います。	ブラック／カラー／全色	○	○	85 ページ
	インク残量	インク残量を確認します。		○	○	84 ページ

仕様

外形寸法



※ 3.3 インチワイドカラー液晶ディスプレイ搭載。
※ 外観・仕様などは、改良のため予告なく変更することがあります。
あらかじめご了承ください。

コピー

コピースピード	■ DCP-385C モノクロ：20 ページ / 分 （A4 サイズ / 普通紙 / 高速モード） カラー：18 ページ / 分 （A4 サイズ / 普通紙 / 高速モード） ■ DCP-535CN モノクロ：22 ページ / 分 （A4 サイズ / 普通紙 / 高速モード） カラー：20 ページ / 分 （A4 サイズ / 普通紙 / 高速モード）
拡大縮小	25 ～ 400 （%）
プリント解像度	• モノクロ： 最大 1200（主走査）× 1200（副走査）dpi • カラー： 最大 600（主走査）× 1200（副走査）dpi

電源その他

使用環境	温度：10 ～ 35 ℃、湿度：20 ～ 80% ※ 印字品質のためには、18 ～ 33 ℃でご利用になることをお勧めします。
電源	AC100V　50/60Hz
消費電力	■ DCP-385C 動作時：平均 22W 以下 待機時：平均 4W 以下 スリープモード時：平均 2.5W 以下 電源 OFF 時：平均 0.5W 以下 ■ DCP-535CN 動作時：平均 26W 以下 待機時：平均 5.5W 以下 スリープモード時：平均 4W 以下 電源 OFF 時：平均 0.5W 以下
稼働音	動作時：50db 以下 ※ お使いの機能により数値は変わります。
メモリ容量	■ DCP-385C 32MB ■ DCP-535CN 40MB
本体重量	■ DCP-385C 7.1kg ■ DCP-535CN 8kg ※ インクカートリッジを含む

プリンタ＆スキャナ

インターフェース	■ DCP-385C • USB2.0 フルスピード ■ DCP-535CN • USB2.0 ハイスピード • 有線ネットワーク（10BASE-T/100BASE-TX 対応） • 無線ネットワーク（IEEE802.11b/g）
プリント方式	インクジェット式
プリント解像度	最大 1200（主走査）× 6000（副走査）dpi
プリント速度	■ DCP-385C モノクロ 30 枚 / 分　カラー 25 枚 / 分（最高速モード、普通紙、当社基準 A4 原稿） ■ DCP-535CN モノクロ 33 枚 / 分　カラー 27 枚 / 分（最高速モード、普通紙、当社基準 A4 原稿）
スキャナ解像度	光学解像度 原稿台ガラス使用時： 最大 1200（主走査）dpi × 2400（副走査）dpi ADF（自動原稿送り装置）使用時： 最大 1200（主走査）dpi × 600（副走査）dpi

フォトメディアキャプチャ

対応メディア	• メモリースティック ™ メモリースティック PRO™、メモリースティック デュオ ™、メモリースティック PRO デュオ ™、メモリースティック マイクロ ™（M2™）も使用できます。メモリースティック デュオ ™、メモリースティック PRO デュオ ™、メモリースティック マイクロ ™（M2™）を本製品にセットするときは、アダプターが必要です。 • コンパクトフラッシュ ®（TYPE1） マイクロドライブ、TYPE2 には対応していません。 無線 LAN カードなどのデバイス系のカードには対応していません。 • SD メモリーカード /SDHC メモリーカード miniSD カード /microSD カードを本製品にセットするときは、アダプターが必要です。 • xD-Picture Card™ 本製品は、xD-Picture Card™ TypeM/TypeM+/TypeH シリーズに対応しています。 • USB フラッシュメモリー ※ MagicGate™ の音楽データには対応していません。 ※著作権保護機能には対応していません。
メディアファイルフォーマット	DPOF 形式、EXIF 形式、DCF 形式
対応画ファイルフォーマット	デジカメプリント JPEG 形式 拡張子が「.jpg」のファイルに限ります。 プログレッシブ JPEG には対応していません。 ファイルとフォルダをあわせて 999 個までの対応です。 5 階層以上のフォルダには対応していません。 スキャン TO メディア カラー：JPEG 形式、PDF 形式 モノクロ：TIFF 形式、PDF 形式

使用環境

本製品とパソコンを接続してお使いいただくには、以下のパソコン環境が必要になります。

Windows® の場合

本製品とパソコン（Windows®）を接続する場合、以下の動作環境が必要となります。

OS/CPU/ メモリ

- Windows® 2000 Professional
  Pentium® II プロセッサ　300MHz（Pentium® 互換 CPU 含む）以上 /64MB （推奨 256MB ）以上
- Windows® XP
  Pentium® II プロセッサ　300MHz（Pentium® 互換 CPU 含む）以上 /128MB （推奨 256MB ）以上
- Windows® XP Professional x64 Edition
  AMD Opteron™ プロセッサ
  AMD Athlon™ 64 プロセッサ
  Intel® EM64T に対応した Intel® Xeon®
  Intel® EM64T に対応した Intel® Pentium® 4
  256MB（推奨 512MB）以上
- Windows Vista®
  1GHz 32 ビット（x86）または 64 ビット（x64）のプロセッサ /512MB（推奨 1GB）以上

※ CD-ROM ドライブ必須
※ 本製品のすべての機能を快適にご使用いただくために、以下の環境を推奨します。

- Windows® 2000 Professional または Windows® XP をお使いの場合
  1.0GHz 以上の 32 ビット（x86）プロセッサと 256MB 以上のシステムメモリを搭載したパソコン。
- Windows Vista® をお使いの場合
  1.2GHz 以上の 32 ビット（x86）デュアルコアプロセッサと 1GB 以上のシステムメモリを搭載したパソコン。

ディスク容量

480MB 以上（Windows Vista® 以外）/
1.1GB 以上（Windows Vista®）の空き容量

Web ブラウザ

Microsoft® Internet Explorer® 5.5 以上が必要です。
※ Microsoft® Internet Explorer® 6 以上を推奨します。

インターフェース

■ DCP-385C
- USB 2.0 フルスピード

※ USB ケーブルは長さが 2.0m 以下のものをお使いください。
※ USB 2.0 ハイスピード対応のパソコンでもご使用いただけますが、12M ビット / 秒のフルスピードモードでの接続になります。
※ USB 1.1 対応のパソコンとも接続できます。

■ DCP-535CN
- USB 2.0 ハイスピード
- 有線ネットワーク（10BASE-T/100BASE-TX 対応 ）
- 無線ネットワーク（IEEE802.11b/g）

※ LAN ケーブルは、市販品をご利用ください。
※ USB ケーブルは長さが 2.0m 以下のものをお使いください。
※ USB 1.1 対応のパソコンとも接続できます。

CPU のスペックやメモリの容量に余裕があると、動作が安定します。

Macintosh の場合

本製品と Macintosh を接続する場合、以下の動作環境が必要となります。

OS/CPU/ メモリ

- Mac OS X 10.2.4 ～ 10.4.3
  PowerPC G3 350MHz 以上（PowerPC G4/G5 含む）
  128MB（推奨 256MB）以上
- Mac OS X 10.4.4 以上
  PowerPC G4/G5, Intel® Core™ processor
  512MB（推奨 1GB）以上

※ CD-ROM ドライブ必須

ディスク容量

480MB 以上の空き容量

インターフェース

■ DCP-385C
- USB 2.0 フルスピード

※ USB ケーブルは長さが 2.0m 以下のものをお使いください。
※ USB 2.0 ハイスピード対応の Macintosh でもご使用いただけますが、12M ビット / 秒のフルスピードモードでの接続になります。
※ USB 1.1 対応の Macintosh とも接続できます。

■ DCP-535CN
- USB 2.0 ハイスピード
- 有線ネットワーク（10BASE-T/100BASE-TX 対応 ）
- 無線ネットワーク（IEEE802.11b/g）

※ LAN ケーブルは、市販品をご利用ください。
※ USB ケーブルは長さが 2.0m 以下のものをお使いください。
※ USB 1.1 対応の Macintosh とも接続できます。

CPU のスペックやメモリの容量に余裕があると、動作が安定します。

Mac OS X への対応状況は、弊社ホームページにて最新の情報を公開しています。以下のアドレスを参照してください。
http://solutions.brother.co.jp/

用語解説

＝あ＝

● **アース端子**

アース（接地）を行う場合に使用します。使用環境によっては、アースを行うと通信性能や耐ノイズ性能が改善します。

● **アプリケーションソフトウェア**

ワープロや表計算など、ユーザーが直接操作するソフトウェアです。

● **インクジェット**

専用のインクをプリントヘッドのノズルから記録紙に吹き付けて印刷する方式です。

● **インターフェース**

パソコンと周辺装置のように、機能や条件の違うものの間で、データをやりとりするためのハードウェアまたはソフトウェアです。

● **ウィザード**

Windows® などで、設定作業を半自動化してくれる機能です。

● **オプション機能**

標準仕様に対し、お客様の希望に応じて変更できる機能です。

＝か＝

● **画質強調**

解像度や明るさを自動的に調整して、より鮮やかに印刷する機能です。

● **原稿台ガラス**

コピーのときに原稿を置くところです。ここから原稿を読み取ります。

＝た＝

● **タスクバー**

Windows® の画面上にあるプログラムの起動やフォルダの表示のためのボタンを配置してある場所のことです。

● **デバイス**

ハードディスクやプリンタのような、パソコンで使用されるハードウェアのことです。

＝は＝

● **プリンタドライバ**

パソコンから印刷をするために必要なソフトウェアです。

● **ポスターコピー**

1枚の原稿を9分割し､9枚の記録紙に拡大コピーします。

＝ら＝

● **ログオン（ログイン）**

パソコンやシステムへアクセスするときに行う操作です。

＝数字＝

● **2in1**

2枚の原稿を縮小し､1枚の記録紙にコピーする機能です。

● **4in1**

4枚の原稿を縮小し､1枚の記録紙にコピーする機能です。

＝ A to Z ＝

● **ADF（自動原稿送り装置）**

Automatic Document Feeder の略。複数枚の原稿を連続して読み取ることのできる装置です。

● **CMYK**

シアン（Cyan）､マゼンタ（Magenta）､イエロー（Yellow）､黒（Black）によって表される色の表現方法です。光の三原色、赤、青、緑（RGB）による、加法混色に対し、補色の三原色、緑青（シアン）、赤紫（マゼンタ）、黄を用いた減法混色のことを指します。本製品は減法混色を行っており､印刷には CMY に加え黒インクを併用しています。

● **CSV 形式**

Comma Separated Value の略。レコード中の各フィールドを、コンマ（,）を区切りとして列挙したデータ形式です。表計算ソフトウェアでは､CSV 形式でのデータ出力､データ入力機能が用意されています。

● **DPI**

Dot Per Inch の略で、1 インチ（2.54cm）幅に印刷できるドット数を表す単位で、解像度を示します。

● **EM64T**

Intel® Extended Memory 64 Technology の略。IA-32 アーキテクチャを拡張したもので、より大容量のメモリにアクセスできるようになります。ソフトウェアも EM64T に最適化する必要があります。

● **OS**

Operating System（オペレーティングシステム）の略で、パソコンの基本ソフトウェア群です。

● **PC**

Personal Computer（パーソナルコンピュータ）の略で、個人仕様の一般的なコンピュータです。

● **PC/AT 互換機**

IBM 社が開発したパーソナルコンピュータ（IBM.PC/AT）の互換パソコンに付いた名称です。日本では DOS/V パソコンとも言われます。

● **TWAIN**

Technology Without Any Interested Nameの略でスキャナなどパソコンに画像を取り込む装置と Presto! PageManager などのソフトウェアを連携させるための規格です。

● **USB ケーブル**

Universal Serial Bus（ユニバーサルシリアルバス）の略。ハブを介して最大 127 台までの機器をツリー状に接続できるケーブルです。パソコンの電源を入れたままコネクタの接続ができるホットプラグ機能を持っています。

● **vCard（vcf 形式）**

電子メールで個人情報をやり取りするための規格。電子メールの添付ファイルの機能を拡張して、氏名、電話番号、住所、会社名などをやり取りできます。この規格に対応するアプリケーション間では、受信時に情報が自動的に更新されます。

● WIA

Windows® Imaging Acquisition の略で、スキャナなどパソコンに画像を取り込む装置と Presto! PageManager などのソフトウェアを連携させるための規格です。TWAIN の機能を置き換えるもので、Windows® Me/XP で標準サポートされています。

索引

数字

A

B

C

D

E

F

I

M

O

P

S

T

U

W

X

あ

い

え

お

か

き

く

け

こ

Memo

特許、規制

VCCI 規格

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
ユーザーズガイドに従って、正しい取り扱いをしてください。

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

商標について

本文中では、OS 名称を略記しています。

Windows® 2000 Professional の正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system です。
Windows® XP の正式名称は、Microsoft® Windows® XP operating system です。
Windows® XP Professional x64 Edition の正式名称は、Microsoft® Windows® XP operating system Professional x64 Edition です。
Windows Vista® の正式名称は、Microsoft® Windows Vista® operating system です。

Microsoft、Windows、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Macintosh、Mac OS は、Apple Inc. の登録商標です。
Adobe、Acrobat、Illustrator、Reader は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
Intel、Pentium、Xeon は、Intel Corporation の登録商標です。
AMD Athlon 64、AMD Opteron は、Advanced Micro Devices, Inc. の登録商標です。
FaceFilter Studio は、Reallusion Inc. の登録商標です。
コンパクトフラッシュは、サンディスク社の登録商標です。
メモリースティック、メモリースティック デュオ、メモリースティック PRO、MagicGate、メモリースティック PRO デュオ、メモリースティック マイクロ、M2 はソニー株式会社の商標または登録商標です。
SD メモリーカードは松下電器産業株式会社、サンディスク社、株式会社東芝の商標です。
xD-Picture Card は富士フイルム株式会社の商標です。
マルチメディアカードは独 Infineon Technologies AG の商標です。
PictBridge は、CIPA（Camera&Imaging Products Association）の商標です。
「デジカメ」は三洋電機株式会社の登録商標です。
AOSS は株式会社バッファローの商標です。
本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

関連製品のご案内

innobella

innobella（イノベラ）は、ブラザーの純正消耗品の新シリーズです。イノベラの名前は、イノベーション（innovation.「革新的」）とベラ（Bella・イタリア語で「美しい」）の２つの言葉に由来しています。　革新的なプリント技術により美しく鮮やかな高品質のプリントを実現します。写真の印刷には「イノベラ写真光沢紙」をお勧めいたします。イノベラインクと合わせてお使い頂ければ、鮮やかでキメの細かい発色、つややかな仕上がりの超高画質の写真プリントを実現します。また、安定した印刷品質の維持のためにも、イノベラインク・イノベラ写真光沢紙、およびブラザー純正の専用紙のご使用をお勧めいたします。

消耗品

インクや記録紙などの消耗品は、残りが少なくなったらなるべく早くお買い求めください。本製品の機能および印刷品質維持のため、下記の弊社純正品または推奨品のご使用をお勧めします。弊社純正品は携帯電話からもご注文いただけます。

インクカートリッジ

種類	型番
ブラック（黒）	LC11BK
イエロー（黄）	LC11Y
シアン（青）	LC11C
マゼンタ（赤）	LC11M
4個パック［ブラック（黒）/ イエロー（黄）/ シアン（青）/ マゼンタ（赤）各1個］	LC11-4PK
黒2個パック［ブラック（黒）2個］	LC11BK-2PK

- 本製品にはじめてインクカートリッジをセットした場合は、本体にインクを充填させるため、2回目以降にセットするインクカートリッジと比較して印刷可能枚数が少なくなります。
- 純正品のブラザーインクカートリッジをご使用いただいた場合のみ機能・品質を保証いたします。

専用紙・推奨紙

記録紙種類	商品名	型番（サイズ）	枚数
普通紙	上質普通紙	BP60PA（A4）	250枚入り
光沢紙	写真光沢紙	BP71GA4（A4）	20枚入り
		BP71GLJ50（L判）	50枚入り
		BP71GLJ100（L判）	100枚入り
		BP71GLJ300（L判）	300枚入り
		BP71GLJ500（L判）	500枚入り
マット紙	インクジェット紙（マット仕上げ）	BP60MA（A4）	25枚入り

- OHPフィルムは、住友スリーエム社製OHPフィルム（型番：CG3410）のご使用を推奨します。
- 最新の専用紙・推奨紙については、ホームページ（http://solutions.brother.co.jp/）をご覧ください。

Memo

消耗品などのご注文について

- 純正消耗品はお近くの家電量販店でも取り扱いがございますが、当社にてインターネット、電話によるご注文も承っております。
- 配送料は、お買い上げ金額の合計が 3,000 円以上の場合は全国無料です。
  3,000 円未満の場合は 350 円の配送料をいただきます。(代引き手数料は全国一律無料)
- 納期については土・日・祝日、長期休暇をはさむ場合はその日数が下記に加算されます。
- 配送地域は日本国内に限らせていただきます。

< 代引き >　・・・ご注文後 2 ～ 3 営業日後の商品発送

< お振込み (銀行・郵便)>　・・・ご入金確認後 2 ～ 3 営業日後の商品発送

※ 代金は先払いとなります。(銀行／郵便局備え付けの振込用紙などからお振り込みください。)

※ 振り込み手数料はお客様負担となります。

< クレジットカード >　・・・カード番号確認後 2 ～ 3 営業日後の商品発送

ご注文先

ブラザー販売（株）	ダイレクトクラブ
インターネット	http://direct.brother.co.jp/shop/
携帯サイト	右の二次元コードにアクセス
ファクス	052-825-0311
電話	0120-118-825（土・日・祝日、長期休暇を除く 9 時～ 12 時、13 時～ 17 時）
振込先	口座名義：ブラザー販売株式会社　ダイレクトクラブ 銀行：三井住友銀行　上前津（カミマエヅ）支店　普通 6428357 ゆうちょ銀行　振替口座　00860 － 1 － 27600

消耗品はブラザー純正品をお使いください

ブラザーMyMioシリーズについて、印刷品質・性能を安定した状態でご使用いただくために、ブラザー純正の消耗品及びオプションのご使用をお勧めします。純正品以外のご使用は、印刷品質の低下や製品本体の故障など、製品に悪影響を及ぼす場合があります。純正品以外を使用したことによる故障は、保証期間内や保守契約時でも有償修理となりますのでご注意ください。（純正品以外の全ての消耗品が必ず不具合を起こすと断定しているわけではありません。）純正消耗品について、詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

http://www.brother.co.jp/product/original/index.htm

インクカートリッジの回収・リサイクルのご案内

ブラザーでは循環型社会への取り組みの一環として使用済みインクカートリッジの回収・リサイクルに取り組んでおります。環境保全のため、使用済みインクカートリッジの回収にご賛同いただき回収にご協力いただきますようお願い申し上げます。詳しくは下記ホームページをご参照ください。

http://www.brother.co.jp/support_info/recycle/ink/index.htm

アフターサービスのご案内

この度は本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。ご愛用いただきます製品が、安心してご使用いただけますよう下記窓口を設置しております。ご不明な点、もしくはお問い合わせなどございましたら下記までご連絡ください。その際、画面にどのような表示が出ているかなどをおたずねいたしますので、あらかじめご確認いただけますと助かります。

● 【お客様相談窓口（ブラザーコールセンター）】

DCP 製品のご質問と障害に関するご相談

TEL：0120-590-381

電話番号はおかけ間違いのないようご注意ください。

受付時間：月～金　9：00 ～ 20：00
　　　　　　土　　9：00 ～ 17：00

※ 日曜日・祝日・ブラザーコールセンター指定休日を除きます。
※ ブラザーコールセンターは、ブラザー販売株式会社が運営しています。

お客様相談窓口の情報は、下記のサポートサイトにてご確認ください。
サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）：http://solutions.brother.co.jp/
オンラインユーザー登録：https://regist.brother.jp/

※ ユーザーズガイドに乱丁、落丁があったときは、お客様相談窓口にご連絡ください。
※ Presto! PageManager については、以下にお問い合わせください。
ニューソフトジャパンカスタマーサポートセンター
TEL : 03-5472-7008　FAX : 03-5472-7009　10：00 ～ 12：00　13：00 ～ 17：00（土日・祝日を除く）
テクニカルサポート電子メール：support@newsoft.co.jp　ホームページ：http://www.newsoft.co.jp

本製品は日本国内のみでのご使用となりますので、海外でのご使用はお止めください。海外での各国の通信規格に反する場合や、海外で使用されている電源が本製品に適切ではない恐れがあります。海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、当社は一切の責任を負いかねます。また、保証の対象とはなりませんのでご注意ください。

These machines are made for use in Japan only. We can not recommend using them overseas because it may violate the Telecommunications Regulations of that country and the power requirements of your machine may not be compatible with the power available in foreign countries. Using Japan models overseas is at your own risk and will void your warranty.

● お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保管してください。
● 本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後 5 年です。（印刷物は 2 年です）

brother

ブラザー工業株式会社
〒 467-8561
愛知県名古屋市瑞穂区苗代町 15-1